

支、北平、天津、漢口へ轉電セリ

~~~~~

共産黨嫌疑ヲ以テ香港政廳側ヨリ警告ヲ受クル所アリ今回

退社ノ已ムナキニ至リ暫時荊ニ於テ社長ニ再任スルコトト

ナレルカ同人香港在住ノ共産黨員ヨリノ聞込ニ依レバ共

產軍首領毛澤東ハ國共合作ノ爲最近南京ニ到レル處從來國

民政府部内ニテハ毛ニ對シ頗ル惡印象ヲ有シ居レルニ拘ラ

ス一度毛ト接觸セル要人ハ其ノ博識ト穩健ナル意見ニ感服

シ殊ニ其ノ態度頗ル謙讓ナル點ハ周恩來力部内ニ多數ノ知

己ヲ有シ合作問題ニ活動シテ博シ得タル人氣ニモ優リ信望

ヲ集メ居ル由ナリ

支 在支各總領事、北平へ轉電シ香港へ暗送セリ

荊嗣祐ノ内話ニ依レハ(出所極秘)香港珠江日報社長ハ最近

第二八二號

廣 東 7月19日後發  
本 省 7月19日夜着

## 六 中国幣制改革（米中銀協定を含む）

926

昭和11年1月1日

在中國有吉大使より  
廣田外務大臣宛(電報)

在中国本邦銀行の所有銀処分は諸外国の銀行  
と同時に行うべき旨意見具申

上 海 1月1日後發

本 省 1月1日夜着

第一號  
<sup>(1)</sup>客年往電第一一七二號二關シ

目下ノ銀價ニテハ右往電ノ案モ左程不條理ニアラス(例ヘ  
ハ輸出稅及「モーラル、サポート」當時ノ平衡稅ヲ拂ヒテ

銀ヲ輸出スルモ大シテ利益ニアラス)外國銀行ハ大体右往  
電ノ案ヲ受諾スルモノト思ハルニ付日本銀行ノミ取殘サ  
レテ却テ退引キナラヌ形トナル惧モアリ(假令我方ノミ頑  
張ルモ銀價ノ趨勢ニ鑑ミ外國側ヨリ特ニ有利ナル條件ヲ得  
ルコトハ至難ナルヘキノミナラス銀價更ニ下落シテ外國銀

行ヨリ不利ナル條件ヲ受諾スル外ナキニ至ルコトモナラ  
ハ極メテ不体裁ナリ)又本件所有銀ヲ別段ノ政治的目的ニ  
利用セントスルモ左シタル效果無カルヘキ次第ニモアリ結  
局銀行家ノ自由處分ニ委ス御方針ナルニ於テハ此ノ際外國  
銀行ト同時ニ處分スルコト寧ロ可ナリト存セラル

尙此ノ際銀ヲ引渡スハ幣制及借款問題ニ對スル我方ノ態度  
ヲ變更シタルヤノ印象ヲ與フル惧アリトノ御懸念ニテモア  
ラハ當局談ノ發表其ノ他ノ適當ナル方法ニテ之ヲ防クモ可  
ナルヘシ

就テハ何分ノ御方針至急御決定ノ上七日頃以前迄ニ大體ノ  
御意嚮ニテモ御回電ヲ請フ

銀行家モ卅一日會合ノ際略一致シテ此ノ際處分スルヲ可ト  
ストノ意見ニテ(尤モ先般本社ヨリ當分靜觀方訓令アリタ  
ル關係上本社ニ更ニセツ突クヲ差控ヘ居ル向モアリ)至  
東京關係方面ニテ方針決定方ヲ希望シ居レリ

在支各總領事、北平、廈門へ轉電セリ

~~~~~

927

昭和11年1月6日

在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

在中国英國銀行の所有銀処分に関するホー

ル・パッヂ内話について

上海 1月6日夜発
本省 1月6日夜着

第二號

客年往電第一一七五號(三)ニ關シ

六日館員カ「ホールパツチ」ニ他用會見ノ際尋ネタルニ銀行カ多額ノ「プレミアム」ヲ得ルハ不當利得ナリト考ヘ居タルモ最近問題トナリ居ル程度ノ額ハ問題トスルニ足ラサルヘク銀行モ幣制改革以來相當種々ノ損害ヲ受ケ居ルニ付此ノ程度ノ利益ヲ得ルモ別段干涉セサル所存ニテ第一預金者ニ均霑セシムト云フモ何時ノ預金者ニ均霑セシムルヤ判明セサルヘシ元來銀行所有銀ハ改革當時直ニ引渡シテ支那側ニ對スル「ヂエスチユア」トスルカ左モナクハ全然引渡

ササルカ何レカニスレハ宜敷キモノヲ銀行家連ハ態度ヲ決定セス妙ナ破目ニナリタル次第ニテ今トナリテハ自分等トシテハ本件ハhands offスル積リナリト語リ居タル趣ナリ尙「ホ」ハ英國銀行ハ六日支那申出ノ案ニテ引渡スコトニ決定セル旨語リ居タル由

在支各總領事、北平へ轉電セリ

928

昭和11年1月7日

在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

在中国本邦銀行の所有銀処分問題につき從來

どおり靜観策繼續方訓令

付記 昭和十年十一月二十日付、東亞局第一課作成
「支那幣制改革問題ニ關スル大藏省湯本國庫
課長談話要領」

第二號(至急)

貴電第一號ニ關シ
銀行側ニテ寄々協議中ナリシカ七日從來通ノ方針ニテ靜觀ヲ續クルコトニ意見一致セル旨報告ニ接セリ

尙當方トシテハ大體冒頭貴電御來示ノ如ク銀行側カ本件辦法ヲ受諾スルナラハ敢テ阻止スル要ナカルヘキヤニ思惟シ居タル處銀行側ニ於テハ自發的ニ前記ノ如キ態度ヲ決定セル次第ナリ

上海ニ轉報アリ度

在支各總領事、北平、廈門ニ轉電セリ

(付記)

支那幣制改革問題ニ關スル大藏省湯本國庫課長

談話要領

曾禱記

(昭和十一年十一月二十日於東亞局長室)

一、新幣制ノ要點及實施狀況

(一)政府系三銀行ノ紙幣ヲ以テ法幣トシ及現銀ノ流通ヲ禁

止セルコト
(二)今後銀行券ノ發行ハ政府系三銀行ノ獨占トシ舊紙幣ハ漸次回収スルコト

(三)發行準備委員會ヲ設立シ同委員會ヲシテ準備銀ノ保管、紙幣ノ發行回収等ニ當ラシメタルコト(尤モ天津、漢

口等ニ準備分庫ヲ設ケ中央ニ銀ノ現送ヲナササルコトヲ容認セリ、尙本件發行準備委員會ノ組織ノ機能、活動振如何ハ新幣制重要點ノ一ナルカ未タ明カナラス今日迄ノ所ニテハ各地銀行内準備銀ノ封存、海外ニ對スル銀賣出ノ監督等ヲ行ヒ居レル如シ

(四)所謂銀ノ國有ヲ企圖セルコト(實際ニ於テハ銀行所有銀ヲ除キ市中銀又ハ退藏銀ノ平價買上ハ進捲シ居ラス、又「ホールパツチ」ハ支那側モ右強行ハ斷念シ居ル旨述ヘタリ)

(五)公私一切ノ支拂ニ法幣ヲ以テスルコトヲ命シタルコト
(本件ハ銀約款ノ廢棄ト等シク之カ成行ハ相當注目ニ值ス、素ヨリ外國人ニ對シテハ效力ナシト言ヒ得ヘキモ現ニ上海不動產金融會社ノ社債所持人カ之ヲ問題トシ居リ正銀銀行ニモ此ノ種問題アル次第ナルカ支那人側ニ於テモ本件ヲ問題ニスルコトナキヲ保シ難シ、蓋シ支那ニ於テハ銀ハ通貨トイフヨリモ寧ロ資產蓄積ノ手段ト見ルヘキモノナル處之ヲ紙幣ト平價ニテ引上クルコトハ即チ其ノ差額丈ノ財產ノ沒收ニ等シク旁私人間ノ問題トシテモ銀約款ヲ如何ニスルカハ今後可成リ

喧マシクナルニ非サルカト思ハル

(六) 政府系銀行ヲシテ爲替ノ無制限賣買ニ應セシメタルコト(實際ニ於テハ賣惜ミセルコトモアルモ大体ニ於テ無制限賣買ヲ行ヒ居レリ、現在ノ遣口ハ形式的ニハ必シモ磅爲替本位ト迄ハ言ヒ難ク米弗ニモ圓ニモ一定相場ニ釘付セムトスル建前ニテ右ハ技術的ニ困難ナル次第ナルカ——例ヘハ英米爲替變動ノ場合ハ爲替裁定ノ現象起ルヘシ——實際ノ取扱振ヲ見ルニ磅ニ「リンク」シ居ルモノト言フヲ得ヘシ、然レトモ磅ニ「リンク」セルコトニ付テハ圓ノ如ク爲替管理上ノ困難ナキコト銀ノ相場ハ倫敦市場ニテ決スルコト等尤モナル理由モアリ一方日本ヨリ見ルモ支那ノ通貨カ磅ニ「リンク」スルコトハ必シモ不利ナラス)

二、幣制改革ト日本側及英國側トノ關係

(一) 日本ヲ出シ拔キタリトノ議論ノ當否
幣制改革ハ日本ヲ出シ拔キテ行ヒタルモノト言ヒ得ヘキヤニ付テハ(イ)形式的ニハ實施直前(十一月二日)ニ張公權ヨリ我方ニ相談シ來レル事實等ニ鑑ミ必シモ出抜タリト言ヒ得サルヘシ尤モ(ロ)外銀側ノ「モーラル、

「英國側ト如何ナル諒解アリタルヤノ問題」
今回ノ幣制改革ニ當リ英國側ト如何ナル諒解アリタルヤハ詳カナラサルモ香港銀行等英國銀行カ幣制改革前ニ銀ヲ輸出シテ儲ケタルコト及香港ニ於テ支那幣制改革後間モナク新紙幣(英國ニテ準備セル由)ヲ發行セルコト等ノ事實アリ。更ニ根本的ノ問題トシテハ香港ノ幣制カ支那幣制ト離ルヘカラサル關係ニ在ルコトナリ——一九三〇年香港政廳ノ通貨委員會ハ支那幣制ト

ノ聯繫ヲ保ツ必要ヲ力説セリ——此等ノ關係ヨリ見レハ今次ノ支那幣制改革ニハ相當香港ノ立場カ加味セラレ居ルヤニ感セラレ少クトモ其ノ意味ニ於テ英國側カ或程度迄豫知シ得ル狀態ニ在リシコトト思ハル。

今後ノ支那幣制ノ動向ニ付テモ右ノ次第ナルヲ以テ香港ノ態度ハ注目ニ值スルモノト思ハル。尙香港側カ支那新幣制ニ基ク支那爲替相場ヲ如何ニ見ツツアリヤハ相當興味アル問題ナル處「リースロス」ハ自分ニ對シ

三、幣制改革ト日本側反對ノ論據

前記(一)ノ如ク新幣制實施ニ際シ英國側カ或程度迄豫知シ居タリト認メラルルコト並(二)ノ如ク支那要人ノ一部カ不當利得ヲ爲シタルコト等ヲ捉ヘテ支那側ヲ攻撃スルコトハ差支ナカルヘキモ單ニ事前ニ我方ニ協議ナシトノ理由ニ依リ反對スルコトハ財政的立場ヨリ見レハ根據薄弱ノ嫌アリ。

三、幣制改革今後ノ見透シ並對外「クレヂット」ノ問題

(一) 新幣制ノ見透

前記(一)ノ新幣制要點中民間在銀ノ國有ハ殆ンド實行不可能ニシテ又外國銀行側所有銀ノ平價引取モ望ナシ。爲替相場ノ安定ハ如何ト言フニ外貨ノ手持高ハ八百萬磅位ナルヘク(右ノ中五百萬磅ハ乘換ニシテ一時的ニ手ニ入りタルモノナルカ三百萬磅ハ逃避資本カ復歸セル爲決定的ニ手ニ入りタルモノナリ)當分ノ爲替資金ニ困ル程度ニハ非ス。然レトモ通貨安定ノ爲ノ外債(「リースロス」借款)ハ日本側ノ反對モアリ大体成立ノ見込ナシ。然ラハ低爲替政策ニ依ル國際貸借ノ改善ノ見込ハ如何ト言フニ目下ノ所ニテハ判斷シ難キモ支那ノ主要輸出品タル農產物食料品ノ如キハ一般ニ單ナ

(二) 新幣制ニ對スル日本側反對ノ論據

價カ下リ磅債務ノ負擔カ重クナル如キ不便アリ)

ル低爲替ノミニ因リ輸出ノ促進ヲ見ル譯ニ行カサル外
原料品ノ如キハ輸出餘力ニ乏シカルヘキ一方生活必需
品ノ輸入ハ必スシモ減少セサルヘシト認メラル結局低
爲替政策ニ依ル國際收支ノ改善モ左シテ期待出來サル
ヤニ見受ラル

(二)不動産金融ノ爲ノ外債募集問題

右ノ如ク爲替相場維持ノ爲ニハ既ニ「リースロス」借款
ハ見込ナントスルモ茲ニ注意スヘキハ英國側ニ於テ
モ他ノ形式ニ依ル借款ヲ案出スルコトナキヲ保セサル
コトナリ(「リースロス」ハ十月十八日正金支店長ニ對
シ國際不動産金融銀行設立ノ意見ヲ洩セリ)且下「ホー
ルパツチ」主宰ノ下ニ切りニ銀行、金融ノ改善殊ニ上
海不動産金融ノ復活ヲ策シ居レルカ(不動産金融改善
ハ英國側トシテハ重要ナル「インタレスト」ヲ有スル
次第ナル一方支那新幣制改革ノ一綱目ニモ舉ケラレ居
レリ(十一月四日財政部長布告末尾)此ノ種外債ノ募
集ニ依リ爲替資金ヲ獲得スルコトハ多クノ國ニ於テ屢々
實行スル所ニシテ而モ「リースロス」一千萬磅幣制借
款案ノ如ク借款ニ依リ得タル資金ハ之ヲ政府ノ赤字公

(四)日本側銀行所有銀處分問題

(一)現狀

極メテ大難把ニ言ヘハ現在上海在銀高ハ支那銀行ニ三
億弗、日本側銀行ニ一千萬弗、外國銀行全体ニ四千萬
弗存在スル處外銀側ハ英國銀行側カ他行モ同シク引渡
ニ應スルナラハ「パー」ニテ引渡シ差支ナキ旨申シ居
ル外何國ノ銀行モ「パー」ニテ引渡ヲ肯セス、之ニ對

シ支那政府筋ハ最近六ノ銀及四ノ確實ナル證券ト十ノ
紙幣トヲ引換フルコトヲ最後的讓歩ナリトテ提案シ來
レル處同案ハ一見六ノ銀ニ對シ六ノ紙幣ヲ與ヘラルル
外更ニ四ノ紙幣(即チ銀ノ三分ノ一二ニ相當スル紙幣)ヲ
餘分ニ貰フ仕組ノ如キモ右四ノ紙幣獲得ノ爲ニハ銀以
外ノ財產タル證券ヲ提供スル次第ナレハ實際ニ於テハ
矢張リ六ノ紙幣ニ對シ六(即チ平價)ノ紙幣ヲ與ヘラル
ルニ外ナラス旁外銀側ハ右提案ニ喰付カサル次第ナリ

(二)外銀側及支那側ノ立場

右所有銀處分不可能ナル爲日本側銀行ハ如何ナル立場
ニ在ルカト言フニ資金ノ調達ニ困難ヲ感シ止ムヲ得ス
外國爲替ヲ賣ツテ之ヲ調達シ居ル狀態ナリ、然ルニ外
國爲替ニテ遺リ繰リスル場合ハ從來二十萬弗ノ銀ニテ
ナラス銀ヲ寢カシ爲替ハ早ク手放スコトナル等ノ諸
般ノ不便、損失ヲ忍ハサル可カラサルナリ。從テ少ク
トモ各銀行支店ニ於テハ何トカ早く銀ヲ處分シテ資金
化スル必要ヲ感シツツアリ

之ニ反シ支那政府系銀行側ノ立場ハ外銀側カ爲替ヲ賣

債補填ニ利用スル(「リ」ハ一千萬磅借款ノ手取りハ中
央銀行ニ賣リ之ヲ爲替資金トシテ同行ニ使用セシムル
ト共ニ賣上金タル弗資金ハ十八ヶ月ノ間政府ノ財政建
直中ハ赤字補填ノ爲流用スル計畫ナル旨ヲ告ケタリ)

場合ニ異リ純然タル事業資金タル性質ノモノナルヲ以
テ右ノ如キ借款ニ對シテハ我方ヨリ攻撃スル理由乏シ
カルヘキヲ懸念スル次第ナリ(我方トシテハ爲替安定
夫レ自体カ怪シカラヌトハ主張シ難カルヘシ)仍テ英

國側カ右ノ如キ事業借款ヲ爲ス場合ヲ考慮シ豫メ我力
對策ヲ練リ置クコト必要ナルヘク一方我方カ後手ニ廻
ラサル様今少シ英國側及支那側ノ内部ニ喰入ツテ其ノ
出方ヲ探索監視スルコト必要ナルニ非サルカ

極メテ大難把ニ言ヘハ現在上海在銀高ハ支那銀行ニ三
億弗、日本側銀行ニ一千萬弗、外國銀行全体ニ四千萬
弗存在スル處外銀側ハ英國銀行側カ他行モ同シク引渡
ニ應スルナラハ「パー」ニテ引渡シ差支ナキ旨申シ居
ル外何國ノ銀行モ「パー」ニテ引渡ヲ肯セス、之ニ對

(三)對策

(イ)「パー」ニテ引渡スコトカ不合理不公正ナルコトハ
勿論ナリ

(ロ)差當リ「パー」相當ノ紙幣ト交換シ銀ハ日本側銀行

ニ封存シ置キ銀紙交換價值ノ終局的決定ハ追テ政府

間ノ交渉ニ委ヌル案モアリ之ニ對シ支那側ハ銀ノ封
存ハ支那側銀行内ニ於テ行フヘキコトヲ主張シ居ル
處一旦支那側ニ引渡シタル以上ハ將來ノ決算懸引上
我方ニ不利ナルコトハ言ヲ俟タス

(ハ)日本政府ニ於テ買上ラル案モアル處右ハ豫算ニモ絡

ミ相當困難アル外必スシモ良策トハ言ヒ難シ

(二)軍艦ニテ積出スコト(即チ支那側ハ話ヲ附ケスシテ
稅金ヲ拂ハスニ積出スコト)モ面白カラス

(ホ)結局本件ニ付テハ正々堂々ト支那側ニ對シ銀行側ノ
自由處分ヲ認ムヘキコトヲ主張シ支那側納得ノ上ニ

所有銀ハ其ノ大部分ハ支那側銀行ノ所有銀ノ如ク發行準備ニ非ス從テ之カ性質ヲ異ニス(B)日本ニ於テモ金地金等ヲ強制買上クルコトヲ豫想シ之カ買上値段決定ヲ外貨評價委員會ニ委ネ居ル處(爲替管理法第4條)若シ法定價格タル五圓ニテ買上クル積リナラハ別ニ外貨評價委員會等ヲ設立スル筈ナキ次第ナルヲ以テ立法ノ趣旨ハ五圓以上ニテ買上クルコトニ在ルコトハ言ヲ俟タサルヘシ從テ兌換停止ノ場合紙幣ト金又ハ銀トヲ平價ニテ而モ外國銀行ヨリ買上ケムトセルカ如キハ常識上モ考ヘラレサル所ニシテ支那側ト雖モ時價ヲ標準トシテ買上クヘキコト當然ナリト言フヘシ。

支那新幣制ノ修正ニ關スル考察
支那新幣制力將來如何ニ落着クヤ又如何ニ落着カシムルコト適當ナルヤハ輕々ニ論斷シ難キモ香港ノ幣制ハ此ノ點ニ關シ有益ナル示唆ヲ與フルモノト認メラル、香港ノ新幣制ノ特色ハ兌換ノ停止、爲替平衡資金ノ設定、適當

六、支那側ニ依ル銀ノ對外賣出問題
過般張公權ヨリ岩井商務官ニ持出シタル銀賣出問題ハ恐ラク爲替資金獲得ノ爲支那側ノ實行スル所トナルヘシ、然レトモ支那政府ニ於テハ新幣制ハ銀本位離脱ニ非サル建前ヲ持シ居ル關係上對内政策ヨリ見ルモ其ノ準備銀ノ大部分ヲ海外ニ賣出スコトハナカルヘキヤニ思ハル從テ本件ハ結局如何ナル程度及額迄賣出スカノ問題ナルカ特ニ巨額ニモ非サル以上ハ餘り之ヲ攻擊スルコトモ考物ナルヘシ

尙支那側ハ約四千萬弗位賣出ノ意向ナリトノコトニテ又日本側ニ對シテハ一千萬弗賣出ヲ提議シ來レルコトハ恰モ外銀及日本側銀行ノ所有銀在高ト合致スル次モアリ此ノ際本件銀賣出問題ト日本側銀行所有銀處分問題トヲ牽連セシメテ後者ノ解決ニ前者ヲ利用スルコトモ一案ナルヘシ

七、北支幣制問題
北支ニ特殊幣制ヲ施行スルノ案ニ付テハ(一)金票案(二)滿洲

國幣案(三)北支統一銀行券案等傳ヘラル處(一)我方カ北支ニ財政金融上ノ「コントロール」ヲ行フ爲ニハ必シモ金圓ノ流通ヲ必要トセサルノミナラハ右ハ爲替管理上モ面白カラス又(二)滿洲國幣流通案ニ付テモ右ト同様ナリ(三)北支ヲ中南支ト別箇ノ幣制ニ置クコトハ北支ト中南支トノ地理的經濟的接近關係ヨリ見テモ困難ナルヘシ、而シテ此ノ點ニ關シ從來支那ノ紙幣カ同一銀行ノ發行ニ係ルモノニテ上海票、天津票ノ如ク流通區域ヲ異ニセルコトハ好箇ノ示唆ナルヘシ要スルニ差當リハ地方的準備ヲ有シ右地方ニ限り流通スル紙幣位ニテ滿足シ中南支ノ幣制ト連繫ヲ保ツコト可然シ尙新銀行券ノ發行ノ如キハ余程慎重考慮ヲ要スヘク又一般ニ理論ニ走ルコトナク徐々ニ無理ナク行フコトニ留意ヲ要ス(北支ト中南支トノ政治關係如何ニ依リ米國ノ聯邦準備制度ニ近クナルカ或ハ「ラテン」同盟ニ近クナルカ決セラルル次第ニテ右政治關係併行セサル幣制ハ面白カラス)

中国幣制維持のため渡米して棉麥借款續借交渉を行うとのモネ内話について
第四號
客年貴電第一一六五號ニ關シ
本省 1月10日発

支那ヨリ渡來ノ途ニアル「モネー」ハ八日滯京中ノ須磨總領事ニ對シ自分ハ孔祥熙ノ依頼ニ依リ幣制維持ノ爲棉麥借款續借交渉ノ目的モアリ渡米スルモノナルカ宋子文等ハ幣制維持ノ爲ニハ現物借款ハ不適當ニシテ矢張り長期ノ政治借款必要ナリトノ意見ヲ有シ居又自分モ斯ク考ヘ居レルカ米國ハ近キ將來ニ於テ銀購買政策ヲ放棄スヘキヤニ觀測セラルル次第ナレハ其ノ際ハ支那モ再ヒ銀本位ニ復歸スルコト然ルヘキヤニ思考シ居レリ云々ト語レル趣ナリ
南京、北平、天津へ轉電セリ
米へ轉電シ米ヨリ冒頭電ト共ニ紐育、英、佛へ暗送セシメタリ

テ適當處置スルコト可然シト認メラル、而シテ我方カ右主張ヲナスノ根據ハ充分ナリ蓋シ(A)日本側銀行

ト認ムル相場ニテ爲替ヲ賣買スルコト發行準備制度ヲ明カニシ居ルコト等ナリ。

中国側による現銀の対米売却状況について

上海 1月13日夜発

本省 1月13日夜着

昭和11年1月13日 在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

所有銀処分に関する外国銀行および本邦銀行の対応状況報告

第一四號 (編注) 第一六七號ニ關シ

支那側カ今日迄米國方面ニ積出シタル銀ハ約六千五百萬元(一說ニハ五千萬「オンス」)ト推測セラル何日頃如何ナル價格ニテ賣約セルモノナリヤ今後如何程積出スモノナリヤ等ニ付テハ努メテ極秘ニシ居ルモノノ如シ(往電第二號會談ノ際館員ヨリ「ホールパツチ」ニ尋ね見タルモ支那側ハ自分等ニモ明示セスト述ヘ居タル由)尤モ十日紐育發電通ハ米國政府ノ既ニ買付ケタルハ一億「オンス」ニシテ「オンス」六十五仙ノ割ニテ支拂ヲ爲セル旨ヲ報シ居レリ尙海軍武官室ニテハ右ノ外更ニ五千萬「オンス」ヲ積出スコトニナリ居リ右ハ航空機其ノ他ノ武器ノ購入ニ充テラル苦筈ナリトノ聞込アルモ且下ノ所眞偽不明ナリ

北平、南京、天津へ轉電セリ

編注『日本外交文書』昭和期II第一部第四卷第655文書。

~~~~~

客年往電第一一六七號ニ關シ

支那側カ今日迄米國方面ニ積出シタル銀ハ約六千五百萬元(一說ニハ五千萬「オンス」)ト推測セラル何日頃如何ナル價格ニテ賣約セルモノナリヤ今後如何程積出スモノナリヤ等ニ付テハ努メテ極秘ニシ居ルモノノ如シ(往電第二號會談ノ際館員ヨリ「ホールパツチ」ニ尋ね見タルモ支那側ハ自分等ニモ明示セスト述ヘ居タル由)尤モ十日紐育發電通ハ米國政府ノ既ニ買付ケタルハ一億「オンス」ニシテ「オンス」六十五仙ノ割ニテ支拂ヲ爲セル旨ヲ報シ居レリ尙海軍武官室ニテハ右ノ外更ニ五千萬「オンス」ヲ積出スコトニナリ居リ右ハ航空機其ノ他ノ武器ノ購入ニ充テラル苦筈ナリトノ聞込アルモ且下ノ所眞偽不明ナリ

北平、南京、天津へ轉電セリ

本省 1月13日夜着

本省 1月13日夜着

往電第三號ニ關シ

「十日「チャイナ、プレス」ハ財政部ハ世界通信ニ對シ外國銀行所有銀引渡ノ條件ニ付種々噂アル處事實ハ支那銀行ヨリ有利ナル條件ヲ與ヘタルモノニアラス蓋シ支那銀行ニ對シテハ Chinese Government domestic bonds 又ハ Short term commercial papers ノ如キ適當ノ擔保四〇%ト銀六〇%ヲ以テ引渡ヲ爲スコトヲ認メタルニ依リ外國銀行ニモ十二月初同様ノ條件ヲ「オフナー」セルカ外國銀行トシテハ支那内國債ノ提供困難ナルヘキニ付更ニ一分利付ト六分利付ノ預金ノ交換ヲモ認ムルコトシタルモ

ク方法ニ依リ手許資金ヲ調達シ行ク爲乘換鞘(三十二分ノ三)トシテ年八分近クノ利息ヲ支那銀行ニ貢キ居ル形トナリ居ルハ如何ニモ馬鹿ラシク又所有銀ヲ引渡シテ夫レ丈ケノ(又ハ其ノ他其ノ四〇%)資金ヲ得レハ金融モ樂ニナルモノヲ夫ヲ爲ササル爲金融困難トナリ勢ヒ爲替ノ「レート」モ不利ナルモノヲ出ササルヲ得ス延イテ日本銀行ニ主トシテ割引ヲ仰キ居ル日本人貿易商ニ夫レ丈ケ不利ヲ與ヘ居ルハ遺憾ナリト爲ス者鮮カラサリン趣ナリ(此ノ點斯ル結果トナルモノナリヤ御回示ヲ請フ)

在支各總領事、北平、廈門へ轉電セリ

ノナリ外國銀行ハ右ノ孰レカヲ受諾シ既ニ二千六百萬弗ノ銀ヲ引渡シタリトノ趣旨ヲ發表セル旨ヲ報セリ

二、當地銀行家側ノ得タル情報ニ依ルモ外國銀行カ大體引渡ヲ承諾セルハ事實ナルカ如シ尤モ必スシモ現實ニ銀ノ所

在ヲ變更セス保護預證ヲ提出シ銀ノ引渡ニ代ヘタルモノ鮮カラス又英國銀行側ハ依然六〇、四〇ノ案ヲ固執シ支那側ニテ前記(一)ノ如キ内國債ヲ擔保ニ提供方ヲ主張シ居ルヲ以テ擔保物ノ點ハ未解決(輸出手形ヲ以テスル案ヲ研究中ノ由)ノ儘銀ヲ引渡シ不取敢同額丈ケノ銀行券ヲ貰ヒタル由

三、日本各銀行ハ各自本社ヨリ貴電第二號ノ訓令ニ接シタルヲ以テ十日會合ヲ開キタルカ客年往電第一一七三號(一)ノ回章モ希望者ハ中央銀行ト直接交渉セラレ度シトノ趣旨ナルヲ以テ支那側ニ特ニ此ノ際引渡サスト通告スル必要モ無ク外國銀行協會ニ對シ「カーテシー」トシテ口頭ヲ以テ當分靜觀スル旨ヲ通知スルニ止ムルコトニ決定シト一日右様通知セリ

尚右會合ノ際所有銀ニ手ヲ着ケス別ニ爲替ノ乗換(「スポーツ」ニテ外貨ヲ賣リ先物ヲ買ツテ「カバー」ヲ取り行

(付記)  
英國銀行側ノ銀引渡問題ニ關スル件

十一、一、十三、曾禰記

本一月十三日正金銀行有馬爲替課長ヨリ左ノ通電話アリタ

正金上海支店ヨリ接受セル電報ニ依レハ本日「チャーターード」銀行ハ支那側トノ間ニ銀六、「セキュリティ」四、ノ割合ニテ十、ノ法幣ト引換フルコト而シテ銀ハ現實ニ引渡

サス單ニ保管證書ヲ差出スコト及「セキュリティ」ノ種類  
ニ付テハ猶支那側ト談合中ナルカ外貨公債ヲ含マサルコト  
ニ取極成リタル趣ナリ

有馬ノ觀察ニ依レハ右英國側ノ引渡條件ニ付注意スヘキハ  
(イ)現銀ヲ引渡ササルコト及(ロ)外貨公債ヲ排除セルコトニシ  
テ就中(ロ)ハ九十六金公債ヲ受付ケサラントスル「マヌーヴァー」  
トシテ警戒ヲ要スルモノノ由ナリ

~~~~~

932 昭和11年1月17日 在漢口三浦總領事より
広田外務大臣宛(電報)

漢口在留の主要な英國商人が幣制改革のもた
らす悪影響を指摘してリース・ロスを難詰に
ついて

漢口 1月17日夜発
本省 1月17日夜着

第九號

「リースロス」十六日飛行機ニテ南京ヨリ來漢シタルカ右
ニ關シ十七日英國總領事「モス」ノ本官ニ内話セル所左ノ
通

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

リ

933 昭和11年1月20日 在南京松村總領事代理より
広田外務大臣宛

現銀売却、兌換期限延長、中央銀行改組に關

する孔祥熙の新聞談話について

(1月29日接受)

普通第四四號 昭和十一年一月二十日 在南京

外務大臣 廣田 弘毅殿

法幣兌換延期其ノ他ニ關スル孔祥熙談話報告ノ件

財務部長孔祥熙ハ一月十六日新聞記者ノ質問ニ對シ銀ノ賣
却、法幣兌換延期及中央銀行ノ民間株式増加各問題ニ關シ
大要左ノ通り述ヘタル趣ナリ

(イ)米國ニ賣却シタル銀ハ一昨年ニ二千萬元昨年十一月ニ三
千萬元合計五千萬元ナルカ當時ノ市價昂騰ヲ極メタル爲
相當ノ利益ヲ收メタリ巷間傳フルトコロノ賣却實數十億

右何等御参考迄報告申進ス

本信寫送付先 大使 北平 上海

元説ハ事實無根ナリ

(ロ)民國二十四年十一月四日新貨幣制度實施以來法幣ハ全般
的ニ流通スルニ至リタルカ僻遠省區迄ノ普及ハ相當ノ時
日ヲ要スヘキニ據り財政部ハ豫メ兌換法ノ規定ニ基キ兌
換期限ヲ三ヶ月即チ本年一月三日迄ト定メタルカ時日切
迫セル今日尙兌換セサル者相當アル見込ニテ人民ノ利便
ヲ圖ランカ爲二月三日ヨリ向フ三ヶ月延期スルコトニ決
定セリ

(ハ)中央銀行ヲ準備銀行ニ改組スヘク日下着々進行中ナルカ
同銀行ノ資本總額一億元中政府側持株ヲ六割民間側持株
ヲ四割トシ既ニ政府ヨリ公布シ株式募集ニ着手セルモ準
備銀行ノ改組實現ノ上ハ人民ト共ニ負責監督ヲ爲ス要ア
ルニ鑑ミ今般民間側持株ヲ六割ニ變更スヘク同銀行ノ組
織法修正方行政院ニ上提シタル處同院會議及中央政治委
員會會議ヲ通過シ立法院ノ審議ニ移サレタリ右民間側ノ
持株ハ凡ユル商業團體及一般民衆ノ加入ヲ許シ且理事ニ
選出セラレ得ルモノナリ云々

(一)「リ」ハ十九日迄漢口ニ滯在(此ノ間支那側金融業者並
ニ實業家ト意見ノ交換ヲ行フ筈)二十日飛行機ニテ重慶
ニ向フ筈ナルカ「リ」ノ來支任務モ略終了シタルニ付地
方ノ情勢視察旁三峽ノ嶮ヲ見物ニ來リタルモノナリ

(二)十六日夜英國在留民ノ主立テルモノト會食ノ際在留民側
ヨリ漢口ノ商業カ逐年不振ニ赴ケル狀況ト幣制改革ニ依
リ一層ノ不景氣ヲ招來セル事實ヲ述ヘ殊ニ南京政府ハ南
京、上海等ニ於テ表面上ヨリ見ル如キ強靱ノモノニアラ
ス其ノ威令ハ遠ク地方ニ及ヒ居ラサルヲ指摘シ幣制改革
後幾何モナキ今日奧地方面ニテハ之ニ疑念ヲ生スルモノ
多キヲ加ヘ紙幣ニハ打歩ヲ生シ取引ハ漸次困難ヲ加ヘツ
ツアリトテ幣制改革ヲ攻擊(「アタツク」ノ文字ヲ用ヒタ
リ)シ「リ」ハ受身トナリテ辯(明)ニ努メタルカ尙同夜
ハ在留民側ヨリ黨部ノ弊害(「モ」ハ自分ノ觀ル所ヲ以テ
スレハ黨部ハ「ソヴィエット」制度ノ模倣ニ過キス所謂
三民主義ト相俟テ支那ヲ毒シツアリト附言ス)共產軍
討伐ノ不徹底、英國ノ對支政策ノ萎靡等ヲ訴フルコトニ
終始セリ

支、北平、天津、南京、廣東へ轉電シ重慶、宜昌へ暗送セ

中央、中国、交通三銀行の法幣発行額について

上海 1月22日夜發
本省 1月22日夜着

第三九號

客年往電第一〇七二號ノ六及本年南京發本使宛電報第一一號ニ關シ發行準備管理委員會ハ發行檢查七條ノ規定ニ依リ三大銀行ノ十二月三十一日現在ニ於ケル法幣發行第一次検査ヲ左ノ通發表セリ(單位百萬弗)

發券總額

中央一七九、中國二八六、交通一七六
現金準備

中央一一八、中國二〇一、交通一一三

在支各總領事、北平、廈門へ轉電セリ

935 昭和11年1月23日 在中國有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

準備銀亮却問題に関する中央銀行關係者の内

廿二日席德懋ノ館員ニ語ル所左ノ通
第四三號⁽¹⁾

客年往電第一一三三號ニ關シ

(1)往電第三九號現金準備ハ銀ハ從來ノ一弗ヲ其ノ儘一弗トシテ見積り金ハ標金相場ヲ基トシ其ノ變動ヲ考慮シ約一割ヲ減シタルモノヲ以テ又外貨(一部ハ「チエンジオーバー」ヲ含ム)ハ中央銀行ノ標準相場(英貨ナラハ一志二片半即チ中央銀行ノ賣相場ト買相場ノ中間)ヲ以テ評價付申上ケ兼ヌル所ニシテ改革當時ノ在銀ノ一部ヲ賣却シタルモ其ノ後集マリタル銀モアリ銀カ依然大半ヲ占ムルハ想像ニ難カラサルヘシ

(2)米國ニ積出シタル銀ハ五千萬弗ニシテ政府カ直接米國政府ト話合ヒ六十五仙前後ニテ賣約セルモノナリ賣却セル代金ハ未タ其ノ儘米貨ニテ所有シ居リ先般英米「クロス」ノ變動ニ依リ支那政府カ右代金ヲ米貨ヨリ英貨ニ替ヘタ

ル由ナリトノ噂アリシモ事實ニアラス但シ米國側ト別段ノ約束アル譯ニアラサルヲ以テ將來ハ必要ニ依リ磅ナリ圓ナリニ乘替ヘルコトアルヘシ

(3)英米「クロス」カ五弗ヲ超エレハ中央銀行ノ賣相場一志

二片八分ノ三ニテ「アービトレーション」ヲ生スルヲ以

テ對米相場變更ノ要アリト考ヘ居タルモ先般來ノ米弗安

モ「クロス」四弗九十一仙迄ニテ止マリタレハ對米二十九弗四分ノ三ヲ維持シ得タリ

(4)往電第四〇號當局談ニ僻陬ノ地ニ限ルトアルハ上海等ニテハ二月四日以後ハ銀貨ヲ提出スルモ法幣ト交換セストノ意ナリヤトノ質問ニ對シ「アンダー、パリティー」ニナラサル限り引續キ交換スルモ銀ノ市價如何ニテ交換ヲ停止スルコトアルヘシトノ意ナリト答ヘタリ

(5)公債借替ヲ爲スヤ否ヤハ政府ノ決定スヘキ問題ニシテ中央銀行トシテハ關知セス(政府カ借替ヲ考慮シ居ルコトハ必スシモ否定セス)元來借替ハ各國ニテ前例モアルコトニモアリ支那ニテモ不可能ニハアラサルヘク公債ノ市價ノ低下從テ其ノ擔保力ノ減少延イテハ金融ノ梗塞ヲ來シ通貨ノ安定ニモ惡影響アルヘシトノ心配ヲ爲ス銀行家

ルモ支那側カ承知セス支那側ノ希望スル輸出手形ノ提供ハ困難ナルニ付輸出手形ヲ幾何買ヒタリト云フ證明ニテ濟マサントセルモ是亦支那側カ承知セス結局預金交換ニ依ル外ナキニ至レルカ如ク支那側カ斯ク強化セルハ銀市價ノ低下ニ依ルコト勿論ナルカ其ノ外支那側ニハ外國銀行ラシテ支那内國債ヲ新タニ買ハシメ又ハ輸出手形ヲ買ハシメテ夫レ丈ケニテモ外國ヨリ新タナル資金ヲ流入セシメントスル魂膽アルヤニ考ヘラル趣ナリ

在支各總領事、北平、廈門へ轉電セリ

~~~~~

937 昭和11年1月24日 在南京須磨總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

米国財界筋が無謀なる銀政策をとらないよつ  
モネに周旋を依頼したとの孔祥熙説明振りに  
ついて

南京 1月24日前発  
本省 1月24日前着

第四一號  
支宛貴電第五號ニ關シ

本二十三日孔祥熙ハ本官ニ對シ棉麥借款モ出來得レハ復興セシメ度キカ之ヲ以テ新幣制ノ支持ニ用フル意思無ク銀力不幸更ニ下落ノ傾向熄マストスルモ今ノ所銀六割其ノ他ノ保證四割ノ準備アレハ當分ハ「レート」ヲ變更スルコト無ク此ノ儘幣制ヲ維持シ得ヘキ見込ナルカ米國カ此ノ上無謀ナル策ニ出ツルハ米國ノ爲ニモ執ラサル所ナレハ今月末出發歸米ノ「モネー」等ニモ其ノ趣旨ニテ米國財界ニ接觸方依頼シ置ケリト述ヘ居タリ  
尙孔ハ銀ノ國外賣却ニ關シ五千萬元ノ積出ヲ終レルモ且下ノ所之レ以上賣却意思無シト附言セリ  
支へ轉電セリ

938 昭和11年2月3日 在中國有吉大使より  
広田外務大臣宛(電報)

統一公債および復興公債の發行に関する情報

について

上海 2月3日夜発  
本省 2月3日夜着

第六三號

<sup>(1)</sup>新聞報道ニ依レハ孔祥熙ハ一日午後公債所持人代表者、銀行家等ト會合シ政府ノ方針ヲ説明スルト共ニ幣制改革ノ達成、公債信用ノ維持、商工業ノ助成、豫算ノ均衡等ニ付協議シタルカ最近貿易ノ均衡ハ改善セラレタルモ同時ニ關稅收入ノ減少ヲ來シ内債ノ元利拂ニ不足ヲ生シ差當リハ政府ニ於テ一箇月數百萬元ヲ支出シテ右不足ヲ補ヒ居ルモ之カ根本對策ヲ樹ツル必要アリトテ左記二種ノ公債發行ヲ爲スコトニ議纏マリ其ノ旨「ステートメント」トシテ發表スル趣ナリ(委細郵報)

(二)十四億六千萬元ニ達スル内債未償還額全部ヲ「ファンド」

スル爲ニ統一公債(Consolidated Loan)ト稱スル新公債ヲ

二月一日發行ス利率ハ年六歩、期限ハ十二、十五、十八、二十一、二十四箇年ノ五種トシ(引換ヘラルヘキ舊公債

ノ種類ヲ列舉シ夫々交付スヘキ新公債ノ期限ヲ異ニス大體十年位ノ期限延長トナルモノノ如ク尙列舉セラレタル舊公債中ニハ從來不拂トナリ居ル九六公債銀元部分、八年整理公債等ヲ含マス)年一二回抽籤償還ス新公債ハ「ファンド」セラルヘキ舊公債ト同様關稅收入ヲ擔保トシ財政部ハ總稅務司ニ對シ外債ヲ支拂ヒタル後ノ剩餘ヨリ所

要ノ資金ヲ國債基金管理委員會ニ引渡スヘキ旨ヲ訓令スル筈ナリ  
既存公債ハ二月一日ヨリ四箇月以内ニ新公債ト引換フヘキモノトス但シ  
(イ)本年三月完済セラルヘキ善後短期公債  
(ロ)利率低率ナル十七年金融長期公債  
(ハ)關稅附加稅ヲ擔保トスル海河公債  
ハ此ノ限りニアラス

(二)法幣政策ノ完成、金融組織ノ健全、生産建設ノ扶助、國庫收支ノ平衡、公債市價維持基金ノ設定ノ爲別ニ新公債ヲ發行ス復興公債(Recovery Loan)ト稱シ總額三億四千萬元六分附二十四箇年ニ完済、年一二回抽籤、外債支拂ノ後ノ關稅剩餘ヲ擔保トス

前記(一)ハ先般來問題トナリ居タル公債支拂期限ノ延長ヲ敢行シタルモノニシテ公債ノ大部分ハ昭和七年以來月利五厘ニナリ居ルヲ以テ表面ハ利率ノ引下ヲ行ハサリシモノナルカ今迄毎月約一千五百萬元ノ元利支拂ヲ要シタルヲ期限延長ノ結果右ヨリ割合少キ金額ヲ年一二回支拂ヘハ足ルコトトナリタル譯ニテ(二)ハ(一)ノ結果生スヘキ剩餘ヲ以テ元利ヲ支

拂ヒ得ル限度迄新公債ヲ發行シテ政費ノ不足等ヲ補ハント  
スルモノト認メラル(一ト二)ノ元利支拂ニ要スル金額ハ從  
來既存公債ニ支拂ヒタル金額ト略同一トナル計算ノ由)  
北平、南京、天津へ轉電セリ

~~~~~

939 昭和11年2月3日 在中國有吉大使より
廣田外務大臣宛(電報)

新幣制は當面維持し得るとの見通しをリー
ス・ロス内話について

上 海 2月3日夜發
本 省 2月3日夜着

第六四號 往電第四六號ニ關シ

二日「リースロス」ノ須磨ニ内話セル所左ノ通

(一)幣制ハ此ノ儘持續出來得ヘシト信ス蓋シ最銀ノ高カリシ
一九一九年以來今日迄十七年間ノ銀價及米國ノ銀政策ヲ
仔細ニ研究セルカ其ノ結果現在以上更ニ銀價ノ下落スル
コトハ萬ナカルヘシト思ハル從テ現在ノ一志二片半ノ爲
替相場ハ維持シ得ヘク萬一米國カ更ニ銀價ヲ下落セシム

- (イ)其ノ案自體「サウンド」ナルコト
(ロ)舊債ノ整理ニ對スル支那側ノ誠意ヲ確ムヘキコト
(ハ)日支關係ヲ此ノ上惡化セシメサルコト
(四)孔祥熙カ聲明セシ通り來年三月迄幣制ヲ維持スルニハ二
千五百萬位ノ資金ヲ要スル處統一公債ノ發行ニ依リ月額
尠クトモ百五十萬元ノ餘裕ヲ生スヘキニ付之ニ依リ何ト
カ間ニ合ハセル考ナルカ如シ
- (五)但シ孔祥熙始メ支那ノ關係者ノ氣紛ニハ實ハ驚キタリ此
ル様工作スルナラハ之ニ應スル様適宜爲替相場ヲ變更セ
シメ以テ幣制ヲ維持スルヲ得ヘシ
- (二)而シテ右幣制維持ノ爲所要ノ資金ハ日英共同借款不成立
ニ決マリタル今日英國單獨借款ニ依ラントスル考モアリ
シカ英本國ヨリ借款ハ

- (一)统一公債ノ發行ハ「ヤング」カ主トシテ相談ニ與リ居リ
自分ハ「アドバイス」ヲ求メラレサリシカ新聞發表ニ依
テ觀ルモ健全ナル仕組ニテ尠クトモ新幣制ヲ維持シ行ク
上ニ效果アリト思ハル
- (二)然ルニ他方昨五日本官上海ニ於テ周作民ヨリノ聞込ニ依
レハ復興公債ニ依リ事實新幣制ヲ強化スルコトハ困難ナ
ルヘシトノコトニテ又同日「アベンド」カ英米銀行家發
電報ヨリ得タル情報ナリトテ本官ニ内報スル所ニ依レハ
一月末迄ニ三銀行カ政府ニ前貸シ居ル金額ハ約一億六千
萬元ニ達シ(十一月ノ政府支拂不足額一億二千萬ナリシ
ト謂ハル)且他ノ銀行ヨリモ此ノ種ノ前借アル狀況ナレ

ノ點日本側ノ對支方策モ成程ト頤カルル點ハアルモ自分

ノ北支視察ノ結果ニ依レハ關東軍ハ對支政策ニ關スル限

リ東京政府以上ノ役割ヲ演シ「自治政權」タルノ感アリ

忌憚無ク言ヘハ今後共英國ニ思ハシカラサル「リアクシ

ヨン」ヲ齎スヘシ云々

尚右ニ關聯シ「リ」ハ密輸、關稅、鹽稅等ニ付事例ヲ舉ケ
テ說明シ居タル由ナルカ須磨ヨリハ例ニ依リ北支ノ事態ハ
本質的ニ支那ノ内政問題ナル旨ヲ說明シ英國ハ斯ル些々タ
ル事態ニ因ハレス日英間ニ起ルヘキ世界各方面ニ於ケル一
般問題ニ付大局的考慮ヲ拂ヒツツ日本ノ東亞ニ對スル進出
ヲ容認スルノ態度ニ出ツルコト緊要ナリト應酬シ置キタル
趣ナリ

南京、北平、天津へ轉電セリ

~~~~~

第九一號 支發閣下宛電報

第六九號ニ關シ

(一)今回ノ復興公債ノ使途ニ付テハ四日行政院會議ニ於テ新  
幣制ノ維持、金融組織ノ健全化、生產建設ノ助成、國庫  
收入ノ平衡、債券市場ノ安定等定メタルモ六日ノ中央政  
治會議ニテ主トシテ新幣制ノ維持ニ差向クルコトニ決定  
セル趣ニテ本六日孔祥熙モ右ノ次第本官ニ内話シ居リ專  
ラ爲替資金ニ充當セラルル模様ニテ現ニ昨年十一月以來  
積出サレタル銀五千萬「オヌス」(支那側消息通ノ數字  
ニ依レハ一億二千萬元ナル由)ニ對スル銀行側ヘノ填補  
モ本公債中ヨリ支拂ハルル趣ナリ

(二)然ルニ他方昨五日本官上海ニ於テ周作民ヨリノ聞込ニ依  
レハ復興公債ニ依リ事實新幣制ヲ強化スルコトハ困難ナ  
ルヘシトノコトニテ又同日「アベンド」カ英米銀行家發  
電報ヨリ得タル情報ナリトテ本官ニ内報スル所ニ依レハ  
一月末迄ニ三銀行カ政府ニ前貸シ居ル金額ハ約一億六千  
萬元ニ達シ(十一月ノ政府支拂不足額一億二千萬ナリシ  
ト謂ハル)且他ノ銀行ヨリモ此ノ種ノ前借アル狀況ナレ

ハ復興公債ハ結局右ノ補填ニ止マルヘク尙本公債ノ市價

ハ五割乃至五割五分ナルニ拘ラス三銀行ハ之ヲ額面ノ九、

八掛ニテ引取ヲ命セラレ居ルニ付結局本公債ノ約半額ハ

事實上「インフレーション」トナル譯ニテ一般ニ悲觀サ

レ居ルモ兎モ角金融上ノ急場ヲ凌ク爲「アーサー、ヤン

グ」ニ於テ立案シタルモノナリトノコトナリ

支、北平、天津へ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

(別紙)  
「支那ノ通貨問題ニ就テ」

941 昭和11年2月7日 在中國有吉大使より  
廣田外務大臣宛

新幣制は相當期間維持し得るなど三菱銀行上海  
支店長の中國通貨問題に關する見解について

付記 昭和十一年三月、在中国秋原大使館三等書記  
官作成

「支那一般幣制問題及北支幣制對策」  
(2月15日接受)

機密大第九〇號 昭和十一年二月七日

在中華民國

(一)新幣制ノ前途ニ對スル批判  
前途ニハ(1)米國ノ銀政策カ急ニ硬化或ハ軟化スルコト(2)日支兩國間ニ紛爭カ起ル事ハ南京政府カ財政上救難ノ爲メニ通貨ヲ濫發スル事ノ三大危險カアル。ハノ通貨膨脹ニ就テハ政府當局ハ充分警戒シテ居ルカ夫レテモ漸次惡影響ヲ通貨ニ與ヘル様ナ財政策ハ免レヌテアラウ。最近ノ内債ノ利下ヶ及ヒ償還期限ノ延長問題ハ要人ノ投機問題カ世人ノ注視ヲ引イテ居ルカ實情トシテハ利下及ヒ償還延長ノ事ハ既定ノ計畫ト察セラレルカラ民間ノ反対ヲ押切ツテ斷行スルト考ヘラレル。(追記、二月二日ニ

外務大臣 廣田 弘毅殿  
支那ノ通貨問題ニ關スル吉田政治意見ニ關スル件  
本件ニ關シ三菱銀行上海支店長ヨリ別紙提出アリタルニ付御参考ノ爲寫送付ス

本信寫送付先 在支各總領事 廈門 商務書記官

至リ政府ハ愈々整理公債十四億六千萬元、並ニ復興公債三億四千萬元發行ニ決定セル旨ヲ公表シタ。整理公債ハ民間ノ反對ヲ顧慮シタモノカ利下ヲ行ハスニ償還期ヲ延長シタ。)

新幣制ハ支那ノ國情ニ適合セヌ點モ多ク又準備條件ヲモ缺如シテ居ルカラ將來安全ニ維持スル事ハ至難ト思ハル。然シ乍ラ高橋龜吉氏ノ豫言シタ如クニ一二ヶ月テ崩潰スルト云フ様ナル觀測ハ正當ト思ハレス。今後モ政府カ充分戒慎シテ無暴不謹慎ノ手段ヲ採ラヌナラハ尙相當期間現狀程度ノ維持カ出來ルト思ハレル。唯新通貨ノ價值カ自然ニ徐々ニ軟化シテ行ク事ハ免レヌ運命テアツ春季ニ入り輸入カ旺ントナリ又市場ニ新通貨カ潤澤ニ行キ亘ル曉ニハ著シク軟化スル可能性カアル。

(二)新幣制實施以來ノ成績

新幣制ハ完全ナルモノテナク其制度ノ中ニ種々ノ缺陷ト危険トヲ抱藏シテ居ル事ハ否ミ難イ。然シ乍ラ實施以來今日マテ満三ヶ月ノ經過ヲ吟味スルニ未タ破綻ラシキ現象ヲ示サスニ却ツテ三四ノ好影響ヲ財界ニ與ヘテ居ルコトカ看取サレル。即チ好影響トシテハ(1)物價カ概シテ昂

騰シテ約一割五分高トナツテ居ル事(2)財界ハ紙幣ヲ通貨トシタ爲メニ銀硬貨時代ヨリモ通貨ノ流通能率カ高クナツテ居ル新舊年末カ十數年來殆ト見サル程ニ極メテ平靜ニ過スコトノ出來タノモ其ノ原因ノ一ハ紙幣ニ存スルト考ヘラレル。(1)爲替相場ハ幣革以來政府ノ目標トスル對英一志一片半ノ標準ニ於テ頗爾健實ニ維持サレテ來タ。之ハ他ニ原因モアルカ政府系三銀行カ爲替ノ統制賣買ヲ適宜ニ行ヒ一方ニ於テ通貨ノ濫發ヲ避ケテ寧ロ緊縮方針ヲ採ツテ來タ結果ト謂ハネハナラヌ。即チ政府ノ爲替維持ハ先ツ今日マテノ處市場ヲ安定シ來ツタ。(2)外國人ノ立場カラ見レハ甚タ好マシクナイ事テアルカ金融並ニ爲替市場ニ於ケル實權(即チ取引上ノ實益及ヒ市場ヲ制配スル權能)ヲ外國銀行並ニ群小支那銀行カラ政府系三銀行ニ回收シタ事ハ支那政府トシテハ確ニ大ナル成功ト考ヘテ居ルテアラウ。

以上ノ如キ經過ヲ見レハ新幣制ハ一大成功テアルト考ヘル人々モ出テルテアラウカ吾人ノ見解ヲ以テスレハ未タ成功トモ失敗トモ批判スル事カ出來ヌ左様ノ批判ヲ下スコトハ尙早テアル。前述ノ好影響ヲ起シタ原因ハ偶然並

ニ必然ノ副生的事情カ存シタ爲メテアツテ、幣制其モノノ成功トハ謂ヒ得ヌ。成功テアルカ失敗テアルカハ前項ニ記シタル通り其ノ前途ノ成行ヲ見ルヨリ外ナイ

尙幣制ノ樞要綱目テハナイカ銀ノ國有計畫ハ新幣制ト伴

ツテ政府カ主トシテ利得ノ目的ノ爲メニ立テタルモノテアル。此ノ銀國有ハ過去三ヶ月ノ經過カラ見テモ又今後ノ見透カラ謂ツテモ明カニ失敗テアル。僅ニ上海方面ノ

大小内外各銀行カラ從前公表サレテ居タ手持銀ヲ國有化シタノミテアル。一般私人ノ所有銀ヤ奥地方面ノ在銀ハ

政府ニ引渡サレスニ居ル今後モ先ツ其ノ見込ナキモノト

察セラレル。然シ乍ラ政府カ今日迄ニ國有化シタ銀約二億五千萬元ノ内大半ヲ米國向ケ積出し之ヲ米國政府ニ賣却シタ事ハ賢明ナル方策テアツタト謂ヒ得ル。即チ新幣

制ハ全然銀本位ヲ離脱シタモノテアルカラ此ノ際政府所

有銀ヲ高値テ賣却シテ政府系三銀行カ爲替統制ニ必要ト

スル在外資金ノ充實ニ振向ケルコトハ必要有利ノ手段テ

アル。

### (3) 支那ノ幣制ト日本

新幣制ハ恐ラク徐々ニ維持難ニ陥ルテアラウカ必シモ近

キ將來ニ全的崩潰ヲ來スモノトハ考ヘラレヌ。然シ乍ラ新幣制カ満足ナモノテナイト云フ理由ニヨリ日本カ國策トシテ干渉的態度ヲ採ルコトハ決シテ良キ結果ヲ來サヌト思ハレル。其ノ干渉手段ノ成否カ頗ル疑問ノ餘地アルノミナラス成否孰レニシテモ日本トシテ得ル所ハ無ク反對ニ支那民衆ノ深怨ヲ買ヒ且日支通商ニ打撃ヲ與ヘル危険カ大キイ故ニ日本カ支那ノ通貨、金融如キ問題ニ對シテ臨ムヘキ態度ハ極力之ヲ外交的政治的ノ問題カラ切離スコトテアル。而シテ出來ル丈ケ民衆ニ對シテ同情的態度ニ出テ適當ノ機會ニハ支援ノ手段ヲモ講スルヲ可トスル。斯ル場合ノ支援ニハ日本カ主導者トナツテ英米等ノ力ヲ利用スルコトモ不可テハナイ。支那ノ通貨、金融等ノ問題ニ對シテ日本カ干渉的對策ヲ採ルヘシトノ論ニハ種々ノ理由カ考ヘラレテ居ル様テアル即チ(一)支那カ幣制ノ失敗或ハ財界ノ窮迫ニ頻シタ場合ニ英米等カ救援ニ名ヲ借りテ野望ヲ企テル危險アル事(二)支那政府要人連ハ通貨金融等ノ問題ニ關シテ公利益ヨリモ要人連ノ私利私益ヲ圖ツテ居ル事等ハ其ノ例テアル。然シ乍ラ惟フニ英國ハ日本ヲ排除シテマテモ對支經濟工作ヲ行ハントスル

### (4) 邦人銀行ノ手持銀問題

シテモ)又米國ハ銀政策カ支那ニ與ヘタル打擊ヲ悔ヒテ今日ハ消極的乍ラモ極力支那ノ好感ヲ取戻サント努メテ居ルノテアツテ日本ノ利益ニ反シテ迄モ對支工作ヲ企テル意志ハ無イモノト思ハレル。之等ノ列強ハ東亞ニ於ケル日本ノ實力ヲ知ルト云フヨリモ寧ロ恐レテ居ルノカ眞情テナカラウカ。而シテ彼等ハ日本ノ對支國策ヲ傍観シテ日本カ長江方面即チ中部支那地方ノ經濟權益ヲ輕視セルカ如ク又四億民衆ノ怨憎ヲ培ヒツツアルカ如キ状勢ヲ不可解視シテ居ル様テモアル。

次ニ支那ノ政府筋要人連カ私利私益ヲ根本トシテ幣制其他ノ經濟施策ヲ行ヒ居ルコトハ或ル程度マテ否定出來ヌテアラウ。然シ之ハ支那ノ國情柄容易ニ清掃シ難イ事テアルノミナラススル要人連ノ精神ヲ憎シテモ其ノ實行シツツアル經濟的金融的施策ヲ失敗セシメル事ハ之等要人連ノ精神ヲ改メサス手段トハ限ラス唯四億民衆ノ痛苦ヲ更ニ加大スル結果トナル池ノ水ヲ濁シタル者ヲ惡シテ其ノ水ヲ奮去（争）レハ池中ノ魚ハ死ニ至ルテアラウ。濁シタル者ヲ惡ムハ可ナレトモ魚ト水トヲ惡ムノ要ハ無イ

日本側カ國策上ニ之ヲ利用スル可能性モ手段モ今トシテハ殆ト無イ様ニ思ハレル。當業者ノ立場カラスレハ過去三ヶ月間多大ノ不利(金融上ト銀相場上ノ「重ニ」ヲ忍テ來テ居ル上ニ今後モ此ノ不利ハ増大スルノミテ殊ニ銀價ノ慘落テモアレハ損失ハ益々大キクナル。其上ニ日本側ノ不渡ニ對シテ支那側カラ巧妙ナル報復手段ヲ採ラレル場合ニハ將來金線上多大ノ不便ト不利ヲ蒙ル虞レモアル。故ニ日本政府ニ於テ不渡ヲ必要トスル特殊ノ理由カ無イナラハ此ノ際支那側カラ巧ミニ依頼狀テモ出サセルトカ或ハ日本側カラ堂々タル引渡理由ノ説明ヲ附スル等何等カ體裁ヲ整ヘル方法ヲ講シテ速ニ引渡ス事カ現在ノ爲メニモ將來ノ爲メニモ得策ト思ハレル。銀行業者カ不

渡ノ理由トシテ「新幣制ノ見透シカ未タ着カヌ」トカ  
「銀價ノ前途恐ルニ足ラス」トカ論スルノハ六行協同  
ノ問題ニ對シテ論者自身ノ私見ヲ強フルモノテアル。又  
「支那側カ不信ノ態度ヲ改メテ居ヌカラ」ト說ク如キハ  
銀行業者ノ論スヘキ事テナイ。

〔終〕

(一九三六年一月八日)

〔終〕

## (付記)

## 支那一般幣制問題及北支幣制對策

(昭和十一年三月 萩原記)

## 一、支那幣制一般問題

(欄外記入)  
北支幣制對策ハ政治的ニハ一般問題ノ如何ニ係ラス促進  
ノ要アルヤモ知レサルモ經濟的ニハ先以テ一般問題トノ  
關係ニ於テ觀測スル要アルヘシ此ノ意味ニ於テ一般問題  
ニ付一言セムトス

十一月三日ノ幣制改革當初改革ノ眞相、新幣制ノ全貌明  
遼ナラサリシ爲各方面ノ觀測一樣ナラス上海日本側諸銀  
行支店長連等モ概シテ悲觀論ニシテ中ニハ一、二ヶ月ニ  
シテ「コラツップス」スヘシト斷言シタルモノスラアリ偶々

係ルモノト言フヘシ(何レ相手ハ米國ナルニ付米支關係  
ニ注意ノ要アリ)但上海在銀ノ半分ヲ處分シテ得タル資  
金及其ノ他ノ方法ニテ取得セル外貨資金ニ依リ當分ノ爲  
替維持ニハ支障ナキカ如シ問題ハ銀行券濫發ノ可能性ナ  
ルカ復興公債ト交換セルタケ銀行券ノ增發ヲ見ルハ想像  
ニ難カラサルモ同時ニ右復興公債ノ手取ニテ此處半年乃至  
至一年ハ財政ノ遭織リ可能ナルヘク半年乃至一年ハ右以  
上ノ濫發ヲ見スニ濟ムニ非サルカ其ノ先ハ夫レ迄ニ豫算  
ノ均衡ヲ計リ得ヘキカ(コレハ不可能ナルヘシ)夫レ迄ニ  
獨立ノ中央銀行ヲ作り得ルカ(英國側工作カ成功スルカ  
否カ)及ヒ夫レ迄ニ國際收支カ多少共改善セラルヘキヤ  
(多少ハ改善スヘシ)等ニ係ルヘク豫測困難ナリ  
要スルニ遠キ將來ハ決シテ樂觀出來サルモ此處數ヶ月間  
ニ「コラツップス」スルコトハナカルヘシ

## 二、北支幣制對策ト支那幣制一般問題トノ關係

最近北支ヨリ來滬セル毛里天津軍囑託ノ談ニ依レハ『最  
初北支ニテハ支那一般幣制ハ一、二ヶ月ニテ「コラツップ  
ス」スヘク北支モ右「コラツップス」ニ卷キ込マレテハタ  
マラサルニ付獨自ノ幣制ヲ作ルコトハ一種ノ正當防衛ト

(欄外記入)

來滬セル高橋龜吉ノ如キモ「一、二ヶ月ニシテ必ス「コラ  
ツップス」スヘシト言フカ如キ講演迄ナシタリ(高橋ノ意  
見ハ相當武官等ニ「インフルエンス」アリタルラシク六  
項目ノ第二項ノ如キモコノ邊ニ端ヲ發シタルニ非サルカ)  
然ルニ其ノ後四ヶ月餘ノ成行ヲ見ルニ少クトモ極端ナル  
悲觀論カ正鶴ヲ得サリシコトハ漸次明遼トナリ來レリ  
(吉田ノ轉向振ヲ見ヨ)今日ト雖モ樂觀論ヲナスハ勿論尙  
早ナルモ少クトモ高橋等ノ意見ヨリ滿洲國星野司長ノ意  
見乃至根岸博士ノ意見ノ方カ寧ロ正鶴ヲ得居ルモノト言  
フヲ得ヘシ而テ新幣制ノ將來長期ニ亘ル見透ノ爲ニハ國  
際收支改善ノ能否等ヲ驗討スル要アルヘキモ支那ニ於テ  
國際收支カ左迄敏感ニ影響スルヤ疑問ニシテ差當リノ見  
透シノ爲ニ爲替維持能力(所有銀、在外正貨及所有外貨)  
銀行券濫發ノ可能性ノ有無ヲ基礎トシテ考フルコト然ル  
ヘシ爲替維持能力ニ付キテハ銀ヲ國內ヨリ集マルコトハ  
急速ニハ出來サルヲ以テ所有銀ヲ如何ニ處分スルカニ在  
リ正確ニ言ヘハ上海在銀ノ約半分ハ既ニ相當有利ニ處分  
シ得タルヲ以テ殘半分及地方銀行在銀ヲ處分スルカ否カ  
處分スルトセハ如何ナル程度迄有利ニ處分シ得ヘキカニ  
カ如シ』云々

毛利君ノ話ヲ「フェース・ヴァリュー」ニ取ル譯ニハ非  
サルモ右ノ様ナ考ヘ方モ一應ノ理アリ貴信ニ依ルモ北支  
幣制ハ軍側ノ腰力クダケテ云々トアリ急ニ進渉セシムル  
要ナケレハ成行ヲ見ル方カ結構ナリト考ヘ居レリ  
前記ノ如ク上海ニ當初「ベシミスム」多カリシ爲北支ニ  
テ判斷ヲ誤ラシメタル點鮮ナカラサルカニ考ヘラル(磯  
谷武官、六項目モコノ邊ニ影響ナリ)上海ノ其ノ後ノ事  
態ヲ正シ<sup>テ</sup>北支ニ認識セシムル要アルヘシ

## 三、北支幣制ノ細目

意見ナシ(但中央銀行改組ノ話アリ如何ニ改組セラル  
ルヤ探査中ナルカ之トノ振合ヒモ考慮スル要アルヤニ  
存ス)

(二)民間在銀ヲ平價以上ニ買上クルコトハ銀ノ高カリシ當

時ナラハ兎ニ角銀相場對英爲替ノ關係ヨリ殆ト「パー」  
ニ在ル銀貨一元ヲ「プレミアム」附ニテ買上クルコト  
ハ如何カト思ハル買上ケタ銀ハ結局海外ニ賣却スルモ  
ノトセハ高ク買ツテ安ク賣ルコトナリ爲替統制力ヲ  
薄弱ナラシムルコトナキカ

(三)爲替相場ノ統制

爲替管理ハ先ツ不可能ト見ル外ナシ從テ中央銀行又ハ  
公庫カ相當ノ資金ヲ以テ爲替ヲ賣買スル必要アルヘシ  
中央銀行ハ銀ヲ處分シテ米國ニ金ヲ「イヤマーク」シ  
居リ之ニテ相當ノ操作ヲ爲シ得ルカ如シ然ルニ公庫ハ  
此ノ點ヲ如何ニスヘキヤ中支ノ通貨ニ「リンク」スル  
ナラハ中支ノ通貨(中央銀行券)ヲ持チ之ヲ賣買交換ス  
レハ可ナルモ北支中支南支ノ三區ノ間ニ等價關係ヲ維  
持セス(根岸博士)北支ハ獨立ニ操作セムトセハ北支政  
權又ハ北支公庫カ外國(日本以外ニ心當リナシ)ニ資金

ヲ持ツコトスル譯ナリヤ中央銀行ノ遣リ方ヲ今少シ  
ク研究スル要アルヤニ考ヘラル

#### 四根本制度

一般幣制ハ現在ノ制度ハ過渡期ニシテ將來法律的ニ磅  
ニ「リンク」スル形トナルカ一種ノ複本位制トナルカ  
現在ノ過渡期ノ後ニハ何等力變更アリテ或種ノ根本制  
度ヲ定ムルニ非スヤト考ヘラル(「ホールパツチ」談  
等御參照)

若シ然ラハ北支幣制モ或程度迄之ヲ考ヘ置ク要アルヘ  
ク先手ヲ打チ早ク根本制度ヲ考フルモ一案ナルヘシ

#### 等御參照)

爲替管理ハ先ツ不可能ト見ル外ナシ從テ中央銀行又ハ  
公庫カ相當ノ資金ヲ以テ爲替ヲ賣買スル必要アルヘシ  
中央銀行ハ銀ヲ處分シテ米國ニ金ヲ「イヤマーク」シ  
居リ之ニテ相當ノ操作ヲ爲シ得ルカ如シ然ルニ公庫ハ  
此ノ點ヲ如何ニスヘキヤ中支ノ通貨ニ「リンク」スル  
ナラハ中支ノ通貨(中央銀行券)ヲ持チ之ヲ賣買交換ス  
レハ可ナルモ北支中支南支ノ三區ノ間ニ等價關係ヲ維  
持セス(根岸博士)北支ハ獨立ニ操作セムトセハ北支政  
權又ハ北支公庫カ外國(日本以外ニ心當リナシ)ニ資金

#### (欄外記入)

改メテ今少シク完全ナモノヲ書ク積リナリ思ヒ付キタケ書イテ  
見タ上海カラ見タ意見カ多イカ上海カラ見タ意見ラシイ所ヲ強  
ヒテ隱サス御参考ニ供スル(從テ此ノ儘東京テ通用シ北支テ通  
用スルトハ考ヘテ居ナイ)惡カラズ  
本信若シ貴方ニテ多少價值アリト考ヘラレ寫ニテモ作ラルルナ  
ラハ小生ニモ寫一ツオ作りヲ請フ讀ンテ棄テラレテ差支ヘナキ  
コト勿論ナリ

942

昭和11年2月13日 在中國若杉臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

新幣制の成否に關するリース・ロス見通しを  
ホール・パツチ補足について

付 記 昭和十一年二月十四日付在中国秋原大使館二等  
書記官より東亜局第一課曾瀬事務官宛半公信

対中財政専門家派遣に至る英國側経緯に關す  
るホール・パツチ極秘内話について

上 海 2月13日後發  
本 省 2月13日夜着

第一〇四號(極秘)

往電第六四號ニ關シ

(一)十日會見ノ際

(イ)冒頭往電(「リ」カ銀價ハ之レ以上下落セサルヘシ

ト言ハレタルハ如何ナル根據ニ基クモノナリヤ又

(ロ)銀價下落ノ場合爲替相場引下ヲ要スヘシト言ハレタル

ハ如何ナル意味ナルヤ

ト質問セルニ對シ「リ」ニ確メタル上ナリトテ十一日左

ノ通り答ヘタリ

(イ)「リ」トシテハ銀價ハ既ニ其ノ自然ノ水準ニ達シ居リ  
金ノ價格ニ比シ比較的低キ市價トナリ居ルニモ鑑ミ之  
レ以上下落スルコトハナカルヘシト考ヘ居ル次第ナリ

(「ホ」ノ敷衍説明セル所ニ依レハ最近孟買市場ニ於ケ  
ル off take (up country demand ノ意ナラン)ノ增加セル  
コト等モ樂觀材料ノ一ニシテ銀價ハ相當安定セリト考  
ヘラルモ銀價ノ將來ハ一二米國ノ出方如何ニ係ルコ  
ト勿論ニシテ米國側ヨリ銀政策ノ將來ニ付何等保障若  
ハ說明ヲ得タル譯ニアラサル由)

(ロ)「リ」トシテハ支那カ銀弗ヨリ價值ノ高キ銀行券ヲ持  
ツコトハ困難ナルヘシト考ヘ居レリ(「ホ」ノ説明ヲ求  
メタルニ銀價下落ノ場合爲替相場ヲ如何ニスヘキヤハ  
支那側ニ種々議論アル所ナルモ自分等ハ萬一銀カ「パ  
リティー」即チ約十七片四分ノ三以下ニ下落シ而モ支  
那カ夫迄ニ現「ストック」ヲ處分シ得サリシ場合ヲ假  
想セハ爲替相場ヲ下クルコト然ルヘク一志二片半ヲ固  
執シテ損ヲスル必要ハナカルヘシト考ヘ居ルモノニシ  
テ自分等ハ銀下落ノ場合ト雖銀本位ニ復歸スルコトハ

考へ居ラスト答へタリ)

(二)館員ヨリ冒頭往電(二)ニ平衡資金ノ金額トシテ二千五百萬元トカ言ハレタルハ如何ナル意味ナリヤ質問セルニ對シ同シク「リ」ニ確メタル上ナリトテ外貨資金ハ主トシテ投機ニ対抗スル爲必要ナルモノニシテ最近ニ於ケル最大ノ投機モ五百萬磅ニハ達セサリシニモ鑑ミ資金モ之ニ相應スル程度ナルヲ要スヘシト答へタリ

(三)<sup>(3)</sup>右資金ヲ復興公債ヨリ捻出シ得ヘキヤ統一、復興兩公債及鐵道公債ニ付如何ニ考フルヤ等ノ質問ニ對シ統一公債ニ依ル借款ハ技術的ニハ無謀ニシテ支那政府ノ信用ノ爲遺憾ナルカ夫レハ免モ角トシ此ノ「ドラステイツク」ナル借款ニ依リ折角得タル關稅收入ノ剩餘ヲ直ニ全部復興公債ニ消費シ餘裕ヲ存セサルハ頗ル不健全ナル政策ニシテ更ニ遺憾ナリ又復興公債カ消化セラレ得ヘキヤ否ヤモ疑問ナルニ其ノ上一億二千萬ノ鐵道公債ヲ發行スルヤノ話ヲ新聞ニテ見タルヲ以テ支那當局ニ確メタル處鐵道公債ハ數年ニ亘リ分割發行スルモノナル旨說明アリ安心セリ復興公債ノ「プロシード」ハ支那通貨ナレハ豫算ノ不足補填等專ラ國內ノ使途ニ用ヒラルモノト了解ス之ヲ

外貨ニ換ヘテ爲替資金トスルコトハ外貨ニ換フル「オペレーション」自体カ爲替維持ノ目的トハ反對ノ結果ヲ生スヘキニ付問題トナラス爲替資金ハ銀賣却ノ代金以外ニ左シタル日當ナク加之支那ノコトナレハ真ニ獨立ノ中央銀行ヲ作ラサル限り爲替資金ヲ與フルモ流用スヘシ豫算ハ色々研究セルモ眞ノ數字判明セス大体毎月二千萬、一年二億五千萬ノ不足ト見込ミ居ル處斯テハ復興公債ノ手取モ長持セサルヘン米國稅關統計ノ數字トシテ對支武器輸出本年一月中ニ三百萬米弗ト報セラレタルニハ驚キ居レリ云々ト述ヘ居タリ

(四)<sup>(4)</sup>貴下等ノ當初ノ計畫ハ上海ニテ起債シ倫敦取引所ニ「クオート」スル考ナリシヤニ承知シ居ル處復興公債ハ右計畫ノ一部ニアラスヤトノ質問ニ對シテハ倫敦ニテ上場スルニハ英貨建ノ證券ナルヲ要スルニ付新公債ハ上場シ得ス當初ノ計畫ハ外貨建公債ヲ關係外國銀行ニテ引受ケ上海ニテ發行スル考ナリシ次第ニ付復興公債ハ全然之ト關係ナク同公債ハ折角ノ關稅剩餘ヲ消費シ寧ロ自分等當初ノ計畫ヲ困難ナラシメタルモノナリト答へタリ

(五)農民銀行ノ發券ハ折角ノ銀行券統一ヲ破壞シ銀行券本位

制力支那ニ不適當且危險ナルヲ證明スルモノニアラスヤトノ質問ニ對シ「ホ」ハ農民銀行ナルモノカ發券準備ヲ有スルヤ若シ準備アラハ何故ニ既ニ中央銀行ニ引渡シ居ラサルヤ支那側ヲ追求セルモ何人モ明答ヲ與ヘス同行ノ發券ニハ何等カ妙ナ事情アルニアラスヤト疑ヒ居レリト答ヘタリ

何等御参考迄(本件發表セサルコトト致度ク尙前記(三)ノ内復興公債手取ヲ爲替資金ニ利用シ得ストノ點及前記(四)新公債ハ倫敦ニテ上場シ得ストノ點ハ爲念専門家ノ意見御確メノ上當方参考迄ニ御回電ヲ請フ)

南京、北平、天津へ轉電セリ

(付記)

拜啓陳者去ル二月十二日「ホール、パツチ」ト會談ノ次第ハ既電ノ通ナル處其ノ際最後ニ「ホ」カ特ニ極秘ニ願度キ旨繰返シタル上左ノ如キ話ヲ致シ候(代理大使ニモ報告致シ置キタルモ萬一東京ニテ漏洩セル場合ハ「リースロス」渡日カ漏洩セル直後ニモアリ小官ノ立場モ困ルヘク半公信ニスル方安全ナラムトノ御注意モアリタルニ付半公信ニテ

申進ムル次第ナルカ御裁量ニ依リ局課長等ノ御高覽ニ供シ置カルル様願上候)

「ホール、パツチ」ヨリ内密ノ話ナルカ「リースロス」カ歸國セハ自分カ在支大使館附トシテ居殘ルコトトナルヘク(財務官ノ意ナラム、在日本大使館附ヲ兼ヌルヤモ知レスト附言セリ)右ノ關係モアリ「リースロス」カ歸國前渡日シテ一般財政經濟問題ニ付話合フコトトモナラハ自分モ隨行渡日シテ話ヲ聞キ置ク方然ルヘキヤト考ヘ居ルカ貴見如何ト述ヘタルニ付小生ヨリ私見ナルカ「リースロス」カ渡日スルナラハ貴下カ隨行スルヲ不可トスル理由ハ何モナカルヘシト應酬シ置クト共ニ右ニ關聯シテ貴下等ノ渡支ハ如何ナル範圍ノ使命ヲ有セラル次第ナリヤ英國外務省側ト大藏省側ニ意見ノ相異アリシャノ米國新聞記事(客年十一月二十九日附在米大使發廣田外務大臣宛普通公第六四六號)アリタルカ如何ト質問致候處「ホ」ハ極秘ナルカ事ノ起リハ約十八ヶ月前英國外務省側ニ海外ノ財政經濟問題ヲ取扱フ一局ヲ設ケムトノ議アリ大藏省及商務省側トシテハ既ニ各地ニ財務官商務官ヲ派遣シ所要ノ情報ヲ得テ此ノ種問題ヲ研究處理シ居ルヲ以テ外務省ニ斯ル一局ヲ設クル必要ナ

シト主張シ結局南米極東等財務官又ハ商務官ナキ地方ニ之ヲ増設シ又ハ臨時類似ノ使命ヲ有スルモノヲ派遣スレハ可

ナリト言フニ話纏リタル次第ニテ爾來外務省側ト萬事協力シ居リ客年二月末廣田大臣ニ提出シタル覺書ノ如キモ大藏

省モ其ノ起草ニ迄參與シ居リ尤モ當時ハ「リ」ノ人選ハ決

定シ居タル次第ニ非ス一部ニハ大藏省系ノ人物ナラストモ

適任者アリト言フカ如キ言説ヲ爲シタルモノナキニ非サル

モ外務省ト意見ノ對立等アル譯ニ非ス云々ト述へ候

尤モ豫テ「ホール、パツチ」ハ自國外務省系在支出先ハ

「ウイーク」ナリトノ口吻ヲ洩シ居リ(既電ノ一月二十三日)

會談御參照被下度)「リースロス」自身モ「カドガン」ト

來訪ノ場合等自分カ大使ナルカノ如ク振舞ヒ居リ相當廣範

ナル使命ヲ有スラシキハ想像ニ難カラサルカ如何ナル程度

ノ使命ヲ有スルヤ更ニ確カメ度キ所存ナルモ右不取敢及報

告旁々得貴意候 敬具

追テ彼等ハ相當米國ニ對シ反感ヲ有スルラシク米國ノ銀

政策等口ヲ極メテ罵倒シ居タルニ付十二日會談ノ際支那

カ例ノ棉麥借款殘額ノ復活ヲ計畫シ居ルヤノ確報アルカ

御承知ナリヤト言ヘルニ棉麥借款カ多大ノ損害ニ終リタ

ルハ承知シ居ルモ復活計畫ハ初耳ナリトテ大イニ驚キ種々質問致シ居リ候

昭和十一年一月十四日

在上海

萩原書記官

東亞局第一課  
曾禰事務官殿

943 昭和11年2月13日 在ニューヨーク(澤田總領事より  
広田外務大臣宛電報)

米国政府が中国中央銀行から購入した銀の代  
金が連邦準備銀行にイヤマークされていると  
の米國紙報道について

第一九號  
ニューヨーク 2月13日後発  
本 省 2月14日後着

十一日當地諸新聞ハ聯邦準備銀行ニ於テ九百九十七萬弗餘  
ノ「ゴーリード」ヲ「イヤマーク」セル處右ハ支那中央銀行  
ノ爲ナルコトヲ大藏當局カ承認セル旨並ニ右カ一九三三年

レノ目的ノ爲ニモ充分ナラス然レトモ其ノ將來ハ銀買上法  
ノ他ノ諸結果同様豫測シ難シ米國ハ充分ノ金ヲ所有シ居ル  
ヲ以テスル「イヤマーク」ヲ爲シ得タルモ之ハ現政府カ米  
國ニ取り將來必要ナル金ヲ以テ必要ナル銀ヲ買上ケ居ル何  
ヨリモ明白ナル證據ナリ云々ト論セリ

米ニ郵送セリ

944 昭和11年2月14日 在ニューヨーク(澤田總領事より  
広田外務大臣宛電報)

米國財務長官が同國政府による中國からの銀  
購入を認め中國通貨政策を賞賛したとの米國  
紙報道について

ニューヨーク 2月14日後発  
本 省 2月15日前着

第二一號  
往電第一九號ニ關シ

十四日當地諸新聞ハ大要左ノ華府通信ヲ掲載セリ  
米國政府ノ銀買上ニ關シ大藏長官「モーゲンソー」ハ昨年  
十一月支那側ヨリ五千萬「オンス」ノ銀ヲ買入レタルコト  
外金勘定ハ爲替安定資金トモナル左レト今回ノ額ハ其ノ何

ヲ認ムルト共ニ支那側ハ最初ハ其ノ代金ヲ紐育ニ於テ銀行

預金ト爲シ置ク希望ナリシカ最近支那側ノ要求ニ基キ米國政府ハ一千萬弗ノ金ヲ「イヤマーク」スルニ至レルコト並ニ若シ支那側ニテ希望セハ其ノ殘額ヲモ金ヲ以テ支拂フヘ

キ旨説明セリ同時ニ「モ」ハ支那政府ノ「スタビリゼーシヨン、ファウンド」及通貨ノ運用並ニ新通貨政策ヲ激賞セリ因ニ大藏當局ハ昨年十一月支那側ト一「オノンス」六十五仙ニテ五千萬「オノンス」價格三千二百五十萬弗ノ銀買入交渉ヲ爲シタルカ當時ノ相場ニテハ支那側ニ不利ナリシヲ以テ交渉一時行惱ミタルモ數週間後銀價下落スルニ及ヒテ遂ニ其ノ交渉成立セリ而シテ最近聯邦準備銀行カ支那ノ爲ニ一千萬弗ノ銀ヲ「イヤマーク」シタルハ其ノ代金ノ一部分ニシテ右ハ米國ノ銀政策ニ依リテ混亂ニ陥レル支那通貨政策ニ對スル米國ノ一援助ナリト解セラル

米ニ郵送セリ

~~~~~

945 昭和11年2月21日 在香港水汎總領事より
広田外務大臣宛(電報)

新幣制の成否は西南當局の態度如何によるな

テナカリシ程ノ低利資金蓄積セラレ居ルヲ以テ支那ハ有效ニ之ヲ利用シ得ヘキモ適當ナル保障ヲ必要トス
支、北平、南京へ轉電シ、廣東へ暗送セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

~~~~~

946 昭和11年2月24日 在中國若杉臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

通貨問題協議のため中国政府が陳光甫上海銀行  
公会会長を米国に派遣するとの情報について  
付記一 昭和十一年二月二十五日付牒、在中国磯谷  
(廉介)大使館付武官より杉山(元)參謀次長宛

(付記一)

右派遣目的に関する情報

二 昭和十一年三月十四日發在中国有田大使より  
広田外務大臣宛電報第一八九号  
右派遣経緯に関する情報

上海 2月24日夜着

六 中国幣制改革

どのリース・ロス新聞談話について

香 港 2月21日後発  
本 省 2月21日夜着

第一六號 第一四號ニ關シ

「リースロス」カ廿日夜新聞記者ニ爲シタル會談中注目スヘキ點左ノ通

(一)支那幣制統一ノ成否ハ懸ツテ西南當局ノ態度如何ニアル處右統一ノ實現カ支那ノ利益ナルコト言フヲ俟タス又其ノ結果支那ノ貿易發展ノ場合英國其ノ他各國共利益ヲ受クヘキモ最大ナル利益ヲ受クルモノハ日本ナリ

(二)世界ノ綿絲布市場ニ於テ日本カ英國ヲ壓迫シタルハ事實ナルモ競爭力正當ニ行ハレ且 open door policy カ維持セラルル限り英國ハ日本ノ貿易發展ニ故障ヲ言フヘキニアラス

(三)支那ノ幣制改革ハ支那ノ輸出ヲ促進シ貿易ノ均衡ヲ得セシメタルカ通貨安定ノ上對支借款ノ成立必シモ不可能ニアラス若シ英國政府カ借款ノ條件其ノ他ヲ決定スル場合ニハ日本及米國ノ參加ヲ求ムヘシ英國ニハ四十年來曾

陳伯藩カ上谷ニ内詰シタル所ニ依レハ

支那政府ハ銀問題、幣制改革、爲替、公債政策等ノ諸問題ニ關シ米國政府ノ了解ヲ得ルヘク代表ヲ派遣スルニ決定シ過般來人選中ナリシカ上海銀行公會々長陳公甫<sup>(光)</sup>カ選任セラレ廿三日頃打合ノ爲南京ニ急行セリ隨行者ハ今ノ所未定ナルモ多分官吏ナルヘク陳ハ南京ヨリ歸來後最近ノ便船ヲ選ヒ日本經由渡米スヘシトノコトナリ(正金矢吹モ別ノ筋ヨリ同様ノ聞込アリタル由)先般米國財務長官ノ聲明モアリタル折柄注意ヲ要スルヤニ認メラルニ付御参考迄南京、北平、天津へ轉電シ、上海へ轉報セリ

王克敏、林康侯ノ談ニ依レハ當地實業銀行經理兼銀行<sup>(公)</sup>工會々長陳光甫以下數名ハ近ク上海出發馬尼刺及日本經由米國ニ赴ク由ナルカ其目的ハ蔣介石ノ特命ヲ受ケ

一、中國ニ在ル現銀ノ大部分ヲ米國ニ賣付クルコトト(之ヲ金ニ替ヘルカ又ハ貿易準備ノ金トシテ米國ニ据ヘ置クヤ

未タ不明)

二、南京政府財政立テ直シノ爲米國ノ援助ヲ受クルニアリト  
(本件カ孔祥熙又ハ宋子文等何人ノ發案ナリヤ未タ明カ  
ナラサルモ宋子文ノ米國行ノ噂アレハ右ハ誤傳ナルカ如  
シ)

(付記二)

第一八九號

上 海 3月14日後発  
本 省 3月14日夜着

947 昭和11年2月28日 在中国有田大使より  
支、天津、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

編注 本電報は分割電報の第二通目のみしか見当らない。

中国通貨のポンドないしドルへのリンクに關するホール・パッチ見解について

二、又林康侯ノ上谷ヘノ内話ニ依レハ陳今次ノ渡米ハ「ロ  
ズベルト」ノ招待ニ依ルモノニシテ「ロ」ハ當初孔祥熙

ニ招待狀ヲ寄セ來レルカ孔カ國內金融財政其ノ他事情ノ  
爲離國ヲ許サス次テ宋子文ニ交渉シタルモ宋亦都合ニ依

リ渡米出來ス結局上海銀行公會會長タル陳カ財政部最高  
顧問ノ資格ニテ渡米ノコトニ決定シタル經緯アル由而シ  
テ米國側ノ支那側招請ノ目的ハ舊臘來銀買入問題ニ關シ  
墨西哥政府當局ト協議ヲ遂ケ又加奈陀ノ新產銀ニ對シテ  
モ加奈陀銀行ヲ通シ買入權限ヲ附與シタル米國大藏省カ

第一六〇號

上 海 2月28日後発  
本 省 2月28日夜着

往電第一〇四號ニ關シ

二十五日「ホールパツチ」ノ館員ニ對スル内話左ノ通

(一)支那現在ノ幣制ハ一種ノ事實上ノ安定ナレハ何レハ法規  
ヲ定メテ何ヲ根據ニスルカヲ明カニセサルヘカラス銀本  
位ニ復歸シ又ハ金本位乃至複本位トスルハ不可ニシテ磅  
ニ「リンク」スルカ米弗ニ「リンク」スルカ孰レカニニ

決定セサルヘカラス自分等ノ云フ「リンク」トハ「スカ  
ンジナビヤ」諸國ノ磅ニ對スルカ如ク法令ヲ以テ公定相  
場ヲ定メ無制限ニ爲替ヲ賣買セシムルニアリテ日本ノ如  
ク事實上「ヘッジ」シ行クコトハ銀行ニ對スル統制力ノ  
不足、國際收支統計ノ不備等ヨリ考ヘ支那ニハ不適當ナ  
ルヘシ右ノ如キ意味ニテ同時ニ數箇國ノ通貨ニ「リンク」  
スルコト不可能ナルハ勿論ニシテ支那側モ漸ク之ヲ了解  
シ來レリ

磅、米弗ノ孰レニスルカニ付テハ自分等ハ別段米弗ニ反  
感ヲ有スル譯ニアラサルモ極東ノ貿易等ヨリ考ヘ磅ノ方  
カ支那ノ爲ナルヘシト考ヘ居レリ但シ支那ノ如キ何ヲス  
ルカ判ラヌ國ノ貨幣ヲ磅ニ「リンク」スルハ英國ニ取り  
面倒ナル譯ニテ「シティー」方面ニハ相當ノ反対アリ支  
那側ハ米國ニ對スル氣兼ノ爲カ磅トハ決心シ兼ネ居ル模  
様ナリ

(二)支那カ米國ト如何ナル交渉ヲ爲シ米國カ支那ニ何ヲ求メ  
居ルカ一寸モ分ラス支那側ハ自分等ニモ口ヲ緘シテ語ラ  
ス「ジョンソン」等ハ本國ヨリ何モ通報ヲ受ケ居ラス在  
米「リンク」大使ヲシテ施肇基ニ對シ英國ハ少量乍ラ

香港ニ銀ノ「ストック」ヲ有シ支那ト利害ヲニスルニ  
付米支間ニ話合アラハ内報ヲ得度キ旨申入レタルモ施ニ  
斷ラレタリ(之ハ米支間ニ話合進行中ナルコトヲ裏書ス  
ルモノト思ヒ居レリ)又最近成立セリト傳ヘラルル米、  
墨間ノ協定ヨリモ「ヒント」ヲ得ラルヘキヤト考ヘ探査  
セシメタルモ是亦判明セス米國ノ南米諸國ニ對スル複本  
位採用方ノ「バロンデセー」モ其ノ後成行不明ナリ  
十二月初ノ銀價暴落ハ米國ノ作意ナルハ明カニシテ其ノ  
眞意ハ支那カ其ノ銀ヲ全部賣却スルヲ阻止セントスルニ  
アリシハ想像ニ難カラサルモ堵其ノ後支那ニ複本位ヲ勸  
メ居ルモノナリヤ米弗ニ「ヘッジ」セシメントシ居ルモ  
ノナリヤモ判明セス米國ノ政策ハ深謀アリテノコトト云  
フヨリモ内政關係ニ基ク氣紛レ多キカ如シ

(三)中央銀行ノ改組ハ自分等ノ意見ヲ申入レ支那側ノ案ノ内  
示ヲ求メタルカ數週間後ニ漸ク内示シ來レル案ハ極メテ  
不満足ニシテ斯テハ自分等ノ意見モ不要ニ付引揚クル外  
無シト嚇シタリ賺シタリシ居レリ

(四)債權整理ハ英國ニテ研究セルトキハ全國鐵道ヲ「プール」  
シテ一括整理スル方可ナリト考ヘ居タルモ支那ニ來テ見

レハ收支償ハサル鐵道多ク個別的ニ整理スル外無キヲ悟

リ漸ク一九〇八年津浦鐵道借款丈ケ約四十年ニテ整理ス

ル様話ヲ着ケ英國ニ於ケル所持人會議モ濟マセタリ(本

件ハ二十六日新聞ニ報セラレタリ委細郵報)但シ現契約

第九條ノ釐金ニ代ル擔保物ノ件及英人職員廢止方支那側

要求ノ件ハ未々交渉中ナリ

(五)關稅問題モ相當調査セルカ輸入稅ハ概シテ高キニ失スル

ニ付今少シク引下クル方却テ利益ナル旨支那側ニ話シ居

ルモ仲々聽カス海關金單位ハ全体ノ幣制ト調和セサルニ

付改正ノ要アルヘキモ先ツ幣制ノ法的根據(前記(一))ヲ明

定スルヲ要スヘシ

本件發表セサルコトト致度シ

南京、北平、天津ヘ轉電セリ

948 昭和11年3月2日 在広東河相總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロス広東訪問の使命に関する情報について

ヲ議シ得ヘシ「リ」ハ其ノ提案ニ付テハ香港總督ト會商ノ後委細ノ方法、順序等回答スル筈ニ付追報スヘシ」云々ト白崇禧ニ申送リ居リ「リ」ノ來粵ハ一般視察旅行ニ止マラサリシコト丈ケハ明カナリ  
支、北平、在支各總領事ヘ轉電シ香港ヘ暗送セリ  
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

949 昭和11年3月18日 在広東河相總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

リース・ロスが国民政府中央の意向を受け広東滯在中に西南側に対し財政援助を提案したとの情報について

広東 3月18日後発  
本省 3月18日夜着

第七八號

(<sup>(1)</sup>)過般「リースロス」來粵ノ際廣東省財政援助ノ意味ニテ香港側ヨリ香銀五千萬弗ヲ廣東側ニ交付シ廣東側ハ之ニ對シ同額ノ廣東省市銀行券ヲ渡シ其ノ差額(目下ノ相場ニテ廣東銀幣二千五百萬元)ヲ表面香港ノ銀行ヨリ省政府へ借款

広東 3月2日後発  
本省 3月2日夜着

第六三號

「リースロス」過般來粵ノ使命ニ付李宗仁側ノ一西南政務委員ノ語ル所ニ依レハ右ハ廣東側ト經濟問題ニ付商議スルニアリ(政治問題ニハ餘り觸レス)從テ資源乏シク貿易モ微々

タル廣西ニ對シテハ彼自ラ何等ノ興味ヲ持タス李宗仁トモ會談セルカ彼ヨリ西南ト中央トノ和平統一ヲ力説セルニ止

マリ夫レ以外何<sup>(參考)</sup>認具體的意見ノ交換モナカリシカ廣東側トノ間ニハ黃埔築港問題、廣九、粵漢兩路聯絡問題等具體的商議アリタルモノノ如シ尤其ノ詳細ノ内容ハ承知セストノコトナリシカ當館ノ得タル情報ニハ右ノ外香港、廣東間ノ爲替問題投資問題等モ含マレ居ルモ確報ト謂ヒ難ク唯陳濟棠ハ近來涉外問題ニ付自分ハ背後ニ控ヘ胡漢民ヲ前ニ押出シ之ニ當ラシムル風アリ「リ」モ胡ト商議セルカ胡ハ「リ」ヲ以テ南京政府ニ左袒スルモノト爲シ其ノ態度和平ヲ缺クモノアリ「リ」ハ失望シテ廣東ヲ去リタルモノノ如ク陳濟棠ハ甚シク之ヲ遺憾トシ且「英人ハ結局ニ於テ日人トハ同シカラス其ノ主張ノ如何ニ論ナク之ヲ我ニ引入レ共ニ長計

スルコトトセハ假令曝露スルモ日本ノ橫槍ヲ正面ニ受クルコトナキヲ得ヘシトノ一案ヲ提議シタリトノ情報ヲ入手セルモ確報ト言ヒ難ク參考ニ止メ置ケル處八日陳濟棠發白崇禧宛密電ニ依レハ「リ」ハ廣東側ニ對シ現銀五千萬元ヲ南京政府ニ渡シ八千萬元ノ大洋券ヲ得ルノ一案ヲ提示シタルカ當時胡漢民ハ既電ノ通り「リ」ヲ毛嫌シ撥付ケテ取合ハス後ニ至リ孔祥熙ヨリノ來電ニ依リ右「リ」ノ提案ハ「リ」個人ノ意見ニアラスシテ南京側ノ意嚮ニ基クモノナリシコト明カトナリタルモ後ノ祭ニテ且陳ハ中央財政部及經濟委員會カ昨今頻リニ西南ノ財政經濟ノ研究ヲ始メタル旨並ニ中央カ深ク右廣東側ノ態度ヲ含ミ居ル旨(現ニ楊德昭ヨリモ補助金ヲ得ラレスト報告アリ)ノ情報ヲ手ニシ今後中央カ西南ノ財政ニ打擊ヲ行フコト必然ナリト憂惧シ且亦斯ノ如キ事情ノ下ニテハ香港方面トノ合作到底困難ナリト考ヘ拵コソ陳濟棠(陳濟棠ノ兄)ヲ北上セシメタルモノニテ之ニ依リテ觀ルモ前段ノ點ハ別トスルモ英國側カ幣革問題ニ相當深ク首ヲ突込ミ居ルコト間違ナク同時ニ右ノ事實ハ廣東ノ香港倚存ノ一傍證トモ言ヒ得ヘキカト思ハル(出所部外秘)

支、北平、在支各總領事へ轉電シ香港へ暗送セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

950 昭和11年3月21日 在中國有田大使より  
広田外務大臣宛(電報)

中央銀行改組および西南方面幣制問題などに

関するホール・パッヂ内話について

上 海 3月21日後発  
本 省 3月21日後着

(<sup>(1)</sup>) 第二〇九號  
往電第一六〇號ニ關シ

二十日「ホールパッヂ」ノ館員ニ對スル内話左ノ通  
(一) 松平大使ヨリ電報ノ次第ト共ニ本國ニ請訓セルニ對シ未

タ訓令無ク「リ」モ困リ居レリ(此ノ點在英大使發貴大臣宛電報第一二三號ト矛盾スルモ「ホ」ハ先週議會ニテ答辯アリタル通りニテ訓令無シト明言シ且「リ」ハ豫テ歸途印度ヲ視察シ度キ希望ナリシモ支那滯在意外ニ長引キ夏ニ向フコトニモアリ再ヒ加奈陀經由トナルヤモ知レスト言ヒ居タリ)

(<sup>(2)</sup>) 「リ」ノ旅行ノ結果判明セル所ニ依レハ西南ノ連中ノ遣リ居ルコトハ實ニ無茶ニシテ省立銀行紙幣ハ之ト平行シテ流通シ居ル香港外國銀行兌換券ニ比シ不思議ニモ當初ヨリノ「レート」ヲ保チ居ルモ省政府銀行カ一定ノ率ニテ外國爲替ヲ賣買シ居ル丈ケニアラサルニ付上海弗トハ異ナリ何時「コラツプス」スルヤモ知レス「リ」ヨリ何

ヲ根據トスル積リナリヤヲ西南當局ニ質問セルモ明答ヲ與フル者ナク銀ヲ現實ニ移動スルヤ否ヤハ別トシ名義上ニテモ中央ニ引渡シテ中央銀行券ヲ得テ省立銀行券ヲ回収スル様勧メタルモ政治的理由ニテ之ニ應セサリキ

(四) 舊債整理ハ津浦線ニ次キ近ク支那側ヨリ滬杭借款ニ付類似ノ提案アル筈ニテ之ヲ待チ居レリ隴海借款モ英國ニ公債所持人多キヲ以テ右ニ次キ交渉ノ筈ナリ

(五) 鐵道建設ニ付テハ先般曾政務次長「リ」ヲ來訪シ恰モ選

擧演説ノ如キ調子ニテ數千哩ニ亘ル建設計畫ヲ説明シ居タルカ「リ」ヨリ財源ヲ如何ニスヘキヤト質問セルニ自

分ノ關スル所ニアラスト言ヒタルニハ呆レタリ鐵道公債ハ之ヲ成渝鐵道等ノ建設費ニ充ツト稱シテ各國ニ材料借

款ノ話ヲシ居ルカ如ク成渝鐵道ニ關シテハ「アントルプリース、ウーロペアン」ト話シ居ルラシキモ「マルリオ」

ハ先般土耳其ニ利權ヲ漁リニ行キ居タルヲ承知シ居ルノミニテ佛國ニテ起債シ得ヘシト思ハレス英國側モ信用シ居ラサルニ付問題トナラサルヘシ

舊債ノ整理進捗セサレハ英國ノ「パブリック」ハ支那ニ投資スル氣ニハナラサルヘク自分等モ支那側カ今ノ如ク

(二) 中央銀行ヲ準備銀行ニ改組方ノ件ハ二月上旬支那政府ニ於テ政府持株ヲ四割ニ減シ不要部分ヲ民間ニ賣出ス旨ノ明令ヲ公布シタル頃ヨリ支那側ノ態度相當眞面目ニナリ委員會ヲ作り定款等ヲ研究シ居リ「ローチャース」ニ熱心ニ意見ヲ求メ來リ自分等モ満足シ居レリ政府ノ中央銀行ニ對スル統制力ノ強化ハ近代ノ傾向ト言ヒ得ルヤモ知レサルモ自分等ハ好マシキ傾向ト考ヘ居ラス殊ニ支那ニ於テハ中央銀行ノ獨立性ヲ強化スル要アリ機構ヲ完備スルモ支那ニテハ結局人ノ問題ナルハ自分等モ承知シ居ルモ機構完備セサレハ適當ノ人物例ヘハ張公權、李銘等ノ就任ヲ得ルコト困難ナルヘシ尙準備ハ統一的トスルカ聯邦準備式ニスルカ等ハ目下研究中ナルカ自分等ハ準備ヲ分散スルノ利益ハ疑問視シ居レリ

(三) 「リ」ノ旅行ノ結果判明セル所ニ依レハ西南ノ連中ノ遣リ居ルコトハ實ニ無茶ニシテ省立銀行紙幣ハ之ト平行シテ流通シ居ル香港外國銀行兌換券ニ比シ不思議ニモ當初ヨリノ「レート」ヲ保チ居ルモ省政府銀行カ一定ノ率ニテ外國爲替ヲ賣買シ居ル丈ケニアラサルニ付上海弗トハ異ナリ何時「コラツプス」スルヤモ知レス「リ」ヨリ何

既存鐵道ノ債務ヲ無視シテ其ノ收益ヲ新線建設ニ流用スルコトヲ續クル限り新線ニ對スル投資ハ問題トナラスト考ヘ居レリ  
(發表セサルコト致度シ)

南京、北平、天津へ轉電シ上海へ轉報セリ

951 昭和11年4月2日 在上海石射總領事より

有田外務大臣宛(電報)

中國政府による現銀の回収振りについて

上 海 4月2日後発  
本 省 4月2日夜着

第九五號

先週金曜會席上ニ於テ三菱銀行吉田ハ某支那銀行家ヨリノ聞込トシテ最近國民政府ニ於テハ曩ニ外國銀行ニ對シテヘル方法ニ倣ヒ支那人ニ對シテモ現銀六割、幣制改革以前ノ七銀行發行紙幣四割ヲ政府三銀行ニ提出スルトキハ提出額ト同額ノ法貨ヲ兌換支拂フト共ニ右四割ノ支出ニ對シテハ兌換日ヨリ向フ二箇年間六分ノ利子ヲ給スルコトトシ極力現銀ノ吸收ニ努メ居ル旨(夫レカ爲カ最近國民政府ノ現

銀蒐集ハ相當ノ成績ヲ擧ケ居ル模様ニシテ政府發表ニ依レ

ハ三月ニ入リテハ一日平均約四百萬元ノ現銀カ蒐集セラレ

ツツアルコトトナリ居ル處實際ハ一日七、八十萬元ニ過キ

サルヘントノコトナリ)及日本側銀行ヲ除ク外國銀行ノ手

元銀ハ今日迄支那側へ引渡未濟ナリシ上海香港銀行カ三月

中ニ引渡ヲ完了セルヲ以テ愈皆無トナレル趣語リタル由

支ヘ轉報シ在支各總領事、北平、廈門ヘ轉電セリ

952 昭和11年4月24日 在中國若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛

中國財政部がリース・ロスの財政經濟政策に

全面的な贊同を示し財政改革の開始は同人の

提言に基づくとのコメント公表について

大第二四九號 昭和十一年四月二十四日 (4月30日接受)

在中華民國

臨時代理大使 若杉 要(印)

外務大臣 有田 八郎殿

支那ノ財政經濟ニ關スル「リース、ロス」ノ會見談ト

易ヲ發達セシムルニアルカ日本トノ協力ハ最モ有用ナリサ  
レト日英間ニハ何等ノ協定モ未タ無シ英米支三國ノ協定締  
結ノ提議ニ關シテハ余ハ何等承知セス又關稅收入ハ今日迄  
ノ所北支ノ密輸ニ依リ何等影響セラレ居ラス云々ト語リタ  
ル由ナリ

右ニ對シ財政部ハ別紙内號ノ如キ「コンメント」ヲ發表シ

「リース、ロス」ノ見解ハ財政當局ノ夫ト完全ニ一致ス各  
般ノ財政改革ハ「リース、ロス」ノ提言ニ則リ開始セラレ  
孔財政部長ハ既ニ中央準備銀行ノ改組案ヲ中央政治委員會  
ニ提出シタルカ右案裁可セラルレハ準備銀行ハ設立セラル  
ル筈ナリ政府ハ「インフレーション」政策ヲ考慮シタルコ  
ト無ク法幣ハ常ニ限度内ニテ發行セラレツツアリ又政府ハ  
農業經濟ノ振興ニ留意シ農民銀行ハ既ニ農村救濟ノ爲四千  
万弗ノ融資ヲ爲スコトニ決定シ居レリ云々ト述ヘ居レリ  
右報告ス

本信寫送付先 北平 南京 上海(別紙省略)

953 昭和11年5月14日 在南京須磨總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

右ニ對スル財政部ノ「コンメント」報告ノ件

本月二十日「リース、ロス」ハ神州社記者ニ對シ支那ノ財  
政經濟ニ關シ別紙<sup>(省略)</sup>甲號其ノ華文乙號切抜ノ如キ會見談ヲ試

ミ其ノ中ニ於テ幣制改革ハ成功ナリト爲シ今日ノ支那ニ最  
モ重要ナルハ再ヒ「デフレーション」ヲ必要トスルカ如キ

通貨制度ヲ採用セサルコトナリ幣制改革ハ經濟組織ニ對シ  
必要ナル彈力ヲ與ヘ成功ヲ見セ居リ何等事件發生セサル限

リ信賴スルヲ得ヘシ國民政府ハ中央銀行ノ獨立化ヲ實現シ  
又歲出入ノ平衡<sup>(衡)</sup>ヲ計ルヘキナリ而シテ歲出入ノ平衡化ニハ

相當ノ時間ヲ要スヘク其ノ間政府ハ貯蓄ノ利用シ得ル限度  
迄之ヲ借入レ差支無カルヘシト述ヘ次テ經濟建設ニ關シ經

濟建設ハ大ナル進歩ヲ遂ケタルモ余ヲシテ言ハシムレハ支  
那ハ工業化ニ多大ノ注意ヲ拂ヒ農業ノ改善ヲ閑却セル傾ア  
リト爲シ更ニ外債問題ニ言及シ外債支拂延期ノ要請アリタ

ルコトハ之ヲ聞カス支那ハ契約上之ヲ爲シ得ヘキモ余ハ右  
ハ中國ノ爲利益ナリトハ考ヘス對外信用ヲ維持シ且ツ之ヲ

改善スルコト支那ニ取り最モ賢明ナル策ナルヘント言ヒ最  
後ニ日英米三國ノ對支共同援助ニ關シテハ全然知ラスト答

ヘ吾人ノ支那ニ對スル關心ハ支那ノ平和及安定ヲ增進シ貿

陳光甫の對米交渉および米國財務長官對應振  
りに関する吳鼎昌内話について

|    |         |
|----|---------|
| 南京 | 5月14日後発 |
| 本省 | 5月14日夜着 |

第三八四號

支發閣下宛電報第一八九號ニ關シ

陳光甫ノ對米活動ニ付テハ孔祥熙ノミニテ取計ヒ居ルカ如  
ク十二日吳鼎昌モ陳ノ「モーゲンソー」トノ交渉ニ付テハ  
孔ヨリ全然報告モナク不明ナルカ其ノ一ハ客年十二月五千  
萬「オヌス」賣却後集中セル銀相當額ニ上レルニ付對外決  
濟用在外正貨シテ右ヲ有利ノ條件ニテ米國ニ賣渡ヲ策ス  
ルモノト認メラルル旨語レルカ本十四日「マツクダニエル」  
カ「パック」等米國側ヨリ得タル印象ナリトテ內報スル所  
ニ依レハ「モーゲンソー」ハ兎角大統領ニ最信任アルニ乘  
シ國務秘書ヲ出拔ク辭アリ銀買入其ノ他支那ノ現幣制維持  
ニ同情的措置ヲ執ル代リニ特惠關稅位ヲ今直ニ締結セサル  
迄モ大體約束セシムルコト位ノ條件アルニアラスヤトノ乘  
ナリ聞込ノ儘御参考迄

支、北平、天津ヘ轉電セリ

支ヨリ上海へ轉報セリ

954 昭和11年5月14日 在米國貞藤大使より  
有田外務大臣宛(電報)

### 陳光甫一行の米國大統領表敬に關する米國紙

#### 報道振りについて

ワシントン 5月14日後発  
本省 5月15日前着

#### 第一八一號

十二日大統領ハ陳一行ヲ「ティイ」ニ招待シ支那大使及大藏長官モ列席セルカ右ニ付紐育「タイムス」ハ該招待ハ銀問題ニ關スル話合カ暫定的協定ノ域ニ達シタルコトヲ意味スルモノト一部ニハ信セラレ居ルモ「ホワイト、ハウス」ニテハ右ハ單ナル社交上ノ訪問ニ過キサル旨ヲ非公式ニ發表シ居リ又大藏長官ハ其ノ前日本問題ニ關スル公表ハ支那側ノ希望ニ副フヘキ旨ヲ述ヘ居リ從テ假ニ十二日ノ會合カ或種ノ協定ノ成立ヲ意味ストスルモ其ノ發表ハ支那側カ本國政府ト充分打合ヲ了スル迄差控ヘラルヘシト報シ居レリ紐育ニ郵送セリ

955 昭和11年5月15日 在中國若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

### 米中銀協定成立を歡迎する中國紙報道について

上海 5月15日後発  
本省 5月15日夜着

#### 第三三〇號

米支間ニ貨幣協定成立セリトノ華府電報ニ關シ十五日ノ「チャイナ、プレス」ハ論說ヲ掲ケスル協定ノ成立ヲ歡迎シ「モーゲンソー」長官ノ配慮ハ支那人ヲシテ米國ハ支那財政及政治的困難ニ直面スルトキ之カ援助ニ努力スルモノナルヲ確信セシメ又「ルーズベルト」大統領カ支那代表ト面接ノ際示サレタル關心ハ米國政府カ其ノ生産品ノ爲極東市場ヲ維持スルノ必要ヲ悟レルヲ示スモノナリ協定ノ成立ハ國民經濟ノ均衡ヲ脅威シツツアル北支ノ密輸ニ鑑ミ更ニ重要ナル意義ヲ有スルモノニシテ又幣制改革ノ成功ヲ更メテ認ムルモノナリ云々ト論シ居リ

北平、天津、南京へ轉電シ上海へ轉報セリ

956 昭和11年5月16日 在中國若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

### 平価切り下げ説および政府財政状態に關する

#### 中國有力銀行家の觀測について

上海 5月16日後発  
本省 5月16日夜着

#### 第三三四號

商務官ヨリ

二、三日來平價切下説流布サレ棉花、綿絲布等ノ定期市場一時動搖ヲ來セルカ右ニ關シ周作民、李銘ノ内話ヲ綜合スルニ左ノ如シ  
一、銀本位ヲ離脱セシ今日平價切下ハ意味ヲ爲サヌ假令補助貨ノ銀純分カ低下サルルトモ之ハ畢竟補助貨ニ過キス支那力再ヒ銀貨國ニ歸ルカ如キコトハ考ヘラレス

通貨制度ニ異變カアルトセハ從來ノ例ニ徵スルモ必然政府筋ヤ政商間ニ外貨買カ盛ニ行ハルヘキカ今回ハ何等ノ策動ヲ見サルハ政府ニ斯ル政策ナキコトヲ立證スルモノナリ

二、上海ハ由來「スペキュレイター」ノ活躍市場ナルカ通貨

米中銀協定に關連して米國財務長官が米中関税協定締結を提案したとの風説を同国外交官

否定について

第三八五號

往電第三八四號ニ關シ

昨十五日「ペツク」ハ「モーゲンソー」ニ關シ大体冒頭往電ノ趣旨ヲ肯定シ唯關稅ニ關スル協定ノ話ハアリシナランモ之丈ヶハ國務省ニアラサレハ交渉ニ當り得ストノ建前ヲ最近大統領ヨリ「モ」ニ傳ヘタル趣ナレハ今回ハ問題トナリ居ラサルコト確言シ得ト述ヘタリ  
支、北平、天津へ轉電セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

958 昭和11年5月16日 在米国斎藤大使より  
本省 5月16日夜着 有田外務大臣宛(電報)

米中銀協定成立に関する米国紙報道について

ワシントン 5月16日後発  
本省 5月17日後着

第一八八號

について

上海 5月18日後発  
本省 5月18日夜着

第三一九號

財政部長ハ十七日要旨左ノ如キ聲明及談話ヲ發表セリ

一、聲明

半年來ノ經驗ニ基キ且内外ノ金融現況ヲ考慮シ左ノ各項ヲ施行ス

(一)政府ハ法幣信用維持ノ爲現金準備ノ最低限度ヲ發行總額ノ百分ノ二十五トス(英文ニハ「政府ノ方針ハ引續キ金、外貨及銀ヲ以テ適當ノ準備ヲ維持スルニアリ其ノ内銀ノ部分ハ發行總額ノ二割五分トス」トアリ)

(二)五角及一元ノ硬貨ヲ發行ス

(三)法幣ノ地位ヲ強化スル爲金及外貨ヲ增加スルニ必要ナル準備(arrangement)ヲ了セリ

右ノ規定ニ依リ何國ノ貨幣ノ變動ニモ牽制セラレサル(英文ニハ「何國ノ貨幣ニモ「リンク」セラレサル」トアリ)獨立ノ地位ヲ保持シ以テ通貨ノ安定ニ依リ國民生活ノ發達ヲ期ス云々

往電第一八一號ニ關シ

南京 5月16日後発  
本省 5月16日夜着

十五日「ジャーナル、オブ、コンマース」ハ米支間ニ或種ノ協定成立セリト信セラレ右ノ中ニハ(イ)米國ハ一「オンス」五十仙ニテ(現在四十五仙見當)支那ヨリ七千万「オンス」ノ銀ヲ購入シ(ロ)之カ代金ハ金及「クレジット」ニテ米國內ニテ支拂フ趣旨ノ條項アリト報セラル處右ハ支那ノ通貨及貿易上ノ「クレジット」ノ安定ヲ保障スルコトナリ英國モ之ニ關係シ居ルヤモ知レスト報セリ

尙最近倫敦銀市場ノ強含ミハ右米國ノ購入値段カ現在ノ相場ヨリ約五仙高カルヘシトノ報道ニ依ルモノナル由他方上海方面ヨリハ米支間二千五百萬弗借款成立説又ハ同額ノ銀購入説傳ハリ居ルモ右ハ大藏當局ニ依リ否定セラレタル趣ナリ

紐育ヘ郵送セリ

959 昭和11年5月18日 在中国若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

準備金の確保や外貨準備の増強など通貨安定措置に関する中国財政部長声明および同談話

第一八八號

二、談話

平價切下ノ謠言ハ事實ニアラス客年十一月以來支那通貨ハ銀ヲ離脱シ金及外國爲替ヲ以テ其ノ價值ヲ定メ居ルモノニシテ硬貨ハ補助貨ナレハ其ノ金屬價值トハ關係ナシ云々

(三)尙別ニ財政部長聲明トシテ銀製品製造ニハ純分三〇%以上ノ銀ノ使用ヲ禁止セル客年十一月十五日ノ規則(客年往電第九七一號)ハ銀國有ノ爲ノ緊急ノ措置ナルカ當業者ノ請願モアリ本規則第二條中右三〇%云々ノ制限ハ之ヲ廢止シ在來ノ商習慣ニ依ルコトトスル旨ヲ發表セリ  
北平、在支各總領事、廈門、滿、臺灣外事課長ヘ轉電セリ

960 昭和11年5月18日 在米国斎藤大使より  
有田外務大臣宛(電報)

米中銀協定成立を米國財務長官発表について

ワシントン 5月18日後発  
本省 5月19日前着

第一九九號

十八日午後大藏長官「モーゲンソー」ハ支那ヨリ相當量ノ銀ヲ定期的ニ購入スルコトニ關スル協定成立セル旨發表シ

右ハ支那ノ貨幣計畫ヲ援助シ國際通貨ノ安定ニモ資スルコトアルヘシト附言セリ尙購入額ハ發表セラレサルモ價格ハ

毎月ノ世界市場ノ平均相場ニテ米ヨリ支那ニ對シ金又ハ弗ノ「クレジット」ヲ以テ代金ヲ支拂フコトトシ直ニ取引ヲ開始スル由ナリ

紐育ニ郵送ス

961 昭和11年5月19日 在中國若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

### 通貨安定措置に関する中國財政部長声明につき補足報告

付記一 昭和十一年五月、大藏省理財局國庫課作成

〔支那幣制改革ニ關スル想定問答〕

二 昭和十一年五月、南滿州鐵道株式会社天津事務所調査課作成

〔支那ノ幣制改革ニ對スル内地銀行家ノ意見〕

(一)右聲明ニ依レハ銀ノ一部ハ準備トシテ保有シ且銀補助貨幣ヲ鑄造シ又銀製品用ノ銀ノ使用制限ヲ廢止セルハ何レモ支那ニ於ケル銀ノ使用ヲ増加セシムル譯ニテ米國ノ希望ニ副ヒタルモノナルヘク右銀使用増加ヲ認メタル代償トシテ米國ヨリ何等カ幣制ニ對スル援助ヲ得タルモノト一般ニ觀測セラレ居レリ其ノ得タル利益ノ内容ハ不明ナルカ恐ラク銀ノ賣却(五十仙ニテ二千五百萬米弗賣却セリトノ說アリ)及銀ヲ「イヤマーク」シテノ「クレジツ

往電第三三九號ニ關シ

第三三一號 上海 5月19日後發 本省 5月19日後着

(二)右聲明支那文ノ誤等ノ爲種々ノ噂アリタルモ市場ハ概シテ平靜ナリ(但シ爲替相場ハ數日來ニ引續キ「ウイーク」ナリ)

(三)右聲明ニ依レハ銀ノ一部ハ準備トシテ保有シ且銀補助貨幣ヲ鑄造シ又銀製品用ノ銀ノ使用制限ヲ廢止セルハ何レモ支那ニ於ケル銀ノ使用ヲ増加セシムル譯ニテ米國ノ希望ニ副ヒタルモノナルヘク右銀使用増加ヲ認メタル代償トシテ米國ヨリ何等カ幣制ニ對スル援助ヲ得タルモノト一般ニ觀測セラレ居レリ其ノ得タル利益ノ内容ハ不明ナルカ恐ラク銀ノ賣却(五十仙ニテ二千五百萬米弗賣却セリトノ說アリ)及銀ヲ「イヤマーク」シテノ「クレジツ

ト」ノ設定(之モ二千五百萬米弗ナリト傳ヘラル)ノ双方ナルヘシト見ル向多シ  
北平、天津、南京へ轉電セリ

(付記二)

昭和十一年五月

支那幣制改革ニ關スル想定問答

理財局國庫課

目 次

- 一、支那幣制改革ニ對スル我が反對的態度ノ理由及將來ノ方針如何
- 二、支那幣制改革ニ對スル具体策如何
- 三、支那幣制改革ノ內容如何
- 四、支那幣制改革ノ實蹟如何
- 支那幣制改革ニ關スル想定問答
- 一、問、最近ニ於ケル支那幣制改革ニ對シ我國ガ反對的ナル態度ヲ採リシ理由如何、又將來ノ方針如何
- 答、我政府ハ支那ノ財政經濟ノ更生ハ同國ノ自力ニ依

若シ支那側ニシテ右ノ方針ヲ確定シ之ガ實現方ニ關シ  
我ガ協力ヲ求メ來ル場合ニハ政府トシテハ其ノ達成ニ  
付充分ナル努力ヲ吝マザル考ナリ。

三、問、支那ノ幣制改革ノ具体策ニ付政府ハ如何ナル考ヲ有スルヤ

答、昨年十一月ノ幣制改革以來支那ノ通貨及金融ノ狀勢

ハ刻々變化シツツアルヲ以テ其ノ實情ニ付充分ナル調査ヲ爲シタル上ニアラザレバ、具体策ニ付論議スルコト妥當ナラズト思考スルヲ以テ、之ヲ差控ヘ度シ。

(更ニ質問アリシ場合ニハ)

支那ノ幣制ハ昨年ノ貨幣改革後ニ於テモ依然銀本位ノ建前ヲ採リ居ルモノナリ。然ルニ銀價ノ將來ハ各般ノ事情(米國ノ銀買上政策ノ將來、一九三三年ノ銀(賣控)協定満期後ノ措置、國民ノ貨幣ニ關スル觀念等)ニ依リ左右セラルルヲ以テ支那トシテモ是等ノ事情ハ勿論更ニ世界ノ通貨制度ノ動向ヲモ考慮シ幣制ニ關スル方針ヲ決定スルコトヲ要スト思考ス。

(更ニ重ネテ質問アリシ場合ニハ)

現今ノ世界的通貨不安ノ時代ニ於テ、支那トシテハ直ニ幣制ヲ改革シ、通貨ノ安定ヲ圖ルコトハ相當困難ナル事業ト思考ス。從テ差當リ、通貨價值ノ事實上ノ安定ヲ圖ルコト緊要ナルモ之ヲ實現スル爲ニハ先づ自力ヲ以テ財政ノ均衡ヲ圖リ國際貸借ノ改善ヲ圖リ必要ニ應ジテハ治外法權享有諸國ノ協力ヲ仰ギ外國爲替ノ管理ヲ行フノ要アルベシ。然レドモ通貨安定ノ爲ニ形式

洋經濟新報ヲ以テ代表サレル樂觀論テアル、今日迄ノ所ハ樂觀論カ勝利ヲ占メタカノ如ク見エタ。然レ共支那幣制ノ前途カ依然トシテ危機ヲ内包スルモノテアルコトハ樂觀論者ト雖敢テ拒マナイトコロテアリ悲觀論カ妥當性ヲ發揮スヘキハ今後ノコトテアルト考ヘラレル。從テ悲觀論樂觀論夫レ自身ニ就テ孰レカ正シキヤ今日決定スルコトハ無意味テアル。寧口吾人ハ悲觀論樂觀論ノ相違ヲ幣制改革ヲ見ル態度ノ相違從テ日本ノ取ルヘキ態度ニ對スル意見ノ相違ト解釋シ度イ。然シテ吾人ハ此ノ點カラシテ樂觀論ニ對シ大ナル贊意ヲ表セサルヲ得ナイノテアル。蓋シ樂觀論ハ今日ノ幣制改革ヲ廢兩改元以來ノ通貨統一政策ノ理論的歸結テアリ支那經濟ノ辿ルヘキ必然的過程テアルト理解シ之ヲ卒直ニ受入レル他道ナシト認メルニ反シ悲觀論ハ善惡ノ立場ヨリ判断シ通貨カ財政上ノ理由ニ依リ混亂セシメラレヌ爲銀本位ノ持續カ必要ナリト謂フ如キ歴史ノ發展ヲ無視シタ單ナル希望論ヲ以テ之ニ對抗セムトシタノテアル。兩者等シク支那ノ持ツ弱點ヲ充分認識シタモノテアルカ悲觀論ハ只夫レタケニ終ツタニ

(欄外記入)

ノ如何ヲ問ハズ海外ヨリ「クレデツト」ヲ得テ之ヲ使用スルコトハ不健全ナル通貨安定方策ノ一ト思考セラルルヲ以テ、之ニ贊スルコトヲ得ズ。以下省略

ルルヲ以テ、之ニ贊スルコトヲ得ズ。

本稿ハ議會答辯資料トシテ外務省ト打合ノ上大藏省力起草セルモノナリ 五、十九 曾禰

(付記二)

天調資料第五號(昭和十一年五月)

支那ノ幣制改革ニ對スル内地銀行家ノ意見

満鐵・天津事務所調查課

凡例

一、十一年四月私用ヲ以テ上京セル際偶々面會セル銀行家ノ談話中支那問題ニ對スル意見ヲ抽出筆記セルモノテアルカ主トシテ幣制改革問題ニ關聯シテキル。

二、支那ノ幣制改革ニ對スル日本ノ輿論ニハ無理解極端ナルモノヲ除キ二ツノ潮流カアル。一ツハ正金銀行當局者ヲ以テ代表サレル悲觀論テアリ。一ツハ土屋計左右氏、東

對シ後者ハ弱點ノ中ニ支那ノ發展性ト特殊ノ強味ヲ見付ケタトコロニ相違カアル。吾人ハ悲觀論者ノ見ル如ク幣制改革ノ前途ニ對シ甚タシキ危惧ノ念ヲ懷クモノテハアルカ既ニ改革ノ條件ハ不完全乍ラ備ツテ居リ今回ノ改革カ必然的產物タル以上之ニ順應スル政策ヲ採ルコトカ最賢明ナ方法テアルト信シテ居ル。

樂觀論悲觀論ノ孰レニ依ルモ日本カ取ルヘキ政策トシテハ傍観的態度ノ範圍ヲ出テナイカ自ラ前者カ好意的テアリ後者非好意的テアル相違ヲ生シ悲觀論ニ基イテ行動シタ在支日本側銀行ハ銀引渡拒絕問題ノ如キ敢テ醜體ナリト謂ハサル迄モ至極無意味ナル行動ニ出テテ了ツタモノテアル

三、兒玉正金頭取ノ談話ニ依レハ同氏ハ孔祥熙ノ使者ニ對シ爲替相場引下ヲ提唱シテ居ル事實カアルカ夫レニモ不拘銀本位維持ト謂フ單ナル同氏ノ希望ニ囚ハレタ爲幣制改革ヲ全面的ニ見透シ之ニ依テ機密ニ參加スル機會ヲ得ルコトカ出來ナカツタノハ頗爾遺憾テアツタ。問題ハ政治問題ニ屬スルカ故ニ同氏カ正當ナル認識ヲ有シテ居タトシテモ日本ノ根本方針ヲ變更セシメルコトハ出來ナカツ

アツタ。川越新大使モ軍人ノ意ノ儘ニ動ク人テハナカラウカ。密輸出ノ問題ニシロ全ク困ツタモノテアル。支那人ニハ支那人自身カヤルノテ日本人ハ關係シナイト逃ケテハ居ルモノノ之テハ逢ハス顏カナイ。今春日華貿易協議會カラ私達數名渡支スル豫定テアツタカコンナ事情テ中止シタ私ノ意見ハ單ナル常識論ニ過キナイカ常識論テモ之カ最正シイト思フ。要スルニ問題ハ陸軍ノ肅軍カトウ行ハレルカニ掛ツテ存シテ居ル。陸軍ノ内部カ統制取レスイロイロノ動キカアルヤウテハ對支政策モ巧ク行ハレル道理ハナイ。勿論肅軍ノ徹底ト共ニ資本家モ言論機關モ從來ノ態度ヲ改メル必要カアルハ謂フ迄モナイカ。昨年訪日經濟視察團ノ來朝スル前ニ恭<sup>(義)</sup>ト云フ男カ孔祥熙ノ使テ私ノ所ヘヤツテ來テ支那ノ窮狀ヲ訴ヘ幣制改革ノ相談ヲ持チカケタ。ソシテ私ニ支那政府ノ顧問トナツテ支那へ來テ吳萊ナイカト迄謂ツタ。其ノ時私ハ支那力困ツテ居ルノハ銀カ高クテ輸出カ出來ナイカラタ。輸出ヲ増進スル爲ニハ平衡稅ヲグント引上ケ爲替ヨ一志二片見當迄引下ケルコトカ出來ス支那政府ハ銀行ノ所有スル銀以外防止スルコトカ出來ス支那政府ハ銀行ノ所有スル銀以外

ハ銀價ト爲替相場トノ開キニ依ル利益ヲ收メルコトハ出来ナイカ輸出サレタ銀カ支那ノ受取勘定ニナル點ハ密輸出タルヤ否ヤニ關係シナイカラトノ意見ヲ述ヘテ置イタ。シカシ銀ノ國有トカ銀本位ノ放棄トカ謂フコトニハ少シモ觸レテ居ナカツタノテアル。後ニナツテ聞イテ見ルト高橋藏相ハ其ノ使ニ對シ唯支那ノ自力更生ヲ主張シタケタツタソウタ。私ノ說ハ其ノ後訪日經濟視察團カ來タ時ニモ述ヘテ置イタ。然ルニ御承知ノ通支那政府ハ十一月三日突然幣制改革ヲヤツタカ其ノ際私ノトコロヘ「貴殿ノ意見ト一致スル點モ有之」ト謂ツテ來タ。巧イコトヲ謂フモノテハナイカ。シカシ私ハ爲替引下ケハ主張シタカ銀ノ國有トカ銀本位ノ放棄トカハ夢ニモ考ヘナカツタノテアル。從テ此ノコトハ同僚ニモ話サス上海支店ニモ知ラセナカツタ。今年ノ三月陳光甫カ米國ヘ行ク時立寄ツテ行ツタカ同君モ幣制ノ前途ニハ財政問題カラ多大ノ危惧ヲ憾<sup>(義)</sup>イテ居リ北支ニ動搖カ起レハインフレーシヨンカ惹起サレルノテハナイカト懸念シテ居タ、ソコテ私モ銀本位ノ採用ヲ重ネテ勸告シテ置イタ。管理通貨ナンカトテモ出來ルモノテハナイ。管理通貨トナレハ在外資

タカモ知レナイカ少クトモ此ノ問題ニ關シ日本カ支那ニ與ヘル印象ノ上ニ異ルモノカアツタロウコトハ否ムコトカ出來ナイ  
四、悲觀論ヲ甲、樂觀論ヲ乙、幣制問題外ノモノヲ丙ト分チタ。兒玉、土屋兩氏以外ノモノハホンノ斷片的ノモノテアルカ兩氏ノモノタケテ些カノ價值ハアルト信スル  
昭和十一年五月

執筆者 課員 前島 正道

## 目 次

- 甲
- 一、兒 玉 謙 次(正金銀行頭取)
- 二、渡 邊 禮(正金銀行取締役、東京支店支配人)
- 三、有 馬 長太郎(正金銀行爲替課長)
- 乙
- 一、土 屋 計左右(前三井銀行上海支店長)
- 二、五十嵐 直 三(前正金銀行常務)
- 三、根 岸 佶(前商大教授)
- 丙

一、松 田 義 雄(朝鮮銀行理事)  
二、瀨 下 清(三菱銀行頭取)

## 甲 兒玉謙次

殷汝耕ノ如キ人物ヲ對手トシ冀東自治政府ノ如キモノヲ作ツテモ何ノ意義カアラウカ。徒ラニ國費ヲ亂費シ支那人ノ權益ヲ一掃シ日本カ獨占シヤウトスルノカ間違ツテ居ル。支那ノ如キ徒ラニ廣クシテ貧弱ナル土地ヲ開發シ購買力ヲ涵養スルニハ長年月カ必要テアリ一朝一夕テトウナルモノテハナイ。然ルニ我商品ノ輸出ヲ旺盛ナラシメ之ニ依テ國力ヲ增進スルコトハ今日當面ノ問題テアル。支那ニ於テ英國ヲ敵ニ廻セハ世界各國ニ於テ英國ノ報復ヲ受ケ我商品ノ海外進出ハ益困難トナルノテハナイカ、有田大使ノ赴任ニ際シ日華實業協會ノ連中數名テ上述ノ意見ヲ開陳シニ行ツタカ大使ハ支那ニ於テ英國ニ對シ攻勢ノ態度ヲ採ラストモトノ道世界各國ニ於テ英國ノ壓迫ヲ受ケルノテハナイカトノ意見ヲ持ツテ居タノハ遺憾テ

金ノ運用テヤツテ行クノタラウカ日本ノ例ヲ見テモ分ル  
ヤウニ結局在外資金ヲ失クシテ了フモノタ  
配人)

三、渡邊禮(正金銀行取締役東京支店支配人、前上海支店支  
日本側ノ銀行カ銀ヲ引渡サヌノハ自國ノ銀モ接收出來ナ  
イ中ニ外國銀行ノ銀ヲ要求スルノハ見當違ヒタ。先ツ自  
國ノ銀ヲ集中スルト趣旨カラタ。日本側カ支那幣制ノ前  
途ヲ觀測シ損ツタト謂フコトハナイ。當初ヨリ數箇月テ  
新幣制カ駄目ニナルトハ思ツテキナカツタ。從テ銀ヲ引  
渡サナイ理由ハ今モ消滅シナイシ此ノ方針ヲ變ヘル必要  
ハナイ。

何ノ道銀ハ寢カセテ居ラナケレハナラナイノテアルカラ  
之ニ依テ金利カ損スルト謂フコトモナシ又資金難ニ陥ツ  
テ居ル事實モナイ。

アンナ財政テハ幣制ノ前途ハ如何ナルカ分ツタモノテハ  
ナイ。法制的ニポンドニリンクシタ所テ駄目ナモノハ駄  
目タ。支那ノ在外資金ハ一億五千萬圓トカ二億圓ナンカ  
ナイ。今アルノハ米國ニ賣却シタ銀ノ代金タケテ一オン  
ス六十五セントテ六千萬オズ賣ツタノタカラ米貨テ約

三千萬弗位ナモノタラウ。其ノ中一千萬弗ハイヤーマー  
クシテアツテ支那政府ノ自由ニナラナイ。陳光甫カ行ツ  
タノモイヤーマークヲ解除シ政府カ自由ニ處分出來ルヤ  
ウニスルノカ目的タト謂ハレル。陳光甫ニシロ米國ト何  
カ協定ヲ結フコトナンカ出來ルモノテハナイ。  
兎ニ角支那謂フ國ハ一朝一夕テ如何ナルモノテナイ。  
日本モ深入リセス傍観スルノカ得策タ。財界ニハ支那カ  
ラ手ヲ引ケト謂フ論サヘアル。

### 三、有馬長太郎

日本側銀行カ銀ヲ引渡サナカツタノハ支那ノ幣制改革ノ  
見透スラモ付カナイ上銀ノ債務ヲ有シテ居ルカラテ此ノ  
事情ハ今日ト雖變ラナイ。多イ時ハ四千萬圓カラノ銀ヲ  
持ツテ居タノタカラ一千萬圓位ノ銀ノ金利ハ大シタコト  
テナイ。從テ今日ノ爲替銀行間テハ此ノ問題ハ全ク忘レ  
ラレテ居ル。

世間テハ軍部ノ意圖ニ基イテ居ルト邪推シテ居ルカ全ク  
誤解テアル。然シ磯谷少將カ銀ノ引渡ニ贊成シテ居ルト  
謂フ話ハ聞カナイ。同氏トハ先日モ相當長ク話シ合ツタ  
カ。

支那カ印度ヤ海峽殖民地ノ如キ磅爲替本位ヲ採用スルコ

トハ出來ナイ。支那ハ滿洲ノ喪失ニ依リ入超國タルハ免

レナイ運命トナツタカラ磅爲替本位ノ採用ニハ外國ノ借  
款カ必要テアル。然ルニ日本カ反對シテ居ルニモ拘ラス  
英國カ借款ヲ與ヘルトハ考ヘラレナイ。又米國ニシロ國  
内ニ對スル銀政策ノ必要上支那カラ銀ヲ買フ位ノ援助ハ  
與ヘルテアラウカ夫レ以上ノ援助ヲスルトハ見ラレナイ。  
支那ノ行クヘキ道トシテ磅爲替本位ノ他管理通貨本位、  
銀本位カ考ヘラレルカ支那ニ於テ管理通貨本位カ行ハレ  
ル道理ハナイ。

金銀復本位ハ實際ハ金本位カ銀本位ノ何レカタカ支那カ  
米國ニ銀ヲ買ツテ貰フ爲表面的ノ復本位ヲ採用スルコト  
ハアリ得ル。何レニシロ日本トシテハ支那ノ幣制ニ對シ  
テ傍観的態度ヲ採ルヨリ他仕方カナイ。

然シ兩國ノ一般的國際關係カ良クナレハ支那ヲ援助スル  
方法カナイテハナイ。

支那ノ在外正貨ニ就テハ陳光甫ノ來ル前ニ日本ニ立チ寄  
ツテ行ツタ國際銀公司ノモネ一ハ支那ノ金テ八千萬弗見  
當ト謂ツテ居タ。

### 乙

#### 一、土屋計左右

高橋龜吉君ノ如キ支那ヲ知ラナイ者カ居リ當初日本ノ輿  
論ハ幣制改革ニ對シ甚タンキ誤解ト反感ヲ有シテ居タカ  
最近ハ殆ト贊成者許リトナツタ。三菱ノ山室君等モ私ト  
高橋君ノ論戰ヲ聞イテ此方ニ贊意ヲ表シテ吳レタ。其ノ  
他近頃ノ東洋經濟ハナカナカ好イコトヲ書イテ居ル  
先日モ新シイ駐支財務官カ來テ日本朝野ニ幣制改革ノ成  
功ヲ知ラセ日本人ノ蒙ヲ啓クノタト謂ツテ居タカ日本モ  
近頃テハ好ク分ツテ居ルト謂ツタラ意外ノ様子テアツタ。  
然シ兒玉氏ヲ始メ正金ノ連中カ依然銀ニ囚ハレタ古イ考  
ヲ持ツテ居ルノハ遺憾テアル。兒玉氏ハ自身ノ在支當時  
ノ支那ヲ以テ今日ノ支那ヲ律シヤウトスルカラ間違フノ  
タ。

自分ノ趣味カラ北支ノ幣制獨立問題ヲ考ヘテ居ルカ現在  
ノ一般狀勢カラスレハ何モシナイノカ最賢明ナ方法テア  
ル。

只獨立ノ際ノ準備工作ト謂フヘキモノカアルカ絕對ニ秘  
密ヲ守ル必要カアル。北支ノ兌換券發行高其ノ他ニ就テ

ハカンニ賴ンテ調ヘテ貰ツテ居ル。日本側ノ銀行ノ所有スル銀ナンカ早く引渡シタ方カ好イト思フカ支那ノ幣制改革ニ對シテ日本カ其ノ他援助スヘキ方法ハナイ。好意的傍観ノ態度ヲ取ツテ居ル他仕方ナイ。

レース。ロスカ謂ツタト謂フカ如キ支那ノ通貨ヲ磅ニリシクスルコトハ支那ニ不利テアルノミナラス亦不可能ナコトニ屬ス。支那ハ輸出ノ出來ル様漸次爲替相場ヲ引下ケテ行ケハ好イ。日本ノ圓ヨリ安いトコロカ適當テアラウ(五十嵐氏)ノ談ニ依レハ土屋氏ハ爲替相場ノ引下不可ノ意見ヲ有スモノノ如ク筆者ノ直接聞ケルトコロト予盾スルカ遺憾ナカラ之ヲ質ス機會カナカツタ)固ヨリ支那ノ幣制改革ハ成功スルトハ斷言出來ナイカ失敗シタ時ニハ失敗シタ時テ亦方法カアル。金融ハ土臺テナク上層建築物テアルカラ幣制改革カ失敗シテモ直ニ支那經濟ノ崩壊ヲ云々スルコトハ出來ナイ。政治支配サヘアレハ幣制ハ何ウトテモ出來ル。

日本ノ輿論カ最初誤ツタノハ此ノ點ヲ理解シテ居ナイカラテアル。今日ノ公債借替ハケンメラーノ案タ。ケンメラーカスノ如キ案ヲ作テ財政部ニ呈出シ財政部ハ之ヲ銀

行家ニ内示シタカ銀行家ハ反対シタノテ之ヲ深ク財政部ノ庫中ニ收メテ居ツタ。當時私ハ秘密ノ約束テ支那銀行家カラ教ヘテ貰ツタ。今ナラ話シテモ差支ナイカ。

### 二、五十嵐直三

領土慾ヲ棄テナケレハ何ウシテモ駄目タ。今ニ英國カラ酷イ目ニ逢ハサレルヨ、正金ノ連中ハ頭カ古イ。他人ノ國テ商賣ヲスルノタカラ一千萬圓位ノ銀ハ引渡シタ方カ好イ支那トシテハ輸出ノ增加スルトコロ迄爲替ヲ引下ケテ行ケハ好イノテアル。幣制問題ニ關スル限り支那ハ今後英國ヨリ米國ニ接近シテ行クノタト思フ。

### 三、根岸信

支那ニ銀カ入ツタノハ此處數十年ノコトテアリ支那ニハ銀本位シカ適當シナイト謂フ者ハ支那ノ歴史ヲ知ラナイカラタ。外務省カ作成シタ幣制改革ニ對スル日本ノ方針ト謂フモノノ検討ヲ命セラレタカラ散々ヤツツケテ置イタ。又命セラレタノテ四十日許リカカツテ北支ノ幣制獨立案モ作ツテ置イタ。

### 丙

#### 一、松田義雄

朝鮮銀行カ天津ニ於テ圓手形ノ増加ヲ計ツテ居ルノハ單ナル營業上ノ問題テ之ニ依テ朝鮮銀行券ノ流通ヲ增加モシメ様トシテ居ルノテハナイ。斯ノ如キ手段テ朝鮮銀行券ヲ増加セシメ得ルトハ思ツテ居ナイ。手數料ハ引下ケタカ取引高ハ増加シタカラ收益ハ大シテ減少シナイ。支那問題テハ私モ日英提携スルノカ正シイト思ツテ居ル。二、瀬下清(三菱銀行頭取)

冀東自治政府ノ如キモノモ支那ノ勢力カ長城線カラ入ラナイ様ニスル爲ニハ必要タ。然シ北支カラ英國ノ資本ヲ一掃スル必要ハナイ。寧ロドンドン資本ヲ投下セシメルコトカ必要テナイカ。

962 昭和11年5月19日 在中國若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

通商協定締結交渉など米中銀協定以外の陳光

甫活動に関する情報について

上 海 5月19日後発  
本 省 5月19日夜着

北平、天津、南京へ轉電セリ

963 昭和11年5月26日 在中国若杉臨時代理大使より  
有田外務大臣宛(電報)

陳光甫の対米交渉に関する孔祥熙説明振りに

ついて

上 海 5月26日後発  
本 省 5月26日夜着

第三六五號

米發賣大臣宛電報第一九九號ニ關シ

廿五日孔祥熙ハ須磨ニ對シ陳光甫ノ對米交渉ハ向フ十箇月間ニ五千萬乃至一億「オヌス」(大體七千五百萬「オヌス」見當)ノ銀ヲ金又ハ「クレジット」ニテ買入レテ貰フ爲ニシテ(右銀買入ノ月額ハ米國ノ自由決定ニ委ヌ)右ノ外關稅又ハ互惠稅率ノ如キ話合等全然無シト述ヘ居タル趣ナリ尙中央銀行及四行貯蓄保管ノ銀一千六百五十萬元米支協定ニ依ル第一回分トンテ廿六日「ジャクソン」號ニテ積出サレタリ

北平、天津、南京へ轉電セリ

~~~~~

964 昭和11年5月26日 在ニューヨーク井上總領事代理より
有田外務大臣宛(電報)

通貨安定措置に関する中國財政部長声明を評価する米國紙報道振りについて

ニューヨーク 5月26日後発
本 省 5月27日前着

第五八號

二十四日「タイムズ」ハ新タニ中國銀行紐育代理店支配人トナルヘク來紐セル C. H. Wang カ其ノ會見談中米支銀協定ヲ以テ支那ニ新通貨制度ヲ樹立シ銀ヘノ依存性ヲ輕減セントスル政策ノ一段階ナリト説明セル旨並ニ當地各關係銀行家ノ意見ヲ綜合スルニ新協定及十八日孔財政部長ノ發表セル聲明ハ支那通貨安定ヲ豫測セシメ啻ニ支那ノミナラス之ト貿易スル總テノ國ノ利益トナルヘシト好感ヲ以テ迎ヘラレ居ル旨報道セリ

同紙ハ更ニ孔部長カ其ノ聲明中金及外國爲替並ニ銀ヲ以テ兌換券準備トシ其ノ中銀ノ準備高ヲ紙幣流通額ノ最少二五%ト爲ス旨ヲ述ヘタルコトハ支那政府カ銀ヘノ依存性ヲ輕減シ之ヲ金及外國爲替ニ從タラシメント試ミツツアルコト

ヲ示スモノト解釋セラレ居ルコト又支那ノ通貨制度ハ獨立タルヘク如何ナル他國ノ通貨トモ「リンク」セシメストノ聲明ハ支那元ト磅トノ連結カ永久的ナルモノニアラサルコトヲ暗示スルモノト解釋セラレ居ルコト及支那カ現實ニ米國大藏省ニ賣却セントスル銀ノ分量ハ正式ニハ發表セラレ

サルモ大体七千五百萬「オヌス」(十九日「ウォール、ストリート、ジャーナル」ニ依レハ支那現在ノ持銀總額ハ三億「オヌス」其ノ中現在紙幣流通額ノ二五%ニ相當スル一億五千萬「オヌス」ヲ除キ殘餘ノ約一億五千萬「オヌス」ハ必要ニ應シテ本協定ニ基キ之ヲ米國ニ賣却シ得ヘク其ノ代價ハ約六千七百五十萬弗トナルヘキ旨ヲ報セリ)ト觀測セラレ「オヌス」四十五仙ノ時價ニ換算スレハ支那政府ノ受取ル金額ハ約三千三百七十五萬弗トナルヘク尙米國大藏省ハ一昨年十一月及昨年十一月ノ二回ニ亘り各千九百萬「オヌス」及五千萬「オヌス」ノ銀ヲ支那ヨリ購入シタルカ其ノ中後者ハ銀價下落直前ニ爲サレ買値ハ一「オヌス」六十五仙ナリシ由ナルコト並ニ斯テ得タル金額中金ニ依ラス弗爲替ニ依ル分ハ來ル七月一日ヨリ開業スヘキ中國銀行紐育代理店ニ預金セラルヘク右代理店ハ商業々務ヲ行フト

965 昭和11年6月11日 在中国若杉臨時代理大使より
有田外務大臣宛(電報)

補助貨鑄造に関するホール・パッヂ内話に鑑み英國側は米中銀協定の内容を正確に知らず

同協定に相当疑惑を有する旨報告

上 海 6月11日後発
本 省 6月11日夜着

第四二九號

往電第三二九號ニ關シ

(1)新ニ鑄造スヘキ一元補助貨ノ純分ニ關シテハ(1)重量庫平。

○、五兩(從來ノ一元ハ○、七一兩餘)トノ說ト(2)○、二四兩其ノ純分○、一八兩トノ說ト兩様ノ諜報アリタルカ(1)ハ純分高過キ(2)ハ低過キルヤニ考ヘラルニ付尙確メ中ナリ「ホールパッヂ」ハ館員ニ對シ自分ノ計算ニテハ

銀貨カ一弗二十九仙迄トハ言ハス客年中ノ最高相場程度

迄達スルモ「メルチング、ポイント」ニ達セサルカ如キ

從來ト同型ノ一元貨幣ヲ造ルニハ從來ノ純分八八〇ヲ五

〇〇以下トスル要アリ銀貨ノ色ヲ有セサルニ至ルヘント

言ヒタル由

(2) 右補助貨鑄造ニ付テハ五月二十七日「フィナンス、アンド、コンマース」所載ノ如キ反對論モアリシカ銀行家邊

ニモ之ニ贊成スル者鮮カラス「ホールパツチ」モ館員ニ

對シ補助貨鑄造ハ經濟的ニハ無意味ニシテ自分ハ恐ラク

「ファーデルファイア、ミント」ヨリ顧問トシテ中央造幣

廠ニ特派サレ居ル「グラント」邊カ造幣引受ノ爲策シタ

ル結果ナルヘント考ヘ居レリト言ヒタル由

(3) 尚先般中國銀行張肖梅ヨリノAD情報トシテ陳光甫ノ渡米ハ「リースロス」ノ指金ニ依リ米國ヲシテ支那ノ幣制ニ關心ヲ持タシメ延イテ極東問題ニ對スル英米共同戰線ヲ招來セントノ魂膽ナリトノ聞込アリタルカ「ホ」ノ右補助貨問題ニ對スル口吻ト言ヒ其ノ他館員ノ得タル印象ニテハ英國側ハ米支協定ノ内容ヲ正確ニハ知ラス相當疑惑ヲ持チ居ルヤニ認メラル趣ナリ

南京、北平、天津へ轉電セリ

~~~~~

966 昭和11年6月12日

在ニューヨーク井上總領事代理より  
有田外務大臣宛(電報)

米中銀協定における米財務省のねらいおよび

交渉の背後にモネの暗躍があるとの銀問題権威者の観測について

ニューヨーク 6月12日後発

本 省 6月13日前着

第六五號

往電第六一號ニ關シ

「ライト」ヲシテ當地金銀取引商ニシテ銀問題ニ關スル權威者タルF. W. Handyノ意見ヲ聽カシメタル處「ハ」ハ今回ノ米支間銀協定ヲ以テ主トシテ米國側カ銀購買法實施ニ依リテ齋サレタル惡結果ヲ救濟スル爲支那ラシテ一部銀本位ニ復歸セシメ銀市場ノ再建ヲ計ラントスル自衛策ニ出タルモノト觀察シ居リ右ノ外或ハ支那側ニ於テ元ヲ弗ニ「リンク」スルコトニ同意セルコトアルヘキモ第二次的意義ヲ有スルニ過キス米國大藏省トシテハ銀購買法廢止ノ如

ニユーヨーク 6月13日後発

本 省 6月14日前着

第六七號(極秘)

往電第六五號ニ關シ

「ライト」カ華府輸出入銀行理事G. M. Jones大藏、商務兩省官吏及R. F. C. 「アレンジメント」 Jesse Jones等ヨリ得タル情報ヲ綜合スルニ左ノ通  
「、今回ノ支那「ミツシヨン」カ華府滯在中ニ爲シタル事業ノ主タルモノハ

(A) 銀協定締結及

(B) 現存支那國債ノ「コンソリゼイション」並ニ低利借替ノ二ナリ

米へ轉電セリ

~~~~~

967 昭和11年6月13日 在ニューヨーク井上總領事代理より
有田外務大臣宛(電報)

米中銀協定の内容および棉麥借款統借交渉等
に関する情報について

行紐育代理店ハ紐育聯邦準備銀行紐育「ナショナル、シティ、バンク」及「チエース、ナショナル、バンク」ト緊密ナル接觸ヲ保ツヘン

三、公債借替ハ支那開發金融會社ノ「フォーレン、エイジエント」タル「モネー」ノ活動ニ依ル所鮮カラス其ノ金額

ハ一九三一年及二三年ニ於テ交渉セラレタル支那ノ米國ニ對スル兩借款ノ殘額合計約千七百萬弗ナリ二年度借款

款ハ西北太平洋岸ニ於ケル小麥過剩「ストック」ニ對スル代價トシテ支那政府カ Grain Stabilization Corporation

ヨリ得タルモノニシテ其ノ現存殘額ハ約三百七十萬弗ナリ二三年度借替ハ復興金融會社カ與ヘタル所謂棉麥借款

ニシテ其ノ現在殘額ハ約千三百萬弗ト想像セラル

因ニ前者ハ四分利、後者ハ五分利附ナリシ處是等兩借款ヲ「コンソリデート」シ低利借替ヲ行フコトハ支那「ミシング」及「モネー」ノ重要使命ノニシテ彼等ハ

Grain Stabilization Corporation ^(Stabilization)ノ後身タル Farm Credit Administration R. F. C. 及華府輸出入銀行ト協議ノ結果之

ニ成功シ新公債ハ華府輸出入銀行ニ於テ之ヲ引受クルコトトナレルカ其ノ詳細ナル條件ハ不明ナリ但シ其ノ期限

968 昭和11年6月15日 在ニューヨーク井上總領事代理より
有田外務大臣宛(電報)

中国から購入した銀の代金として連邦準備銀
行にイヤマークされた金塊の推定額について

ニューヨーク 6月15日後発
本 省 6月16日前着

第七二號

六月十三日附紐育「タイムス」ハ十二日紐育聯邦準備銀行

ノ發表ニ依レハ千百九十萬六千三百弗ノ金塊カ「イヤマーク」サレ居ル旨並ニ銀行當局ハ其ノ何國ニ對スルモノナル

ヤヲ明示セサルモ右ノ内墨西哥ヨリノ輸送金塊六千弗(右兩國ヨリノ

輸送金塊ハ「イヤマーク」セラルヲ例トス)ヲ控除セル

金額即チ千百五十四萬九千六百弗ハ支那ニ對スルモノニシ

テ五月十八日發表ノ銀協定ニ基キ支那ヨリ輸入セラレタル

銀塊ニ對スル代償トシテ「イヤマーク」セラレタルモノナ

ルコトヲ推定スルニ難カラサル旨報道セリ
尙同新聞紙ニ依レハ銀協定發表以來上海ヨリ三回ニ亘リ總計六千九百萬元米貨約一千八十萬弗ニ上ル銀塊カ米國ニ向

ハ最少五箇年ヲ下ラス新利率ハ支那政府ニ取リテ毎年約百萬元ノ利益ヲ齎スモノノ如シ
四、尚支那「ミツシヨン」渡歐ノ目的ハ

(1) 英國政府ニ對シ華府ニ於テ締結セラレタル新協定カ何等英國ノ利益ヲ害スルモノニアラサルコトヲ保障シ

(2) 現行爲替「オペレーシヨン」ニ關スル各自ノ知識ヲ廣メ中國銀行ノ有效ナル運用方法ヲ準備シ

(3) 支那開發金融會社ノ事業例ヘ鐵道、材料購入ノ如キ

ハ金「ブロツク」諸國ノ將來ヲ探知シ且

(4) 行ヒ又「ミツシヨン」團員各自ノ私的事業ヲ行フ

ヲ行ヒ又「ミツシヨン」團員各自ノ私的事業ヲ行フ

ニアルカ如シ

五、支那「ミツシヨン」ハ華府滯在中米國大藏省ノ諸局課殊ニ外國爲替關係局課ノ事務執行振ヲ研究セルカ紐育ニ於

テハ主トシテ中國銀行紐育代理店ト協同動作ヲ行ヒ得ヘキ銀行關係者ト協議セルモノノ如シ

多少穿チ過キタルヤトモ思ハルルモ何等御参考迄

英ヘ轉電シ、米ヘ暗送セリ

英ヘ轉電シ、米ヘ暗送セリ

ケ積出サレ其ノ最後ノモノハ去ル十日上海ヲ出帆セル趣ナリ

969 昭和11年7月25日 在中國川越大使より
有田外務大臣宛(電報)

米中銀協定の内容等に関する陳光甫の邦人銀
行家への説明振りについて

上海 7月25日後発
本 省 7月25日夜着

第五七五號
往電第五五九號ニ關シ
其ノ節陳光甫ノ依頼モアリ船津ニ於テ斡旋ノ結果二十三日
陳ハ邦人銀行家連ト外部ニ發表セサル約束ニテ「フリー、
トーキング」ヲ行ヒタルカ其ノ内注意ヲ要スヘキ點左ノ通
(委細郵報)

(一) 銀協定以外ノ使命ヲ有セル「クレジット」等ノ協定ヲ爲シタルコトナシ

(二) 銀協定ハ支那カ一割五分ノ銀準備保持、銀貨鑄造、工業

用銀使用制限ノ撤廢ヲ行フ代リニ米國カ銀買上ヲ爲ス紳士協定ニシテ銀買上ノ數量ニハ最高又ハ最低ノ制限ナク買上値段ハ取定當日前二週間ノ平均相場ニ依ル唯米國側ノ都合ニテ「オファー」ヲ「アクセプト」シ得サル場合ハ「イヤマーク」シテ一「オンス」四十仙ヲ限度ニテ資金ノ融通ヲ受ケ得ル約束ト爲セリ

(三)米國以外ニハ銀ヲ賣却セスト言フカ如キ約束ナシ米國ヨリ銀本位復歸方又ハ米弗ト「リンク」ヲ慾懃セラレタルコトナシ

(四)新銀貨ノ發行時期ハ未定ナルカ若シ鑄造スルトセハ差當リ五角銀貨ノミナラン

(五)昨年新幣制實施直後ニ賣却セル銀及新協定ニ依リ賣却セル銀ノ代價ハ專ラ通貨安定ノ爲ニ使用スル約束ニシテ米國側ノ要求アラハ資金ノ使途ヲ説明シテ納得セシムル必要アリ

(六)銀國有ハ必スシモ思ハシカラサルコトハ認ムルモ幣制ノ將來ハ樂觀ス

南京、北平、天津へ轉電シ上海へ轉報セリ

殆ト無價值ナリ要スルニ所謂銀協定ハ支那通貨ヲ「スペキユレーター」ヨリ保護スル效果ハアリタランモ却テ全

ク米國財務當局ノ意図ニ依存セシムルコトトナリタリ(右最高額ニ關シテハ徐新六ヨリ七千五百萬「オンス」)

ナリトノ聞込アリ陳光甫カ最高最低孰レモ制限ナシト言ヒ居ルコトハ前電ノ通り)

(二)中央銀行ヲ獨立ノモノタラシムルコトニハ支那側ハ「リースロス」出發前兔モ角モ一應同意シタルカ嫌々同意セルモノナルコトハ明カニ看取セラレタリ然ルニ陳光甫カ米國財務當局ヨリ中央銀行獨立ノ必要ヲ說カレ來リタル爲支那側モ最近漸ク觀念シテ改組ヲ促進スル氣持トナリタル模様ナリ尤改組案ハ未タ行政院ニテ審議セラル迄ニモ至ラス實現ハ秋頃ノコトナルヘシ云々南京、北平、天津へ轉電セリ

~~~~~

971 昭和11年8月7日 在中國川越大使より  
有田外務大臣宛

中国財政および通貨問題に関する富田財務官と中國要路との会談内容について

970 昭和11年7月30日 在中國川越大使より  
有田外務大臣宛(電報)

米中銀協定および中央銀行改組問題に関する  
ホール・パッチ内話について

上海 7月30日後発  
本省 7月30日夜着

第五八九號  
往電第五七五號ニ關シ

廿九日「ホール・パッチ」カ館員ニ内話セル處左ノ通

一陳光甫ヨリ直接聽キタル譯ニハアラサルカ米國トノ話合ハ支那ニ取りテ可ナリ「ヒューミリエーテング」ナモノラシク支那ハ種々ノ約束ヲ爲シタル代リニ唯銀ヲ買上ケテ貰フコトニ付漠然タル話合ヲ爲シ來レルニ過キス米國側ハ或最高額迄銀ヲ買フコトスル様努力スヘキ旨ヲ約シタル程度ニシテ右最高額(何人ニモ極秘トシ居リ自分モ承知セス)ハ米弗ニテ表示セラレタル最高額ナル由ナルカ米國カ自由ニ市價ヲ左右シ得ル今日市價ニテ一定米弗額ヲ購入スヘシト約束スルモ一定量ノ銀ヲ買フコトトハナラサルノミナラス「努力スヘシ」ト言フ程度ナラハ

機密大第四四五號

昭和十一年八月七日

在中華民國

特命全權大使 川越 茂(印)

外務大臣 有田 八郎殿

富田財務官動靜ニ關スル件

七月十四日附貴信亞一機密合第一二一八號ヲ以テ便宜供與方御申越相成タル富田駐英財務官及稻森大藏事務官ハ七月二十八日來滬八月一日ヨリ三日迄<sup>盧</sup><sup>山</sup>及南京ニ赴キタル上六日飛行機ニテ廣東ニ向ヘルカ滬滬中李銘、宋子文、「ホーリバツチ」等ト會見シ又<sup>蘆</sup><sup>山</sup>ニテハ張公權、吳鼎昌、孔祥熙等ト會談セル趣ニシテ右會談中財務官カ努メテ政治ノ話ヲ避ケタル爲些迄重要ナル會談ハナカリシモ御参考トナルヘキ點左ノ通

(一)李銘

李銘ハ當初ヨリ銀本位制ノ下ニ平價切下ヲ行フヲ可ナリト考ヘ居リ「リースロス」來支早々意見ヲ求メラレタル際モ管理通貨制ニ反對ナル旨ヲ述ヘタルモ「リ」カ支那ノ實情ニ通セス理屈ノミニテ自分ノ意見ニ反對セル經緯

ヲ述へ「リ」ノ計畫ニシテ且財政部長ノ聲明セル(イ)幣制改革、(ロ)豫算ノ均衡、(ハ)中央銀行改組ノ三項ノ中(イ)ハ支那政府ノ金策上有利ナルニ付實行セラレタルモ(ロ)及(ハ)ハ政府ノ遣総ニ支障ヲ來スヲ以テ實現困難ナルヘント觀測スル旨ヲ語リ尙富田財務官ノ質問ニ對シ幣制改革後國際貸借ノ如キモ稍改善セラレタルヤニ觀測スル向アルモ輸出ノ增加ハ幣制改革ノ影響モアルヘキカ米國ノ經濟回復策ノ反響等支那以外ノ事情ニ依ルコト鮮ナカラス輸入ノ減少モ幣制改革ノ效果ノミナラス密輸ノ影響及奥地ノ購買力ノ減少ニ基因スルコト鮮ナカラスト觀測スル旨ヲ述ヘタル趣ナリ

(二) 孔祥熙

宋子文  
宋子文ハ幣制ノ將來ニ關シ極メテ樂觀的ナル觀測ヲナシ改革以來貿易モ相當ノ改善ヲ見タル外貿易外收支ニ於テモ華僑ノ送金ノ如キモ本國ノ家族ノ生活費ノ爲ノ經常的送金カ殆ト減少セサリシハ勿論幣制不安ノ爲一時減少シ居タル投資ノ爲ノ送金モ漸次回復シツツアル旨ヲ述ヘタル趣ナリ

(三) 張公權  
張公權ハ財務官ニ對シ自分ハ銀行家トシテノ經驗ヨリ先ツ支那鐵道ノ信用回復カ必要ナリト考へ舊債ノ整理ヲ行ヒ來レルカ夫レモ近ク片付ク筈ニ付新設建設ノ計畫ヲ進ムル考ヘナル旨及建設ニ關スル大規模ノ計畫ハ兎モ角トシ部分的ニテモ可能ナルモノヨリ進捗セシムルコト必要ナリト考ヘ居ル旨ヲ語リタル由

尙財務官ヨリ幣制問題ニ關シ張公權ニ近時比較的投機ノ少キ理由ヲ質問セルニ對シテハ上海筋ノ「スペキュレー」  
(右投機ノ少キ理由ニ付キテハ吉田三菱銀行支店長ハ銀行券カ其ノ發行額ノ増大ニ拘ラス中央銀行券ヲ中國銀行カ持チ中國銀行券ヲ交通銀行カ持ツカ如キ場合アリト考ヘ居ルニ依ルモノナリト答ヘタル趣ナリ)

(右投機ノ少キ理由ニ付キテハ吉田三菱銀行支店長ハ銀行券カ其ノ發行額ノ増大ニ拘ラス中央銀行券ヲ中國銀行カ持チ中國銀行券ヲ交通銀行カ持ツカ如キ場合アリト考ヘ居ルニ依ルモノナリト答ヘタル趣ナリ)

孔祥熙ハ富田財務官ヨリ豫算均衡ニ付質問セルニ付シ豫算ノ均衡ハ幣制改革トハ全然別問題ニシテ關係ナシ豫算ノ均衡カ通貨ニ對スル「コンフィデンス」ノ爲ニ必要ナリト言ハルルモ支那ノ豫算ハ不足ハ借入ニ依リテ補ヒ收支償ヒ居ルニ付心配ナシ借入ハ引續キ必要ナルモ紙幣ノ濫發ヲ行ヒ居ラス銀行券ノ發行ハ六割ノ準備ニ依リ制限セラレ居リテ濫發トナル惧レナシ幣制改革當時聲明セル十八ヶ月ノ期限ニハ猶九ヶ月以上アリ其ノ問ニ均衡ヲ計爾筈ナリ等例ノ思ヒ付次第ノ應酬ヲナシ財務官ヲ啞然タラシメタル由

右御參考迄報告ス

本信寫送付先 北平 南京 天津 廣東 商務官

～～～～～

972 昭和11年8月26日 在英國吉田大使より  
有田外務大臣宛(電報)

中央銀行改組を指導するためロジャースが再度訪中したとの情報について

ロンドン 8月26日後発 本省 8月27日前着

第四八七號

日銀宗像ヨリ「十六日左ノ通り内報アリタリ」

過般「リースロス」ト同行シタル「ロジャース」ニ對シ支那政府ヨリ招請アリ「ロ」ハ十日計リ前渡支シタル趣聞込アリタル處本二十六日英蘭銀行總裁ヨリ自分(宗像)宛私信ヲ以テ過日「リ」歸英ノ際支那政府ヨリ中央銀行創設ニ關シ「アドバイス」ヲ求ムル爲「ロ」ノ渡支方招請アリタル處右ハ「ロ」カ過般「リ」一行ノ一員トシテ着手シタル仕事ヲ新タニ別ノ資格ニテ繼續スルモノニシテ同中央銀行ヲ健全ナル基礎ノ下ニ創設スルコトノ望間敷キニ顧ミ余(英蘭總裁)モ之ニ贊成シ且「ロ」ニ對シテハ其ノ獨立ノ立場

ヲ尊重スルト共ニ支援ヲ與フルコトトシ「ロ」ハ既ニ出發セリ就テハ右ハ日銀トシテモ贊同セラルヘキ所ト考フルニ依リ「ロ」渡支ノ事情ヲ申進ムル次第ナルカ日銀總裁ニ於カレテモ本件「ロ」ノ使命ニ對シ援助ヲ與ヘラレンコトヲ希望ニ堪ヘス云々ト申出テタリ

委細ハ宗像ヨリ日銀宛電報ニテ御承知アリタク右爲念

～～～～～

973 昭和11年8月27日 在香港水沢總領事より  
有田外務大臣宛(電報)

ロジャースの香港再訪は廣東幣制改良援助のためであり粵漢・廣九兩鐵道連絡問題にも関与しているとの中國紙報道振りについて

香港 8月27日後発 本省 8月27日後着

第一一九號

先般「リースロス」ニ隨行セル「ロヂヤース」二十五日當地ニ到着セル處漢字紙所報ニ依レハ同人再來ノ目的ハ廣東幣制改良援助ノ爲ニシテ兼テ粵漢、廣九兩鐵道連絡問題ニモ關係アル趣ナリ

支、南京へ轉電シ廣東へ暗送セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

～～～～～

974 昭和11年9月3日 有田外務大臣より  
在中國川越大使、在中國武蔵大使館一  
等書記官、在南京須磨總領事他宛

本信宛先 支、北平、天津、南京  
(別紙)

昭和十一年八月二十二日着電  
倫敦監督役來電

を 號

ロジャース訪中に関する日銀ロンドン支店よ  
りの情報について  
亞一機密合第一四六八號  
昭和十一年九月三日  
在支 川越大使  
在北平 武藤書記官  
在天津 田尻總領事代理  
在南京 須磨總領事  
「ロジャース」ノ渡支ニ關スル件

今般日本銀行ヨリ本件ニ關シ在倫敦同行監督役ヨリ別紙を  
號及か號ノ通り來電アリタル旨通報アリタルニ付御参考迄  
右電報寫別添送付ス御查收相成度

以上英蘭銀行幹部ノモノヨリ内聞シタルハ極祕内報ス尙御参考マテニ申ス

Leith-Ross の仕事ハ先般ノ訪問ヲ以テ一段落ニテ萬一今後何事カアリトスルモ夫レハ外交機關ヲ通シテノコトナリ今度ノ件ハ全ク中央銀行間ノ事ニテ Rogers ハ獨立的立場ニアルコト特ニ説明シ居リタリ又支那ノ通貨及ヒ爲替安定ハ支那日本及ヒ英國二國經濟界ニ對シ頗ル有益ナルヘキ旨申居リタリ

終リニ Rogers ハ上海到着後日本ト直接又ハ間接ニ交渉ヲ爲スコトナルナラン而シテ英蘭銀行ニテハ同氏ヨリノ報告ヲ待チ今後ノ處置ヲ爲スモノト豫想セラル

八月二十一日發

昭和十一年八月二十七日着電

倫敦監督役來電

か  
號

本日英蘭銀行總裁ヨリ小役ニ對シ personal letter ヲ寄セ Rogers 支那行ノ事情ヲ説明シ之ニ付深井總裁ノ御援助ヲ希望シ來レリ右書面ノ大要左ノ如シ

Leith-Ross 歸英ノ時英國銀行員 Rogers ハ中央銀行創設ニ關シ advice ヲ與ヘル様支那政府ヨリ招聘ヲ受ケタリ、仍テ

## 在中国英國參事官へ注意喚起について

南京 9月22日後發

本省 9月23日前着

第七二七號

英發閣下宛電報第四八七號ニ關シ

本二十二日「ハウ」ノ談ニ依レハ「ロジャース」ハ四、五

日前來滬一日滯在ノ上廣東ニ赴キ宋子良ノ下ニ廣東幣制ノ

再建ニモ參畫中ナル趣ナル處本官ヨリハ「ハ」ニ對シ我方

ニ於テモ近ク稻森財務官上海ニ駐在スルコトナルヘキニ

付「ロ」ニ於テモ一中央銀行ノ使用人タルカ如キ吝ナル見

地ヲ棄テ大局的見地ヨリ支那ノ一般經濟財政問題ニ付稻森

ヲ始メ我方ト密接ナル聯絡ヲ保ツコト肝要ナリト申聞ケタ

ルニ「ハ」ハ之ニ同意シ「ロ」ニモ右様勸告スヘシト答ヘ

タリ  
支ヘ轉電セリ

支ヨリ在上海商務官へ轉報アリタシ

~~~~~

976 昭和11年10月2日

有田外務大臣宛(電報)

日中關係の緊迫を受けて中国政府が現銀の海

外積出しを進めているとの情報について

付記 昭和十一年十月六日付、東亞局第一課作成

「柏木正金取締役次官ヲ來訪ノ件」

上海 10月2日後發

本省 10月2日後着

第八三一號

「米支銀協定以來銀ノ積出ハ隨時行ハレ來レル所ナルモ九

月二十二日五百萬弗、九月二十六日一千二百萬弗、二十

九日四千萬弗(内一千二百萬弗ハ香港向尙香港向ハ三千

八百萬弗ナリトノ說アリ)ト引續キ積出アリタル爲時局

柄注意ヲ惹キ萬一ノ場合ヲ惧レテ積出シ居ルモノナリト解

スル向アリ上海市政府カ書類ヲ佛租界ニ移シタリトカ

上海各銀行保有ノ未發行紙幣ヲ杭州ニ密送セリトカノ噂

ト共ニ市場ニ不安ヲ與ヘ居ルモノノ如ク昨一日中央銀行

當局ハ銀積立ハ米國財務當局トノ協定ニ基クモノニシテ

銀ヲ外貨ニ換ヘレハ換ヘル程通貨ノ安定ヲ増加スルモノ

ナリ香港向積出ハ廣東銀行ノ六割準備カ一割七分不足シ

居ルヲ補フ爲ナリトノ「ステートメント」ヲ發表セリ

予之ヲ承認シ彼ハ Leith-Ross Mission ノ一員トシテ着手セル仕事ヲ新ナル資格ニテ繼續スルコトトナリ曰下上海ヘノ途中ニアリ、支那ノ中央銀行カ技術的ニ健全ナル基礎ノ上ニ創立セラルコトハ人々ノ希望スル所ナルヘシ、而シテ中央銀行家トシテノ立場ヨリ見テ只今 Rogers カ着手シ居ル仕事ヨリ重大ナル仕事ハアラサルヘク思惟ス、彼ハ孤獨ナルヘク援助ヲ要スルコトアラン、英蘭銀行モ當地ヨリ援助致度、但彼ノ personal independence ハ慎重ニ尊重スル考ナリ、日本銀行モ亦彼ノ仕事ノ促進ニ好意ヲ有セラルコトト存シ仍テ茲ニ Rogers 現在ノ mission ノ性質ヲ説明スル次第ナルカ若シ貴殿カ深井總裁ニ對シ電報ヲ送リ總裁カ彼ニ對シ一般的同情ト必要ニ際シ機宜ノ援助ヲ與ヘラル様ニ御依頼下サルナラハ仕合ナリ。

右ニ對シ本日英蘭銀行總裁ニ對シテハ右書面受領及深井總裁ニ其電報セル旨回答シ置ケリ。 八月二十六日發

975 昭和11年9月22日 在南京須磨總領事より 有田外務大臣宛(電報)

ロジャースが日本側と密接な連絡を保つよ

(矢吹カ中央銀行席。德懋ニ尋ねタルニ略同様ノ答ヲ爲シ
銀ハ必スシモ其ノ土地ニナクトモ準備タリ得ルモ廣東ニ
ハ特殊ノ事情アリテ見セ金ヲ必要トスト説明シ居タル由
尤モ廣東方面ノ在銀ハ銀行ノ金庫カ手狭ナリトテ却テ廣
東ヨリ香港ニ送付シ居ルヤノ噂アリ)

三、先般來時局ニ拘ラス意外ニ平靜ナリシ市場(棉花、綿絲
ハ寧ロ好況ナリキ)ハ前述ノ如キ噂ノ爲カ中秋ノ決算期
明ケノ昨一日ヨリ相當動搖ノ兆アリ公債ハ一弗二十仙乃
至一弗八十仙方下落シ棉花、綿絲等モ相當下落シ爲替モ
先物買多ク乘替鞘擴大シ「レート」モ弱含ナリ(但シ中
央銀行建値ヲ變更スルニ至ラサルハ勿論ナリ)

北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

(付記)

柏木正金取締役次官ヲ來訪ノ件

(一一、一〇、六、次官口述島津記)

十月六日正金銀行柏木取締役堀内次官ヲ來訪シ今朝上海支
店ヨリ接到セル電報ニヨレハ最近二週間内ニ上海ヨリ六千
五百萬弗ノ現銀ヲ香港ニ輸送シ又四千六百萬弗ノ現銀ヲ米

國ニ送レル模様ニテ上海市場ニハ殆ント現銀ナクナレル譯
ナリ(本邦銀行ハ約一千萬弗所持シ居レリ)右ニ付テハ支那
側ト英、米兩國トノ間ニ何等カ默契アル模様ニシテ右ノ措
置ハ時局ニ關係アルモノノ如シトノコトナリ。右ハ或ハ幣
制維持困難ノ爲取レル措置ナルヤモ知レサルモ日支交渉ノ
急迫セル爲ニ非スヤト尋ネタルニ付次官ヨリ日支交渉ニ關
スル政府ノ方針及最近川越、蔣間ノ交渉開始サレントシツ
ツアル次第ヲ説明シ置ケリ

977 昭和11年10月7日 在ニユーヨーク井上總領事代理より
有田外務大臣宛(電報)

上海より英米両国および香港に大量の現銀が
輸送されたとの米國紙報道について

第一〇六號
ニューヨーク 10月7日後発
本 省 10月8日前着

七日「デヤーナル・オブ・コンマース」及「ウォール・ス
トリート・デヤーナル」兩紙ハ上海發路透通信(倫敦經由)
トシテ紐育、倫敦及香港向大量ノ銀輸出サレタル爲現在上

海ニアル銀「ストック」ハ約四千百萬支那弗ニ過キス右殘
額モ近ク輸出セラルヘク然ルトキハ支那ノ正貨準備ハ凡テ

外國ニ於テ「イヤー、マーク」セラルコトトナル處右政

策ノ一原因ハ支那カ日本ノ意圖ヲ恐ルルカ爲ナリトノ報道
ヲ掲ケ又六日香港發「ユー、ピー」ニ依レハ最近上海ヨリ

同地ニ流入セル銀塊ハ「フーヴアー」及「グランド」號ニ

依ルモノ二千八百萬支那弗ナルカ更ニ六日稅關巡邏船

Haihsing 號ニ依リ二百萬弗ノ銀輸入ヲ見タル由ナリ尙當地

Dow Jones Co.(代表的經濟、金融「ニュウス」配給者ニシ

テ「ウォール・ストリート・デヤーナル」ノ發行者)カ九

月二十八日上海ヨリ得タル情報ニ依レハ二十九日同地發

「マツキンレイ」號(十月十四日「シャトル」著ノ豫定)ニ

ハ八千萬元ノ米國向銀塊カ積込マレ居ル趣ナリ
英、米、「シャトル」ニ郵送セリ

~~~~~

況につき報告

付記 昭和十一年十一月二十四日付、東亜局第一課

作成

「日支經濟問題ニ關スル吉田三菱銀行上海支

店長談」

(接受日不明)

昭和十一年十月十三日

在上海大使館商務書記官

岩井 光次郎(印)

外務大臣 有田 八郎殿

支那ニ於ケル紙幣發行並ニ舊紙幣回収其他諸事情

ニ關スル件

支那ニ於ケル紙幣發行ノ特權ガ昨年十一月三日ノ幣制改革

後中央、中國、交通ノ三政府銀行ノ掌中ニ收メラレ其ノ發

行高ハ舊紙幣ノ回収ト共ニ激増シツツアル處支那政府財政

難ノ折柄兎角ノ噂ヲ唱ヘラレ一般ヨリ注目セラレツツアレ  
バ其ノ近況ヲ御参考迄ニ御報告申上グルニ付

本信寫送附先 在支、滿大使 上海 天津 青島 濟南

978 昭和11年10月13日

在中國岩井(光次郎)大使館商務書記  
官より  
有田外務大臣宛

南京 漢口 廣東 香港 廈門 計

## 一、銀行券發行高及舊紙幣回收高

支那ニ於ケル紙幣發行ノ特權ガ昨年十一月三日ノ幣制改  
革ニ依リ中央、中國、交通ノ三政府銀行ノ掌中ニ收メラ  
レ、之ニ中國農民銀行ガ一億弗ヲ限度トシテ紙幣ノ發行  
ヲ特許セラレタルヲ除キ其他各民間銀行ノ既發舊紙幣ハ

上記三銀行ニヨリテ漸次回収ノコト、セラレテ以來、茲  
二十ヶ月、三政府銀行ニヨリ紙幣發行高ノ遞増ノ程度並

ニ民間諸銀行ノ舊紙幣ノ回収成績ハ如何ト云フニ、之レ

ニ關シ八月末現在紙幣發券流通總額ハ十億四千九百十三  
万四千弗ニシテ今其ノ内譯ヲ示セバ左ノ如シ

| 銀行別    | 一九三六年八月末     | 七月末          |
|--------|--------------|--------------|
| 中央銀行   | 三〇五、五七五、〇〇〇弗 | 三〇〇、八二八、〇〇〇弗 |
| 中國銀行   | 三七七、四七七、〇〇〇  | 三五九、六七七、〇〇〇  |
| 交通銀行   | 一〇六、四六六、〇〇〇  | 一二一、〇七〇、〇〇〇  |
| 中國農民銀行 | 六六、二七七、〇〇〇   | 六〇、二〇〇、〇〇〇   |
| 民間八銀行  | 七〇、〇〇〇、〇〇〇   | 一一三、〇〇〇、〇〇〇  |
|        | (×ハ推定)       |              |

即チ民間八銀行ノ未回収發券流通高ハ七千三百万弗トナ  
リ、之ヲ昨年十一月ノ二億一千万弗ニ比スレバ殆ンド三  
分一ニ激減シ居リ、約六五%ノ回収ヲ見タル譯ニテ相當  
ノ成績ヲ示シ居レルガ更ニ七月末流通高ニ比スル時ハ約  
三〇%ノ回収率ヲ示シ居レリ、併シ七月末ノ數字ガ一ツ  
ノ推算ニ出ズルモノナル限り其ノ割合自体ニハ直チニ眞<sup>値</sup>

## 註、之ニ對スル發券準備額ハ

一九三六年八月末現在

現銀準備

保證準備

|      |              |             |
|------|--------------|-------------|
| 中央銀行 | 一〇四、六七七、〇〇〇弗 | 一〇八、一六、〇〇〇弗 |
| 中國銀行 | 三六、三五、〇〇〇    | 一五、〇六、〇〇〇   |
| 交通銀行 | 一六、〇六、〇〇〇    | 六〇、三五、〇〇〇   |

ヲ置クヲ得ザルナランモ、其ノ傾向ハ十分觀取セラレ得  
ルト思フナリ、恐ラク年末迄ハ殆ンド全部ノ回収ガ期待  
セラルニアラザル乎  
他方政府銀行ノ發行高ハ昨年十一月末ノ五億四千二百九  
十六万四千弗ニ比スレバ三億三千六百八十九万三千弗ノ  
増加デアリ、之レハ一面現銀使用禁止後ノ通貨需要ヲ充  
タスト同時ニ、他面民間銀行發行券回収ニ對スル補充ノ  
爲メト觀ラル<sup>(註)</sup>

## 三、幣制改革及支那ノ財政金融

日支經濟合作ノ場合日本側ニ於テ常ニ問題トナルハ支那

幣制ノ見透ナルカ改幣ハ少ク共過去一ヶ年ニ於テハ八、  
九分程度ノ成功ナリト言フモ過言ニ非ルヘシ奥地ニ於テモ大体三銀行紙幣カ流通シ居ルカ如ク唯舊銅貨カ一般商  
人ニ喜ハレ居レハ<sup>(倉)</sup>新銅貨トノ交換比率ノ關係ナルカト思  
ハル銀ハ先般來上海ヨリ香港ニ送ラレ上海ハ皆無トナリタル  
カ香港ニ「デボジット」セラルモノト稱セラレタルモ

ニシテ積動キハ上海事件以來ノ數字ヲ示シタリ、唯十月  
以來長江筋ノ支那人カ日清汽船ニ託送スルコトヲ差控ヘ  
ニ付概要左ノ如ク語レリ  
一、日支經濟關係  
最近ノ不祥事變續發中ニ於テモ日本品ノ賣行極メテ順調  
ニシテ積動キハ上海事件以來ノ數字ヲ示シタリ、唯十月  
以來長江筋ノ支那人カ日清汽船ニ託送スルコトヲ差控ヘ

## (付記)

日支經濟問題ニ關スル吉田三菱銀行上海支店長談

(一)、(二)、(三)、(四)、(五)

十一月二十四日吉田三菱銀行上海支店長桑島局長ヲ來訪、  
日支經濟關係、幣制改革、上海ニ於ケル在留邦人ノ希望等

ニ付概要左ノ如ク語レリ

一、日支經濟關係

最近ノ不祥事變續發中ニ於テモ日本品ノ賣行極メテ順調  
ニシテ積動キハ上海事件以來ノ數字ヲ示シタリ、唯十月  
以來長江筋ノ支那人カ日清汽船ニ託送スルコトヲ差控ヘ

註、茲ニ民間八銀行トハ四行準備庫、中國實業、中國農工及農  
國通商、四明、浙江興業、墾業、中國農工及農  
商ノ各行ヲ指シ其中浙江興業ノ流通高最モ少ク、  
通商、四明、中國實業ノ分ハ可ナリ多ク回収未  
濟トナリテ流通シ居ルモノト觀ラレ居レリ

註、之ニ對スル發券準備額ハ

ク」シテ米國邊リヨリ「クレヂット」テモ得ントシ居タルモノニ非ルカ)從テ政府ノ所有銀ハ廣東ニ約七千萬弗(臺銀ニテ)北支ニ約五千萬弗其他トナリタル次第ナルカ管理通貨制度ヲ採ル上ハ準備ハ從來ノ如ク重要視スルノ要ナキヤニ認メラル、米支銀協定中支那ニ準備銀ノ約二割五分ヲ置クトノ條項アリタルヤニ傳ヘラレタルモ陳光甫ハ紳士的希望ニテ約束ニ非リシ旨言明シ居レリ又本協定ハ上海ノ積出カ完了セハ終了スヘキ性質ノモノト解セラル、上海皆無トナルモ管理通貨ニハ支障ナカルヘク問題ハ爲替資金ナルヘシ

支那側ノ「インフレ」ハ未タ起リ居ラスト認メラル最近三銀行等ノ發券高ノ増加セルハ主トシテ廣東ニ於ケルモノト認メラレ又農產物等ノ出廻リノ關係上自然増發セラレタルモノナリ

將來ノ見透シニ付考慮スヘキハ( )餘リニ中央遍重<sup>(備考)</sup>、蔣介石集中主義ナルコトニシテ三銀行ノ貸出等ノ半額ハ政府ノ對スルモノナリ宋子文等ハ稍警戒的態度ヲ持シ居ルモ餘り政府萬能ノ金融財政策ハ破綻ノ基ナルヘシ( )英米獨ノ外的援助カ最初一ヶ年ノ成功ニ寄與セル所大ナルモノ

變更ヲ招來スルモノニハ非ルヘシ、「リ」ノ言ハントセル所ハ要スルニ金融カ軍閥政府ノ左右スル所トナルカ如キコトヲ避ケ其ノ人ヲ得ルコト必要ナリト言フニ有リタルカ如シ(「ローデヤース」ハ歸國スルト稱シテ廣東ニ三ヶ月位滯在シ同地ヲ視察セルモノナリ)

三、上海在留邦人ノ希望

## (イ)對支輸出信用保譲問題

是非實現方御考慮アリ度商工省ニテモ研究中ノ由ニテ品種、支那側相手方等ノ問題ニ付研究回答方同省ヨリ依頼サレタリ

(ロ)在留邦人ノ意見取纏機關

殊ニ中小商工業者ノ希望アリ外務省ヨリ諮詢等爲シ吳レレハ非常ニ歡迎スヘシ、各地商工會議所聯絡ノ問題モ考慮スヘキナリ

~~~~~

979 昭和12年2月15日 在中國川越大使より 林外務大臣宛(電報)

中央銀行改組問題に關し前途樂觀を許さずと
の見通しをホール・パッチ内話について

アリ、當初ニ於ケル英國ノ好意的態度及之ニ次ク種々ノ援助更ニ今回ノ「カーケパトリック」派遣ヲ廻ル對支「クレヂット」問題、米支協定、獨支「クレヂット」等ノ補強工作カアリタル爲ナリ、將來日本カ好意的態度ヲ示セハ可ナリ有效ナルヘク又支那側ヲ指導シテ日本援助ヲ請ハシムルコトカ必要ニ非ルカ

過去ノ實績ヲミルニ輸入代金ノ延拂、農產物輸出、華僑ノ送金等何レモ支那側ノ好都合ニ取運ヒ國際收支モ受取勘定ニナリ居ルニ非スヤト思ハルル位ナリ

三、中央銀行改組問題

政府ト銀行トノ關係カ今日ノ如ク密接トナリタルハ初メ銀行ヲシテ有利ナル政府公債ニ投資セシメ張公權等カ過當引受ニ難色ヲ示スヤ之ヲ他ニ移シ漸次公債引受ヲ命令スルニ至リタリ、其ノ間三銀行增資等ニ依リ政府ノ金融權掌握工作ハ着々進行シタルナリ、其ノ目的カ蔣政權ノ強化ニアリヤ國民經濟ノ建直シニアリヤハ別問題ナリ「リースロス」ノ提倡ニ依リ「ロージャース」カ從事シ居レル中銀改組問題ハ理論上右傾向(世界的傾向)ニ正面衝突スルモノニシテ結局ハ形式的ニテ御茶ヲ濁シ實質的

付記 昭和十二年二月十五日付台灣銀行東京支店より外務省東亞局宛報告
中央銀行改組案の内容について

上海 2月15日後発
本省 2月15日夜着

第八五號

往電第八一號ニ關シ

十五日「ホールパツチ」ハ曾彌^(備考)ニ對シ本件ハ未タ中政會ヲ通過シタルモノニアラサルモ其ノ「サブコミティ」ノ議決ヲ經タルモノナルカ其ノ前途ニハ猶幾多ノ障礙アルヤニ認メラレ(元來政府側ニテハ財政ノ遭繩ニ都合好キ制度ヲ欲シ居ルヲ以テ發券銀行ノ統一ハ望ム所ナルモ中銀ノ獨立制ヲ好ム筈ナク又中銀ノ中央信託局、貯蓄業務等ノ兼營ヲ容易ニ思切ラス)骨抜トナラサルヤ懸念シ居ル處假ニ大體原案通りニ決定セル曉ニ於テモ創業後三箇月位ノ間ノ試練期間ニ耐ヘ得ルヤ中國通商、實業及四明等不良銀行ノ整理(一月二十日附機密第三六號拙信)ノ如キ「リースロス」歸國前ヨリ發券統一ノ前提條件トシテ「プログラム」ニアリタルモノカ今日漸ク其ノ緒ニ就カントスル有様ニ鑑ミルモ

必スシモ樂觀ヲ許サスト述へ新銀行ノ資本及出資割合ニ付

テハ冒頭往電〔李銘情報ヲ肯定シ同〔總裁ニ付テハ恐ラク

孔ハ自分ニ都合好キ人物ヲ當ツル積リナランモ對外信用ノ

點ヨリモ一流ノ銀行家ヲ据エルコト極メテ肝要ト認ムル旨

述ヘ居タル由ナリ何等御参考迄(發表見合セラレ度シ)

支、在支各總領事、北平、香港へ轉電セリ

(付記)

昭和十二年二月十五日

株式會社臺灣銀行東京頭取席

支店課長 玉置 仁知(印)

外務省

東亞局長殿

支那中央銀行改組ノ件

拜啓右件ニ關シ弊行上海支店ヨリ別紙寫ノ通り報告越候間

御参考迄御移報申上候

敬具

(別紙)

ヤニ傳ヘラルルモ案ノ内容不明」

御線信申上置キタル次第ナルカ、更ニ本日中國側有力筋ヨ

リ本件ニ關シ左記ノ通り仄聞セリ

一、中央銀行改組案ハ本日ノ中央政治委員會ヲ通過セリ、其

ノ骨子左記ノ通り

(イ)現在ノ中央銀行〔Central Bank of Issue〕改組シテ發行權ヲ統一シ、同行以外ノ發券銀行ノ紙幣ヲ回收スルコト

980 昭和12年6月10日 在上海岡本總領事より

廣田外務大臣宛(電報)

中央準備銀行の成立が近いことなどを材料とする公債市場の急騰振りについて

上海 6月10日後発
本省 6月10日夜着

第三五六號

⁽¹⁾ 最近公債市場ノ奔騰著シク統一甲種公債ノ如キハ八日八

二ヲ民間銀行ニ、五分ノ一ヲ公衆ニ振當ツ、但シ個人ノ保有額八十萬元ヲ限度トスルコト

ハ株式ニ對スル利息ヲ年八分トシ、利益配當ハ右利息ノ八分ヲ含メ年一割ヲ超エサルコト

一割以上配當シ得ル利益アルトキハ之ヲ準備金トシテ積立ツルコト

尙何レ詳細判明次第改メテ御報告申上クヘキモ不取敢聞込ミタル儘ヲ御報告申上ク

昭和十二年二月十日

臺灣銀行

上海支店支配人

東京頭取席支店課長

中央銀行改組ノ件

幣制改革後ニ於ケル善後工作ノ一トシテ現在華商商業銀行ニ伍シテ一般銀行業務ヲ取扱ヘル中央銀行ヲ先進諸國ニ於ケルカ如キ純然タル中央銀行トシテ發行權ヲ統一シ且ツ其ノ資本金モ從來全額政府出資ニ依リ恰モ政府ノ一機關ノ如キ觀アルヲ以テ今後之ニ獨立性ヲ與ヘ、且ツ中國財界トノ關係ヲ密接ナラシムルト共ニ內外ニ於ケル信用ヲ昂ムル爲之カ一部ヲ民間ニ解放スヘシトノ改組案ハ幣制改革直後ニ於ケル孔財政部長ノ聲明並ニ昨年五月米支銀協定締結ノ際ニ於ケル米國ノ忠告ニヨリ屢々具体化ヲ傳ヘラレナカラ今日ニ至ル迄實現ヲ見サリシカ、政府ハ極秘裡ニ其準備ヲ進メ居リタルモノノ如ク愈々成案ヲ得、蔣介石ノ内閣ヲモ經テ本日開催ノ中央政治委員會ニ附議スル運ヒトナリタル趣昨日情報ニ接シタルニ付即日左記ノ通り

「中央銀行改組案、明日中央政治委員會ニ附議セラルル

~~~~~

以上

(ロ)二付テハ廣梅鐵道及滇黔鐵道ノ材料借款ハ成立スルモノト承知シ居ルモ其ノ他浦信鐵道借款及幣制借款ニ付テハ噂ハアルモ事實ニハアラサルヘク

(イ) 内債發行ニ付テハ孔祥熙ノ歐米ニ於ケル交渉ノ日鼻判  
然スル迄ハ政府トシテハ眞面目ニ考慮スルニ至ラサル  
ヘク

又市場ノ引受能力モ疑ハシキニ付一億弗ノ巨債ノ發行說

ハ遠ニ信用シ得ス但シ一般ニハ(イ)及(イ)ニ付テハ臆測アル  
上投機熱モ手傳ヒ市場強氣ナリト思考シ居レリ

二、綿糸市場ハ本年年初以來強氣ニテ賣手氣乘セサルニ拘ラ

ス相場ハ天井知ラスニテ奔騰シ九日ニハ市場閉鎖セラレ  
十日モ場立タサル處今迄ノ契約高七、八十萬俵ナルニ比

シ現物不足ノ爲目下解合商談中ナリ右強氣ノ原因ニ付一  
時ハ統稅値上ヲ見込ム買占ナルヘシトノ說アリタルカ  
(往電第二四四號御參照)最近ニ於テハ外債成立ヲ見越シ  
テノ「インフレ」ヲ恐レ物資ニ投資スルモノナリトモ傳  
ヘラレ又同取引所(月百五十萬ノ純益アル外他事業ニ融  
通シ得ル保證金ノ供託高千萬圓ヲ下ラサル由)ヲ乗取ラ  
ントスル策動ニ起因ストモ噂セラレ引續キ注意中

支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

~~~~~

三、綿糸市場ハ本年年初以來強氣ニテ賣手氣乘セサルニ拘ラ

ス相場ハ天井知ラスニテ奔騰シ九日ニハ市場閉鎖セラレ
十日モ場立タサル處今迄ノ契約高七、八十萬俵ナルニ比

シ現物不足ノ爲目下解合商談中ナリ右強氣ノ原因ニ付一
時ハ統稅値上ヲ見込ム買占ナルヘシトノ說アリタルカ
(往電第二四四號御參照)最近ニ於テハ外債成立ヲ見越シ
テノ「インフレ」ヲ恐レ物資ニ投資スルモノナリトモ傳
ヘラレ又同取引所(月百五十萬ノ純益アル外他事業ニ融
通シ得ル保證金ノ供託高千萬圓ヲ下ラサル由)ヲ乗取ラ
ントスル策動ニ起因ストモ噂セラレ引續キ注意中

支、北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

~~~~~

981 昭和12年7月7日 在天津埠内總領事より  
當地上海商業銀行經理資糧華(出所極祕)カ中央銀行改組問題  
題ニ關シ館員ニ洩ラセル内話要領左ノ通り

一、中銀改組ノ目的ハ國內金融統制及幣制ノ確立等ニアルコ  
ト勿論ナルカ直接的動機ハ經濟建設資金トシテノ對英一千五百萬磅商品借款ヲ成立セシムル爲ノ前(提)條件トシ  
テ英國側ニ慾憲セラレタル結果ニシテ財政部當局ハ遲ク  
モ本年末迄ニハ改組實行ヲ期シ居レリ

二、中銀改組ニ伴フ困難

(イ) 英國側ハ南京政府ノ中銀濫用ヲ懸念シ政府ニ對スル貸  
出利拂保證等ヲ禁止若クハ制限スル等幣制金融ノ完全  
ナル獨立ヲ希望シ立法院ハ之ニ贊意ヲ表シ居レルモ財  
政部及行政院當局ハ不滿ヲ表シ居レリ

天津 7月7日後発  
本省 7月7日後着

中央銀行改組の目的や改組に伴う懸念等に關する金融関係者内話について

1292

以上ノ如キ事情ヨリ年内ノ中銀改組ハ實ハ甚々疑問視セ

ラレ居ル次第ナリ

三、英國ハ曩ニ宋子文ヲ通シテ廣東銀行、華南米業公司ヲ興  
ス等南支ノ金融、經濟ノ支配權確立工作ヲ進メ居レルカ  
今次ノ中銀改組モ全支ニ於ケル此ノ種工作ノ下心ニ出テ  
居ルコトハ勿論ナルヘシ

支、在支各總領事、北平ヘ轉電セリ

廣東ヨリ香港ヘ轉報アリタシ

~~~~~

982 昭和12年7月10日 在米国齋藤大使より
広田外務大臣宛(電報)

米中銀協定成立に關する米國財務長官と中國

財政部長の共同声明ならびに兩人記者會見に

関する報道振り報告

別電 昭和12年7月10日發在米国齋藤大使より広
田外務大臣宛第二四三号

右共同聲明

(イ) 河北省銀行券ノ回収ハ對日政治問題ノ解決ヲ見ルニア
ラサレハ實行不可能ニシテ極メテ困難ヲ豫想セラレ居
ル處現在ノ處全ク其ノ日暮スラ付カサル狀態ナリ

1293

ワシントン 7月10日後発

本省 7月11日後着

十日當地新聞ハ別電第一四三號米支協定成立ニ關スル九日附「モルゲンソーザ」長官及孔祥熙ノ共同聲明ヲ掲載スルト共ニ右兩人ノ新聞記者會見ノ模様並ニ本件ニ關スル各種消息ヲ傳ヘ居レルカ要旨左ノ通り

一、今回ノ協定ハ米支兩國間ノ經濟關係ヲ接近セシムル以外

ハ日本ノ侵略ニ對スル抵抗ヲ可能ナラシムモノナリ
(華府「ポスト」)

二、本協定ハ實際米支兩國間ニ交換セラルヘキ金銀ノ額ヲ明

カニシ居ラサル處右ニ關シ孔及長官ハ記者ノ問ニ對シ銀

投機ニ利用セラル惧アルヲ以テ此ノ際發表セサルコト

然ルヘシトノ意見ニ一致セル旨答ヘタルカ大藏省方面ノ
説明ニ依レハ所謂 substantial amount トハ一千又ハ五千
萬弗程度ナルヘシトノコトナリ「モ」ハ支那ニ賣却セラ
ルヘキ金ハ大藏省死藏金塊ヨリ充當セラルヘキモ金ハ現
在十一億四千四百五十一萬七百四十三弗ニ上り居リ且毎
週巨額ノ增加ヲナシツツアルコトヲ考慮ニ容ルルトキハ
本件賣却ニ依リ死藏問題解決上何程ノ效果アリヤハ疑ハ

英へ轉電シ紐育、桑港、加、伯、墨へ郵送セリ

別電ト共ニ英ヨリ在歐各大使ヘ郵送アリタシ
(別 電)

ワシントン 7月10日後發

第一四二號

一九三六年大藏長官ト支那財政部長トノ間ニ行ハレタル會
談ノ結果生ジタル通貨協調ハ支那國內經濟及米國貿易ノ雙

方ニ利益ヲ與ヘツツ支那ノ新貨幣制度運用ニ貢獻シ來リタ

ルカ今ヤ吾人ハ昨年ノ協調ニ更ニ一步ヲ進メタルコトヲ聲

明ス(トテ昨年ノ兩國當局ノ聲明要旨ヲ摘錄ス)今回ノ協定

ニ依リ支那政府ハ米國ヨリ多額ノ金ヲ(substantial amount)

購入シ米國大藏省ハ右ニ依リ支那政府ノ金準備増加ヲ援助

スル爲且一九三四年ノ銀買上法ノ條項ニ從ヒ支那政府ヨリ

更ニ銀ヲ購入スヘシ米大藏省ハ又從來支那中央銀行ヲシテ

通貨安定ノ爲兩國ノ利益擁護ノ條件トシテ弗爲替ヲ獲得セ

シメタル取極ノ範圍ヲ擴大ヘシ大藏長官及財政部長ハ昨
年ノ了解ヨリ生ジタル有益ナル結果ニ對シ頗ル満足スルト

三、本件金塊賣却値段ハ一「オンス」三十五弗ニテ數量四分
ノ一%ヲ加ヘタルモノトシ支那ヨリノ銀買入値段ハ一般
相場ニ依リ一「オンス」約四十五仙トスルト共ニ銀ノ受
入ニ對シテハ同時ニ同額ノ銀紙幣ヲ發行スヘキヲ以テ少
クトモ一時ハ通貨ノ膨脹ヲ見ルコトトナルヘシ
四、孔ハ支那ハ米國ニ於テ購入スヘキ金ハ之ヲ米國ニ置ク方
針ニシテ右カ結局支那ニ於ケル紙幣準備トシテ使用セラ
ルル限り何處ニ於テ保有スルモ差支ナク支那ノ金保有增
加ハ支那ノ貨幣制度ニ關スル信用ヲ高ムルコトトナルト
語レリ

五、「モ」ハ本協定ハ出來得ル限り速ニ實施スヘク既ニ紐育
準備銀行總裁「ハリソン」ト金及銀ノ實際的取引方法ニ
付協議セリト語リ又同様ノ協定カ他ノ國トモ結ハルヘキ
ヤ否ヤニ付テハ明言セサルモ伯刺西爾財政當局トノ商議
ハ或ハ斯ル結果ヲ生スルヤモ知レスト見ラレ居レリ
六、本協定ハ英、米、佛三國協定トノ關係ニ付テハ米支協定
ハ米支兩國間ノ聯繫カ世界各國ノ對外爲替強化ニ貢獻ス
ル以外ニ直接關係ナシト「モ」ハ答ヘタリ

共ニ兩者ノ協定ニ更ニ一步ヲ進メタルコトヲ聲明シ得ルヲ
欣フ尙支那ノ幣制改革及通貨安定ノ計畫カ大ナル成功ヲ收
メタルコト及右ハ同時ニ支那ト諸外國殊ニ支那ノ對外貿易
ニ第一位ヲ占ムル米トノ貿易増進ヲ伴ヒタルコトモ兩者ノ
等シク滿足スル所ナリ(以下略)

983 昭和12年7月15日 在ニューヨーク若杉總領事より

付記 広田外務大臣宛(電報)

今次調印の米中銀協定には為替安定のための

クレジット提供を含むとの報道について

ルカ今ヤ吾人ハ昨年ノ協調ニ更ニ一步ヲ進メタルコトヲ聲

明ス(トテ昨年ノ兩國當局ノ聲明要旨ヲ摘錄ス)今回ノ協定

ニ依リ支那政府ハ米國ヨリ多額ノ金ヲ(substantial amount)

購入シ米國大藏省ハ右ニ依リ支那政府ノ金準備増加ヲ援助

スル爲且一九三四年ノ銀買上法ノ條項ニ從ヒ支那政府ヨリ

更ニ銀ヲ購入スヘシ米大藏省ハ又從來支那中央銀行ヲシテ

通貨安定ノ爲兩國ノ利益擁護ノ條件トシテ弗爲替ヲ獲得セ

シメタル取極ノ範圍ヲ擴大ヘシ大藏長官及財政部長ハ昨
年ノ了解ヨリ生ジタル有益ナル結果ニ對シ頗ル満足スルト

依レハ同協定ハ銀ヲ現ニ米ニ現送賣却スルコトナクシテ米國ニ在ル(Journalニ依レハ米國以外ヲモ含ム)支那所有金銀ヲ擔保トシテ米ハ支那ニ對シ弗及銀爲替ヲ融通スル旨ノ規定ヲ含ム由ニテ(客年ノ協定ニ從ヘハ「カカウラ」借款ハ單ニ米ニ現實ニ支拂ハレタル銀ト交換シテノミ得ラレタリ)尤モ右借款ハ爲替安定ノ爲ノミニ使用サルヘキ趣報シ尙此ノ規定ハ戰債不拂國ニ對スル前例トナリ得ヘシ等報シ又某記者ヨリ中立法ノ下ニ於テ日支戰爭ノ場合米國ハ支那ニ對シ如何ナル形式ノ借款ヲモ許與シ得ルヤト問ヒタルニ對シ長官ハ之カ回答ヲ拒絕セル旨報セリ

米ニ郵送セリ

(付記)

米支銀協定ニ關シ

一三、七、一九通、二

一九三六年五月十七日附ヲ以テ成立セラレタル米支銀協定ニ對シ米國ノ政策ハ大体二箇ノ目的ヲ有シテキタモノト見受ケラレル、即チ其ノ一ハ支那幣貨ヲ援助スルコトテアリ他ハ米國ニ於テ七千萬「オンス」ト稱セラル遊動銀市場

ヲ脅スコトヲ之ニ依リ防止シヤウトシタ米國式考方ニ依ルモノテアツタ。本協定ハ支那ノ幣制政策ヲ強化スルモノトシテ支那ノ爲メニ利益テアリ又米國トシテハ其ノ既ニ有スル六億弗カラノ莫大ナ保有銀ノ市價ヲ維持シナケレハナラヌ一方支那カ米國商品ノ重要市場テアルカ爲之ヲ維持シテ支那ノ通貨安定ニアルモノテアル支那ノ利益ノ爲メニ又米國カ一九三四年設定シタ銀買上法ニ由ツテ支那ニ與ヘタ「トラブル」ノ代償テアルト主張シテキル即チ米國カ一九三四年議會ニ於テ可決シタ金三銀一ノ割合ニ達スル迄銀ヲ購入スルト云フ銀買上法ノ設定ニ由ツテ銀ヲ買フ必要ニ迫ラレ支那ハ從來ノ傳統的ノ買手タツタノカ米國政府ノ銀購入ノ結果國內ニデフレーションカ起リ余儀ナク銀本位ヲ棄テ銀ノ賣方ニ廻ハラナケレハナラヌ一方支那トシテ新通貨ノ保證トシテ金ヲ米國カラ支拂ツテ貰ハナケレハナラヌ狀態ニ立チ至ツタ譯テ米國ハスウシタ支那ニ與ヘタ「トラブル」ノ代償トシテ本協定ヲ結ンタ以外ニ政治的意味ハ毫モ有シテ居ナイト主張シテキル事實ハ支那トシテモ今日迄ノ

所元ノ相場ヲ弗及磅ノ關係ニ於テ比較的安定シ來ツタモノテ支那國內ニ於ケル支那紙幣ノ不信用ハ大都市ハ左程テハナイカ奥地ニ於ケル紙幣ノ購買力ハ銀ニ比シ遙ニ少ク從テ大衆ニ對シ紙幣カ銀ト同一ニシテ同等ノ購買力ヲ有スル所以ヲ確知セシムルニハ支那政府カ之ヲ安定スルコトカ絕對ニ必要テ之カ爲メニハ支那ハ海外ニ多大ノ爲替安定資金ヲ所有シナケレハナラナイ從而該目的達成ノ爲メニハ唯一ノ手段トシテトウシテモ所有ノ銀ヲ處分シ外國爲替乃至金ニ代ヘ畢リ銀ヲ銀ニ結合セシムル必要カアツタト云フコトハ言ヒ得ラルヤウテアル。然シ本協定ノ内容ノ發端カ右ノ様ナ原因ニ存スルトシテモ之力附帶事項トシテ外部カラ種々推測サレテキル、或ルモノハ借款ノ爲テアルトカ、或ルモノハ米國カラ武器ノ輸入ヲスル爲メテアルトカ又「クレデット」設定スル爲タトノ風説カアル然シ勿論米國ニ於テモ支那ニ於テモ極力之ヲ否定シテキル。

何シロ銀協定ハ口約ヲ以テシタル紳士協定テアルト云ハレテキテ若シ米國カ銀ノ買上ヲ慾シナカツタ場合ニハ何時ニテモ破棄出來ルヤウニナツテキルヤウテアル。昭和十一年七月本協定ノ爲渡米シテキタ陳光甫及邦人銀行家トノ會談

ニ於テ右ノ様ナ次第カ確メラレタカ、右ニ依レハ
「本協定ハ軍需品ノ購入ニハ絶對ニ關係ナシ
一、支那ノ方テハ發行紙幣ニ對シ銀準備二割五分丈ケ持ツコト、銀ヲ新ニ鑄造スルコト、銀ノ使用ニ對スル制限ヲ拠棄スルコトノ三項ヲ約シ之ニ對シ銀ヲ購入セシムルコト
一、支那カラ米國ニ賣却シ得ル銀ノ量ニ付イテモ其ノ最低トカ最高トカノ價格ニ付イテモ又有効期間ニ付イテモ何等制限ナシ唯米國ノ買入相場ヲ銀受渡シ當日以前ノ一週間ノ平均相場トスルコト
一、銀カ米國ニ到着シタ時米國テ之ヲ買フコトカ出來ナカツタ場合ニハ一「オンス」四〇仙ノ割合テ米弗ヲ貸シテ貰フコト
一、若シ米國テ銀ヲ買ハヌ場合ハ之ヲ倫敦ニ賣却スルモ差問ナキコト
等ニシテ支那ハ販貨ニ「リンク」スルト云フ問題ハ之ヲ否定シ、米國モ支那カ獨立シタ通貨制度ヲ維持スルコトニ満足シ新銀發行ニ就キテハ五十仙及一弗貨ヲ新補助銀貨トシテ發行スルモ一弗貨ハ之ヲ後廻トスルコト、及紙幣發行準備中最低一割五分現銀保有ヲ要スルコト等ヲ語リ中國ハ米

七 中国をめぐる列国との関係

1 英国との関係

984

昭和11年1月20日

在漢口三浦総領事より
広田外務大臣宛(電報)

英國による対中借款は当面実現の可能性がな
いとのリース・ロス観測について

漢 口 1月20日後発
本 省 1月21日前着

第三號
往電第九號ニ關シ

(一)「リースロス」ハ二十日飛行機ニテ重慶ニ向ヒタルカ十
八日「リ」ハ支那人記者ニ與ヘタル「ステートメント」
内ニ於テ英國國民ハ支那ニ於ケル過去ノ借款ノ元利ノ支
拂ヲモ受ケ居ラサルヲ以テ今後當分支那ニ於テ投資スル
ノ可能性ナシ英國ハ支那ノ產業及貿易發展ノ爲財政的援
助ヲ與ヘント欲スルモ支那ハ先ツ以テ一般的ニ國家ヲ安

定シ平和ト秩序ヲ恢復セサルヘカラス外國資本カ再ヒ支
那ニ投入セラル爲ニハ少クトモ今後十年ヲ要スヘク而
シテ此ノ投資ハ支那ノ交通ノ發展ニ使用スルヲ最適當ト
スヘシト述ヘタリ

(二)右ニ對シ十九日ノ新民報ハ支那ノ社會ノ安定及經濟界ノ
恢復ハ支那人力舉國一致積極的ニ努力スルニ於テハ十年
ヲ出テス五年或ハ三年ヲ以テシテモ可能ナルヘク又借款
カ政治的色彩ヲ有シ債務國ノ主權ニ影響ヲ及ホスモノハ
惡意ノ經濟侵略ニシテ善意ノ經濟援助ニアラス而シテ從
來各國カ支那ニ對シテ爲セル投資ハ果シテ如何ト論シ又
同日ノ大公報ハ支那ハ從來全般的帝國主義ノ國際殖民地
分割ノ網ニ陷リタルモノナルカ最近歐米各國ハ其ノ在支
利益カ事實上極東ノ新興帝國主義ノ權威ニ獨占セラル
危機ニ瀕スルモ武力ヲ以テ制止スル能ハサルニ依リ經濟
的手段ヲ以テ市場ノ均衡ヲ争ヒ或種ノ損失ヲ補償セサル
ヲ得サルモノナリ「リ」ノ所謂支那ノ社會秩序ノ安定ニ

國ヨリ借款ヲ得ントスルモノナリヤ、或ハ「クレデット」
ヲ欲スルモノナリヤ、又ハ商品ヲ賣込マント欲スルモノナ
リヤノ質問ニ對シ全部之ヲ否定シタ、然シ之ト同時ニ本協
定ノ附帶加條項トシテ

一、南京政府ハ一九三六年度内ニ二千六百萬米弗ニ相當スル
銀ヲ米國ヘ輸送スルコト

二、全中國銀行ノ兌換券ノ統制ニ努メ關稅收入以外ノ財政ノ
統制ヲ計ルコト

一、米國顧問ノ指導ノ下ニ中國貿易ノ統制ヲ行フコト

一、南京政府ハ米國ヨリ鐵道、船舶、トラクター工業用機械、

飛行機、石油等ヲ購入スヘキコト
即チ銀賣却以外ニ軍需品ノ購入ノ約定迄含マレ居レリト傳
ヘラレ居ル。

而シテ
右銀協定成立セル一九三六年五月以降現在迄米國カ支那ニ
對シ購入シタル總額ハ約三億「オンス」余ニシテ右一「オ
ンス」ノ建値ハ大体四十五仙ヲ以テシタルモ客年十二月ニ
成立セル第四回目ノ協定ニ於テハ四十三仙ニ低下セル由ナ
リ。

~~~~~